# DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CF310 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW

# ネットワークカメラ WEB 設定ツール 取扱説明書

このたびは本ソフトウェアをご使用いただき、
まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

2016/11/4

# 目　次


はじめに ..... 6

ログイン画面 ..... 8

ログイン画面からの起動 ..... 8
ログイン成功時の画面 ..... 10
ログイン失敗時の画面 ..... 11

WEB 設定ツール画面 ..... 12

WEB 設定ツール画面の構成 ..... 12
１.メニュー ..... 13
２.メインエリア ..... 18
３.映像操作パネル ..... 20

設定情報の確認と保存 ..... 21

概要 ..... 21
一覧表示項目 ..... 22
１.[カメラ] ..... 22
２.[配信] ..... 23
３.[記録] ..... 24
４.[検知] ..... 25
５.[ネット] ..... 26
６.[一般] ..... 28
設定セーブ／ロード項目 ..... 29
設定セーブ ..... 30
設定ロード ..... 30

カメラの映像画質を調整する ..... 31

概要 ..... 31
画質調整項目 ..... 32
画質調整 ..... 33
プライバシーマスク設定項目 ..... 42
プライバシーマスク ..... 43
プリセット項目 ..... 46
プリセット ..... 46

映像と音声の配信を設定する ..... 49

概要 ..... 49
ライブ配信項目 ..... 50
ライブ配信設定 ..... 51
記録配信項目 ..... 53
記録配信設定 ..... 54

プリ・ポスト項目 ..... 56
プリ記録設定 ..... 57
ポスト記録設定 ..... 57
共通設定 ..... 58
音声項目 ..... 59
音声設定 ..... 59
マルチキャスト配信項目 ..... 61
マルチキャスト配信設定（UDP） ..... 61

記録に関する設定をする ..... 63
概要 ..... 63
共通設定項目 ..... 64
記録共通設定 ..... 64
一般記録項目 ..... 66
共通 ..... 67
通常記録 ..... 68
アラーム記録 ..... 69
タイマー記録項目 ..... 72
１.[時間帯確認] ..... 73
２.[記録設定] ..... 74
アラーム記録対象項目 ..... 80
アラーム記録対象 ..... 80
NAS 項目 ..... 81
NAS 設定 ..... 81

各種検知の設定をする ..... 83
概要 ..... 83
アラーム入力項目 ..... 84
アラーム入力設定 ..... 84
動き検知項目 ..... 85
１.[領域] ..... 86
２.[詳細] ..... 88

ネットワークの設定をする ..... 91
概要 ..... 91
基本設定項目 ..... 92
プロトコル選択 ..... 92
IPv4 アドレス設定 ..... 93
IPv6 アドレス設定 ..... 94
ユーザ認証項目 ..... 96
ユーザ認証 ..... 96
ユーザ設定 ..... 97
帯域制御項目 ..... 100
共通 ..... 100
ライブ帯域制御 ..... 101
記録帯域制御 ..... 102
メール項目 ..... 104
１.[共通] ..... 104
２.[宛先] ..... 107

３.[内容] ..... 108
FTP 項目 ..... 109
１.[FTP 転送] ..... 109
２.[転送先] ..... 110
SNMP 項目 ..... 113
SNMP ..... 113
コミュニティ名 ..... 114
TRAP 送信先 IP アドレス ..... 114
その他項目 ..... 115
その他 ..... 115

カメラの一般設定をする ..... 117
概要 ..... 117
時刻項目 ..... 118
時刻設定 ..... 118
時刻補正 ..... 119
NTP サーバ ..... 120
アラーム通知先項目 ..... 121
アラーム通知設定 ..... 121
アラーム出力項目 ..... 123
アラーム出力設定 ..... 123
通知種別項目 ..... 124
通知設定 ..... 124
拡声音声項目 ..... 126
拡声音声設定 ..... 126
蓄積・FTP 項目 ..... 127
蓄積・FTP ..... 127
ダウンロード項目 ..... 128
ActiveX ..... 128
閲覧用ソフトウェア ..... 128
その他項目 ..... 129
その他 ..... 129

映像の確認をする ..... 131
概要 ..... 131
ライブ項目 ..... 132
検索項目 ..... 136
検索条件設定 ..... 136
検索結果 ..... 137

メンテナンス ..... 138

エラーメッセージ ..... 139

ActiveX コントロールをインストールしていない場合 ..... 139
ブラウザが対応していない場合 ..... 139
情報取得に失敗した場合 ..... 139
メンテナンス用パスワードを誤って入力／キャンセルした場合 ..... 140
主なダイアログボックスのメッセージ ..... 140

その他 ..... 144

設定保存について ..... 144
文字入力制限について ..... 145

付録 ..... 147

PC の性能とライブ配信について ..... 147
状態表示 LED 点滅について ..... 148
保存先メディアへの記録時間について ..... 150

# はじめに

ネットワークカメラWEB設定ツール（以下、「本ソフトウェア」）は、ネットワークカメラの各種機能の設定、および設定情報を確認するためのソフトウェアです。

本書では、共通部分の説明にはDI-CB320 / DI-CD320の画面を使用しています。
そのため、DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CF310 / DI-CD322LE / DI-CB322LEWの場合は一部画面表示内容が異なる場合があります。

本ソフトウェアは、以下の環境でご使用できます。

**■対応製品**

| 製品名 | 型式 |
|---|---|
| ネットワークカメラ | DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CF310 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW |

**■動作環境**

| | |
|---|---|
| **OS** | Windows Vista®（SP2）<br>Windows® 7（SP1）<br>Windows® 8<br>Windows® 8.1<br>Windows® 10 |
| **CPU** | Intel® Core™2 Duo 2.4GHz以上の動作クロックのもの。<br>高解像度、高フレームレートで映像を表示する場合は Intel® Core™ i7 で4コア以上のものを推奨。 |
| **メインメモリ** | 2GB 以上 |
| **画面解像度** | XGA（1024 × 768）以上<br>DPIを通常の96DPI（100%）以外に設定している場合、正しく表示しないことがあります。 |
| **Internet Explorer** | 32bit版のバージョン8/9/10/11 |

※・Windows®、Windows Vista® は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・Intel® Core™ は，Intel Corporationまたはその子会社の米国および他の国における商標または登録商標です。
・Internet Explorerは，米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

**■対応ブラウザについて**

- Internet Explorer以外のブラウザには対応していません。Internet Explorer以外でログイン画面を表示すると、対応していない旨のメッセージを表示します。
- 画面レイアウトがずれるなどの現象が発生することがありますので、各バージョンの最新版をご使用ください。
- 同一のPC上で、同時に複数のブラウザ（画面／タブ）を起動して操作することはできません。
※設定はできますが、ライブ映像を出力するブラウザ（画面／タブ）は1つのみとなります。
- ブラウザ画面の拡大／縮小機能は使用せず、100%でご使用ください。拡大／縮小画面では、正しく表示しないことがあります。
- ブラウザ画面の互換表示設定を有効にすると、画面レイアウトが崩れる場合がありますので、互換表示設定は、無効の状態でご使用ください。

**■ライブ映像表示用 ActiveX コントロール**

- 本ソフトウェアでネットワークカメラのライブ映像および再生映像を表示するためには、PCにライブ映像表示用のActiveXコントロールをインストールする必要があります。
- ライブ映像表示用のActiveXコントロールは、ネットワークカメラからダウンロードしてインストールしてください。詳しくは、「ダウンロード項目」（➔P.128）をご参照ください。
- ライブ映像表示用ActiveXコントロールをインストールしていない場合は、警告画面を表示し、映像関連のメニューはご使用できません。

# ログイン画面

## ログイン画面からの起動

Internet Explorer（以下「IE」）のアドレスバーにネットワークカメラのIPアドレスを含むURL（例：**http://192.168.0.100**）を入力すると、次の認証画面を表示します。

**お知らせ**

- IPアドレスに関しては、ネットワークカメラの取扱説明書をご覧になるか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ユーザー名とパスワードを入力し、[OK]をクリックしてください。

**（1）ユーザー名**

ネットワークカメラに接続するためのユーザID（➔P.97）を入力します。ネットワークカメラの出荷時の設定は、「**root**」となっています。

**（2）パスワード**

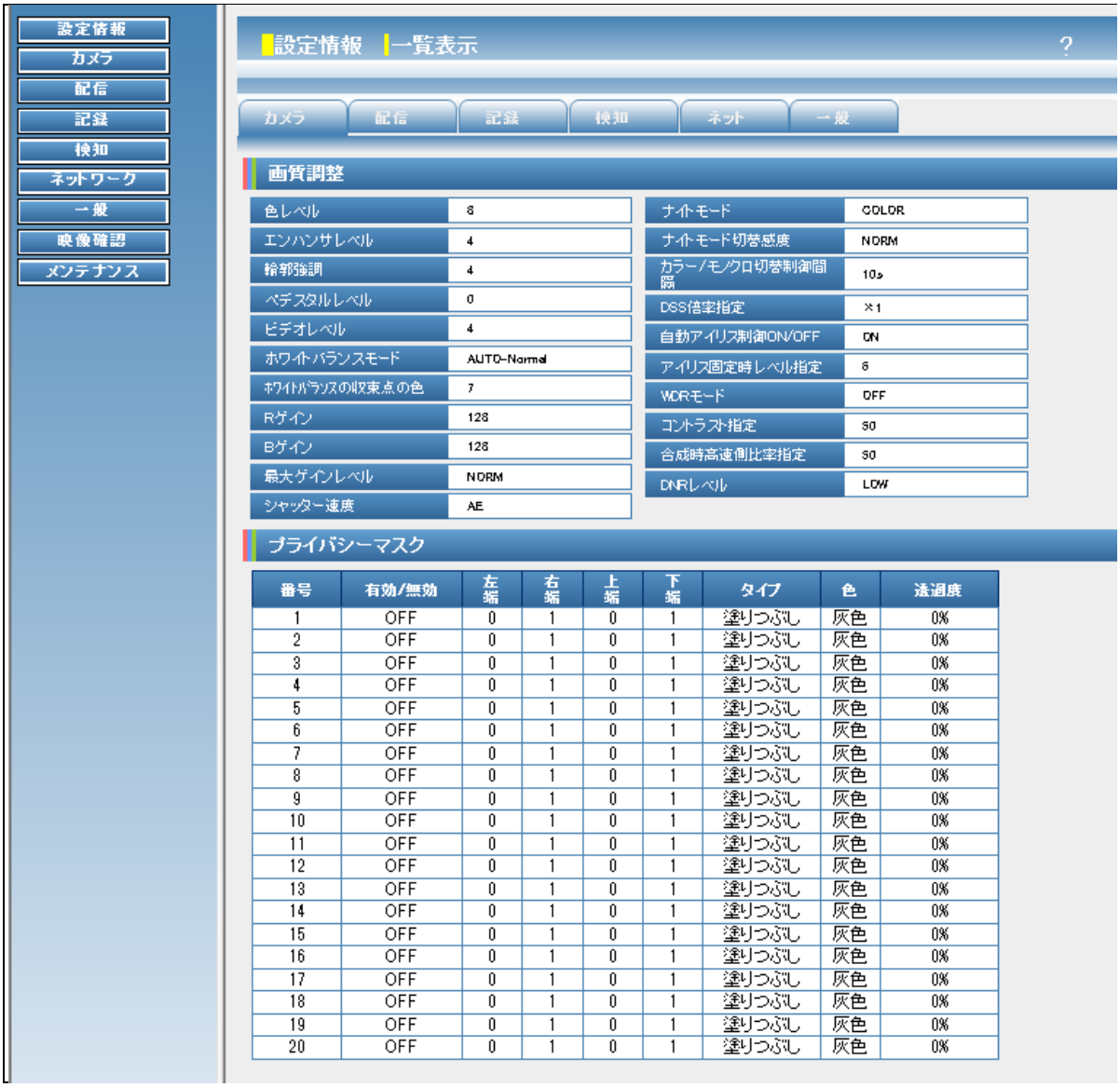
ネットワークカメラに接続するためユーザIDに対応したパスワードを入力します。ネットワークカメラの出荷時の設定は、「**admin**」となっています。

**■ご注意■**

- **異なるIPアドレスでネットワークカメラの設定・確認を行う場合は、設定・確認するネットワークカメラのURL（IPアドレスを含む）をIEのアドレスバーに入力し、ログインしなおしてください。**
- **通常は管理者権限（＝ユーザ番号1）でログインしてください。モニタ権限（＝ユーザ番号2～20）でログインすると、すべての項目が設定・変更できません。「ユーザ権限」（➔P.97）**
- **「ユーザ認証」（➔P.96）を「OFF」に設定していると、認証画面を表示しません。**
- **不正アクセス防止のため、「ユーザ認証」（➔P.96）（ユーザＩＤ／パスワード）は定期的に変更してください。**
- **日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合、本ソフトウェアから設定を行うと、日立デジタルレコーダーで設定した値が変更され、正常に表示や記録ができないなどの不具合が発生します。設定画面に「レコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。」などの表示がある場合は、設定を変更しないでください。**

# ログイン成功時の画面

認証に成功すると、次のWEB設定ツール画面を表示します。




| 番号 | 有効/無効 | 左端 | 右端 | 上端 | 下端 | タイプ | 色 | 透過度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 2 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 3 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 4 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 5 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 6 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 7 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 8 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 9 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 10 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 11 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 12 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 13 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 14 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 15 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 16 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 17 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 18 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 19 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 20 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |

# ログイン失敗時の画面

接続に失敗した場合には、次のエラーメッセージを表示します。ネットワークカメラがネットワークに接続されて電源が投入済みであることを確認し、正しいURLを指定してログインしなおしてください。

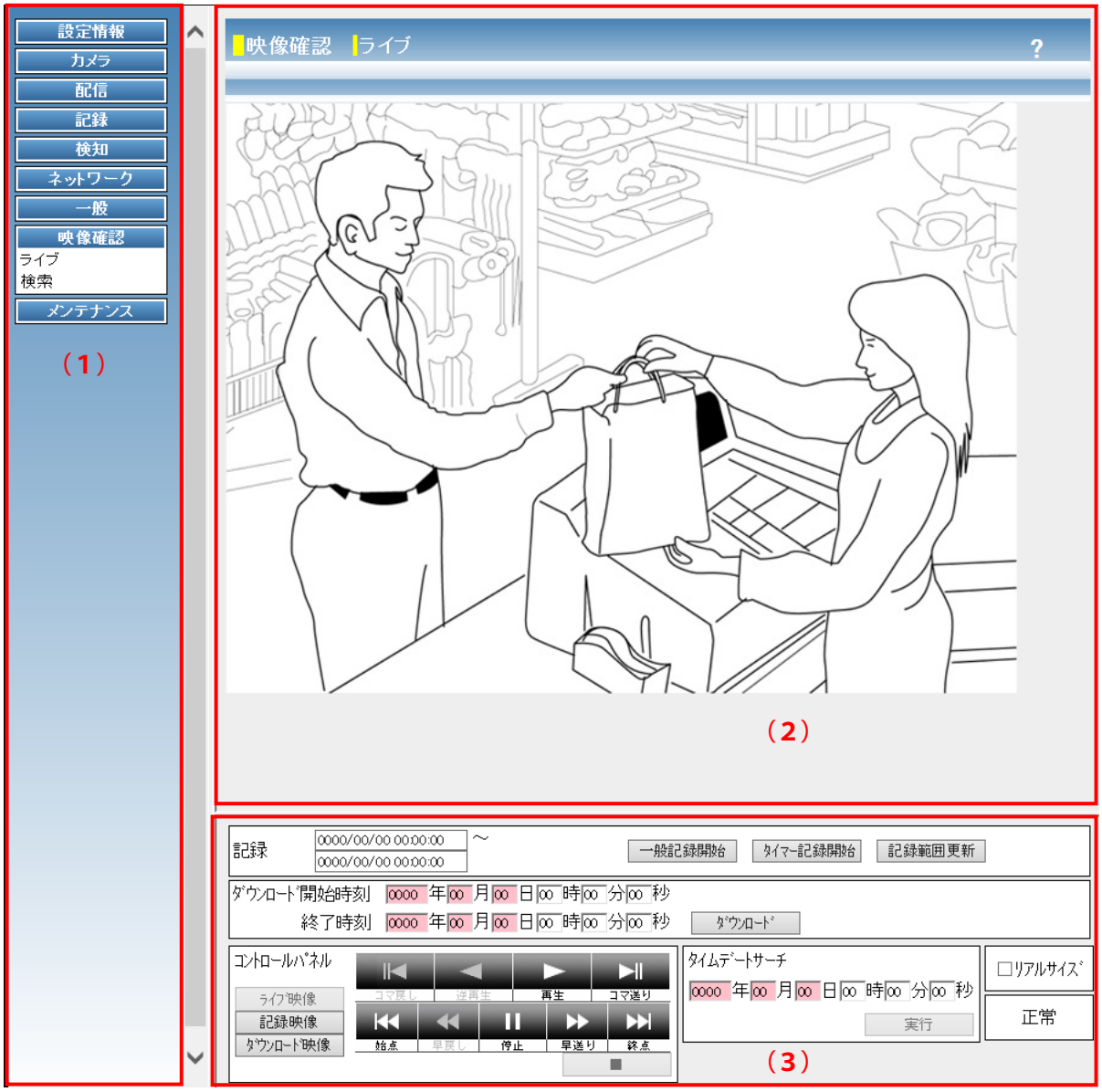
**お知らせ**

- 認証画面で、ユーザー名とパスワードを3回続けて間違えた場合も、この画面を表示します。正しいユーザー名とパスワードを入力してログインしなおしてください。
- URLには、正しいIPアドレスとポート番号（80以外に変更した場合）を指定してください。

# WEB設定ツール画面

## WEB 設定ツール画面の構成

WEB設定ツール画面は、次の3つのブロックで構成されています。




**（1）メニュー**

確認・設定する項目を選択できます。（➔P.13）

**（2）メインエリア**

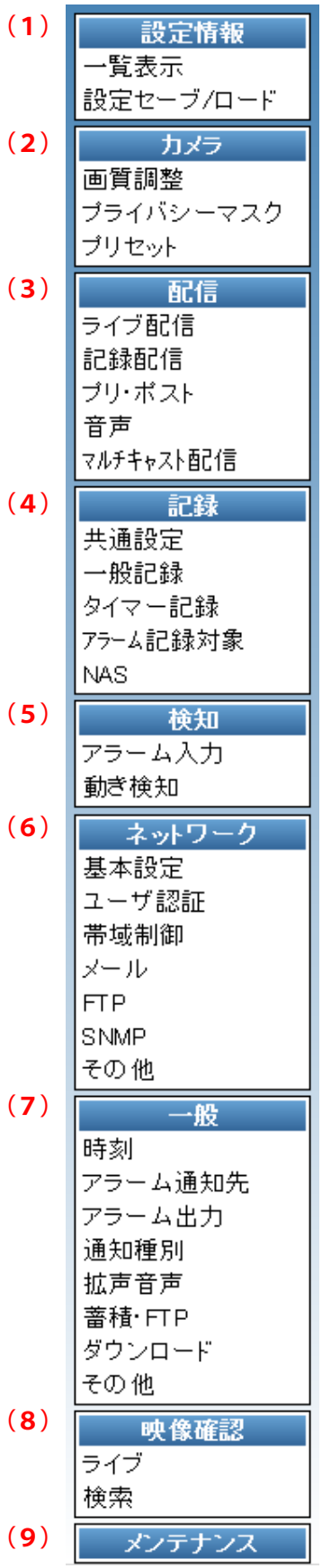
選択したメニューの設定内容を表示します。（➔P.18）

**（3）映像操作パネル**

メニューの映像確認でライブを選択した場合にメインエリアの下部に表示します。（➔P.20）

# 1.メニュー

メニューは、次のように9つの機能グループに分類しています。グループ内にはさらに設定項目があります。



### （1）設定情報

#### ① 一覧表示

ネットワークカメラに設定している情報を一覧表示します。
詳しくは、**「一覧表示項目」**（➔P.22）をご参照ください。

#### ② 設定セーブ／ロード

ネットワークカメラの設定内容の取得と転送ができます。
詳しくは、**「設定セーブ／ロード項目」**（➔P.29）をご参照ください。

### （2）カメラ

#### ① 画質調整

ネットワークカメラから出力される映像の画質を調整できます。
設置場所や撮影条件に合わせて、映像の画質を調整してください。
詳しくは、**「画質調整項目」**（➔P.32）をご参照ください。

#### ② プライバシーマスク

プライバシーマスクに関する設定ができます。
詳しくは、**「プライバシーマスク設定項目」**（➔P.42）をご参照ください。

#### ③ プリセット

プリセットの登録や削除ができます。
詳しくは、「プリセット項目」（➔ P.46）をご参照ください。

**お知らせ**

- 「プリセット」はDI-CD322LEのみ対応しています。

### （3）配信

#### ① ライブ配信

ネットワークカメラから配信されるライブ映像の設定ができます。
詳しくは、**「ライブ配信項目」**（➔P.50）をご参照ください。

#### ② 記録配信

ネットワークカメラから配信される記録映像の設定ができます。
詳しくは、**「記録配信項目」**（➔P.53）をご参照ください。

#### ③ プリ・ポスト

アラーム発生時の記録映像の設定ができます。
詳しくは、**「プリ・ポスト項目」**（➔P.56）をご参照ください。

#### ④ 音声

音声入力の設定ができます。
詳しくは、**「音声項目」**（➔P.59）をご参照ください。

#### ⑤ マルチキャスト配信

マルチキャスト配信に関する設定ができます。
詳しくは、**「マルチキャスト配信項目」**（➔P.61）をご参照ください。

### （4）記録

#### ① 共通設定

映像／音声の保存先を設定できます。
詳しくは、**「共通設定項目」**（➔P.64）をご参照ください。

#### ② 一般記録

一般記録（通常記録とアラーム記録）の記録モードなどの設定ができます。
詳しくは、**「一般記録項目」**（➔P.66）をご参照ください。

#### ③ タイマー記録

タイマー記録（通常記録とアラーム記録）を実施する期間や記録モードなどの設定ができます。
詳しくは、**「タイマー記録項目」**（➔P.72）をご参照ください。

#### ④ アラーム記録対象

一般記録設定またはタイマー記録設定で、アラーム記録設定を行っている場合に実行するアラームの種別を設定できます。
詳しくは、**「アラーム記録対象項目」**（➔P.80）をご参照ください。

#### ⑤ NAS

NASに関する設定ができます。
詳しくは、**「NAS項目」**（➔P.81）をご参照ください。

### （5）検知

#### ① アラーム入力

ネットワークカメラのALARM端子からの入力信号による、アラーム入力検知に関する設定ができます。
詳しくは、**「アラーム入力項目」**（➔P.84）をご参照ください。

#### ② 動き検知

動き検知に関する設定ができます。
詳しくは、**「動き検知項目」**（➔P.85）をご参照ください。

### （6）ネットワーク

#### ① 基本設定

ネットワークカメラに接続するための通信条件の設定ができます。
詳しくは、**「基本設定項目」**（➔P.92）をご参照ください。

#### ② ユーザ認証

ネットワークカメラに接続するための認証情報を設定できます。
接続できる機器・ソフトウェアを限定できます。
詳しくは、**「ユーザ認証項目」**（➔P.96）をご参照ください。

#### ③ 帯域制御

ネットワークカメラからのライブ・記録配信時の、配信上限値などを設定し、ネットワークの帯域を制御できます。
詳しくは、**「帯域制御項目」**（➔P.100）をご参照ください。

#### ④ メール

ネットワークカメラから送信するメールの設定ができます。
詳しくは、**「メール項目」**（➔P.104）をご参照ください。

**⑤ FTP**

ネットワークカメラからFTPサーバへ転送するための設定ができます。
詳しくは、**「FTP項目」**（➔P.109）をご参照ください。

**⑥ SNMP**

ネットワークカメラからのSNMP送信に関する設定ができます。
詳しくは、**「SNMP項目」**（➔P.113）をご参照ください。

**⑦ その他**

その他のネットワーク設定ができます。
詳しくは、**「その他項目」**（➔P.115）をご参照ください。

### （7）一般

**① 時刻**

ネットワークカメラの日付・時刻の設定ができます。
詳しくは、**「時刻項目」**（➔P.118）をご参照ください。

**② アラーム通知先**

ネットワークカメラにアラーム要因が発生した場合、指定先へアラーム通知を行うための設定ができます。
詳しくは、**「アラーム通知先項目」**（➔P.121）をご参照ください。

**③ アラーム出力**

ネットワークカメラのALARM端子から信号出力を行うための設定ができます。
詳しくは、**「アラーム出力項目」**（➔P.123）をご参照ください。

**④ 通知種別**

異常種別ごとに、アラーム出力／状態表示LED／メール／アラーム通知を連動するように設定ができます。
詳しくは、**「通知種別項目」**（➔P.124）をご参照ください。

**⑤ 拡声音声**

PCから音声を転送して、ネットワークカメラのAUDIO OUT端子に接続されたスピーカーから音声出力するように設定できます。
詳しくは、**「拡声音声項目」**（➔P.126）をご参照ください。

**⑥ 蓄積・FTP**

ネットワークカメラのアラームの蓄積、およびFTP動作に関する設定ができます。
詳しくは、**「蓄積・FTP項目」**（➔P.127）をご参照ください。

**⑦ ダウンロード**

映像表示をするためのActiveXコントロールや、閲覧用ソフトウェアをダウンロードできます。
詳しくは、**「ダウンロード項目」**（➔P.128）をご参照ください。

**⑧ その他**

AUDIO OUT + VIDEO OUT端子の設定や、ライブ映像配信のプロトコルの設定ができます。
詳しくは、**「その他項目」**（➔P.129）をご参照ください。

### （8）映像確認

**① ライブ**

ライブや記録の映像を確認できます。また、記録映像のダウンロードもできます。
詳しくは、**「ライブ項目」**（➔P.132）をご参照ください。

**② 検索**

記録映像の検索を行い、再生することができます。
詳しくは、**「検索項目」**（➔P.136）をご参照ください。

### （9）メンテナンス

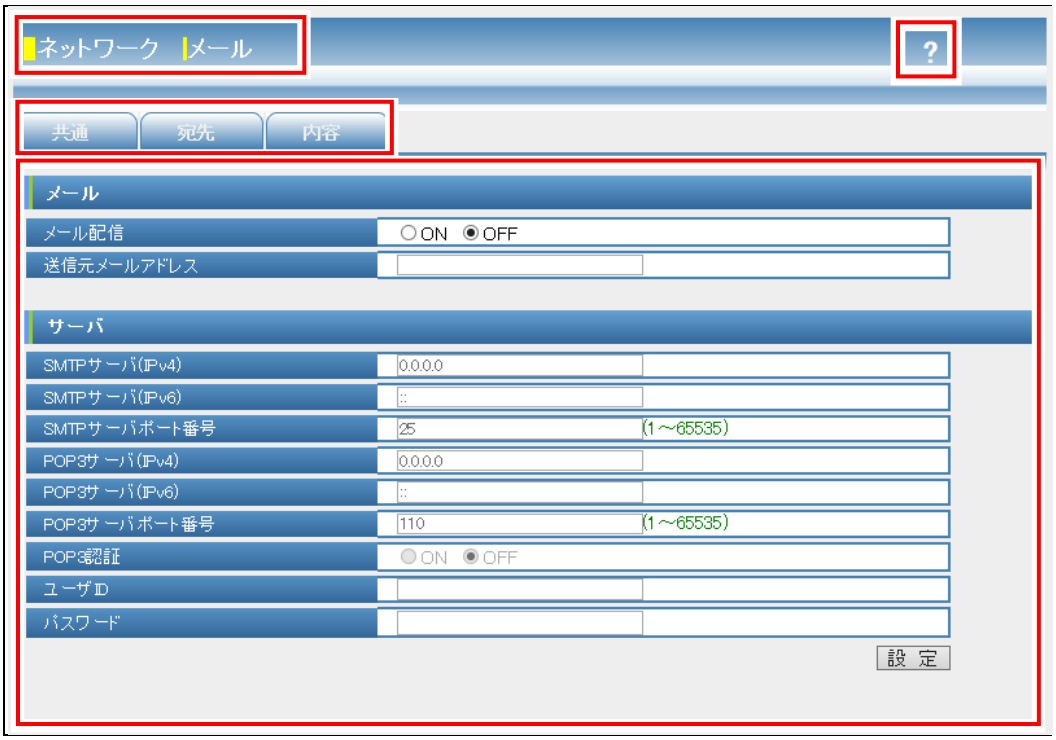
本メニューは、保守員がメンテナンスを行う際に使用するメニューのため、ご使用できません。

**お知らせ**

- DI-CB322LEWでは「Maintenance」と表示されます。

# 2.メインエリア

メニューを選択すると、対応する設定項目・設定情報やボタンを画面の右側に表示します。

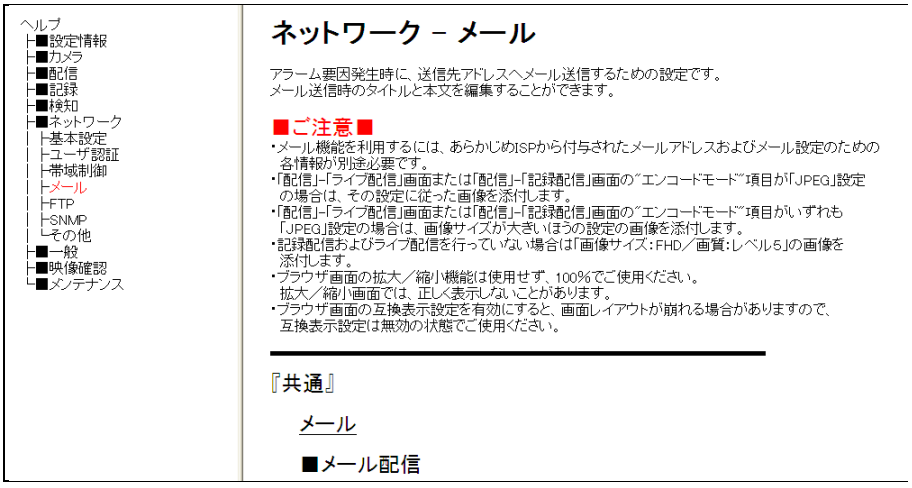



**（1）タイトル表示**

選択したメニューに従って、タイトル（メニューグループ｜メニュー名）を表示します。

**（2）ヘルプアイコン（ [?] ）**

[？]をクリックすると、次のようなヘルプ画面を表示します。表示中の画面に応じた内容の説明をします。




- ヘルプ画面の表示中は、WEB設定ツール画面の操作はできません。WEB設定ツール画面で設定操作をするときは、必ずヘルプ画面を閉じてください。

**（3）タブ**

メニューによっては、設定項目がタブで分類されています。設定項目を切り換える場合は、タブをクリックしてください。

**（4）設定内容**

選択したメニュー／タブの内容を表示します。
設定項目の画面では、設定項目の最後にある[設定]をクリックすることで変更値がネットワークカメラに反映します。

**■ご注意■**

- **「配信」-「ライブ配信」（➔P.50）の画像サイズは、ほかのメニューを表示することで変更されることがあります。**
  **「画質調整項目」（➔P.32）、「プライバシーマスク設定項目」（➔P.42）、「動き検知項目」（➔P.85）のご注意をご参照ください。**

## ■メインエリアでの入力について

- 数値入力部や文字列入力部で設定できない値を入力した場合は、欄がピンク色になります。範囲外の値を入力していないかご確認ください。
- 各項目の文字列入力部での入力制限文字については、「その他」（➔P.145）をご参照ください。

## ■警告画面やノイズが表示されたときは

- メニューを開いたタイミングなどでネットワークカメラから情報を取得して表示しますが、ネットワークカメラとの通信エラーなどで正しい情報が取得できないことがあります。この場合は、警告画面を表示します。再度メニューを選択して開きなおすか、画面を更新してください。
- **映像操作パネル**（➔P.20）を表示している場合、メインエリアをスクロールすると、画面の上部がノイズ状に乱れて表示されることがあります。この場合は、IEのリサイズや表示の更新などを行うとノイズが消えます。

# 3.映像操作パネル

映像を確認する設定画面の下部には、次のような操作パネルを表示します。記録映像やダウンロードした映像の再生、早送り、コマ送りなどの操作ができます。
詳しくは、「映像確認」-「ライブ」（➔P.132）をご参照ください。

# 設定情報の確認と保存

## 概要

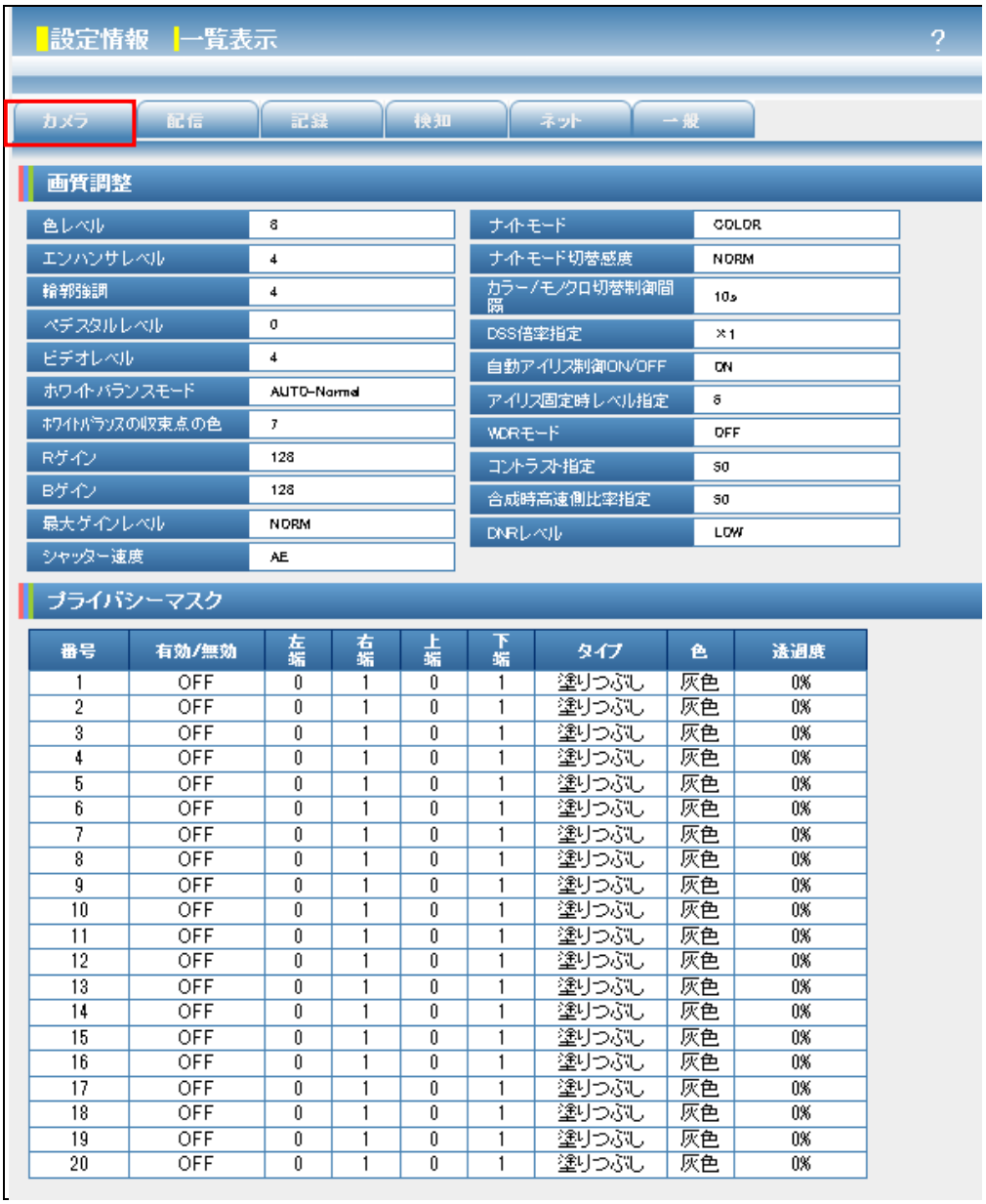
「設定情報」では、ネットワークカメラの設定確認と、設定セーブ／ロードができます。

# 一覧表示項目

「一覧表示」メニューでは、ネットワークカメラに設定している情報を一覧表示します。ネットワークカメラの設定情報をタブごとに分類して表示します。

## 1.[カメラ]

ネットワークカメラの画質調整／プライバシーマスクの設定を表示します。
詳しくは、以下の項目をご参照ください。
（➔P.31）**「カメラの映像画質を調整する」**

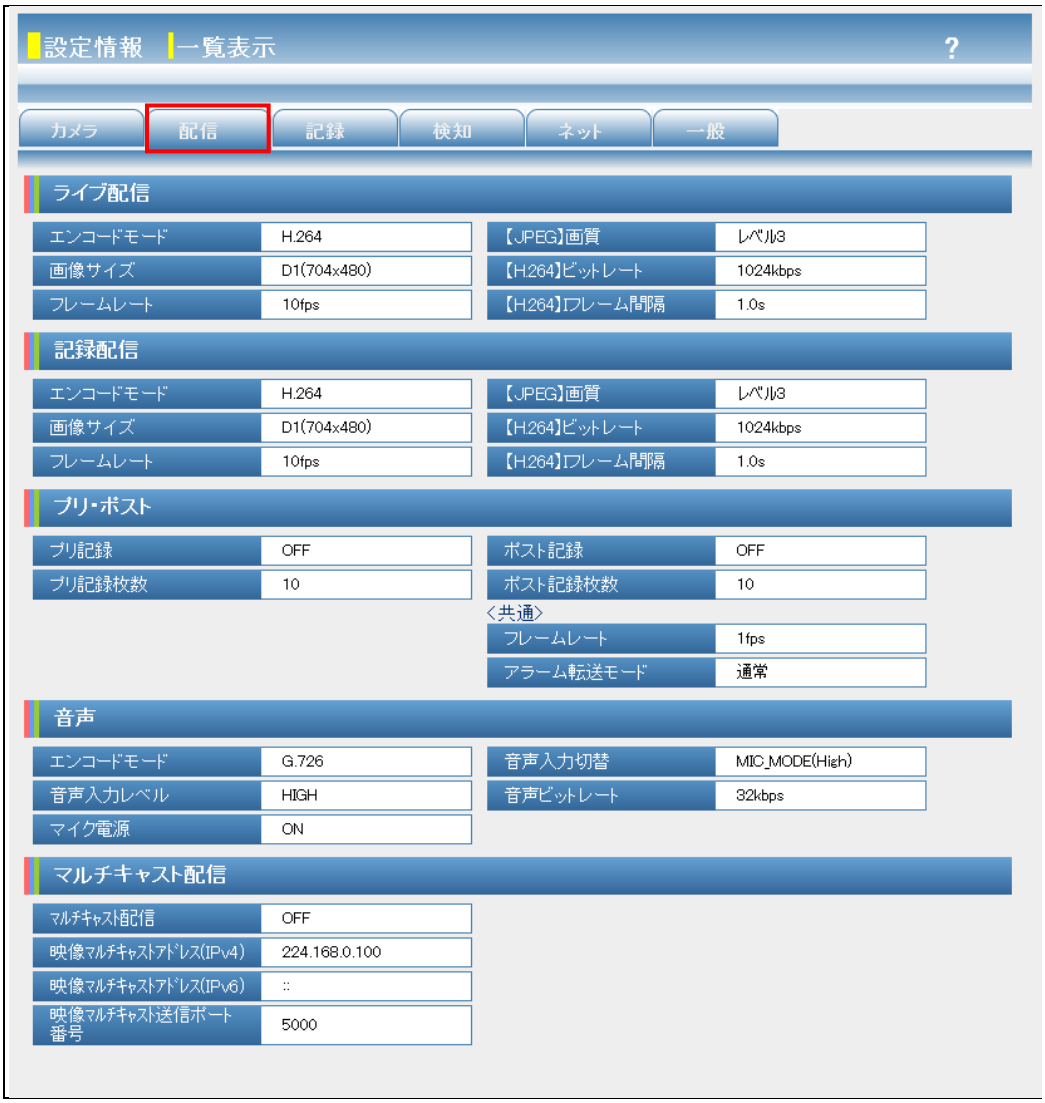



| 番号 | 有効/無効 | 左端 | 右端 | 上端 | 下端 | タイプ | 色 | 透過度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 2 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 3 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 4 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 5 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 6 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 7 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 8 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 9 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 10 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 11 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 12 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 13 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 14 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 15 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 16 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 17 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 18 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 19 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |
| 20 | OFF | 0 | 1 | 0 | 1 | 塗りつぶし | 灰色 | 0% |

## 2.[配信]

ライブ配信／記録配信／プリ・ポスト／音声／マルチキャスト配信の設定を表示します。
詳しくは、以下の項目をご参照ください。

（➔P.49）**「映像と音声の配信を設定する」**



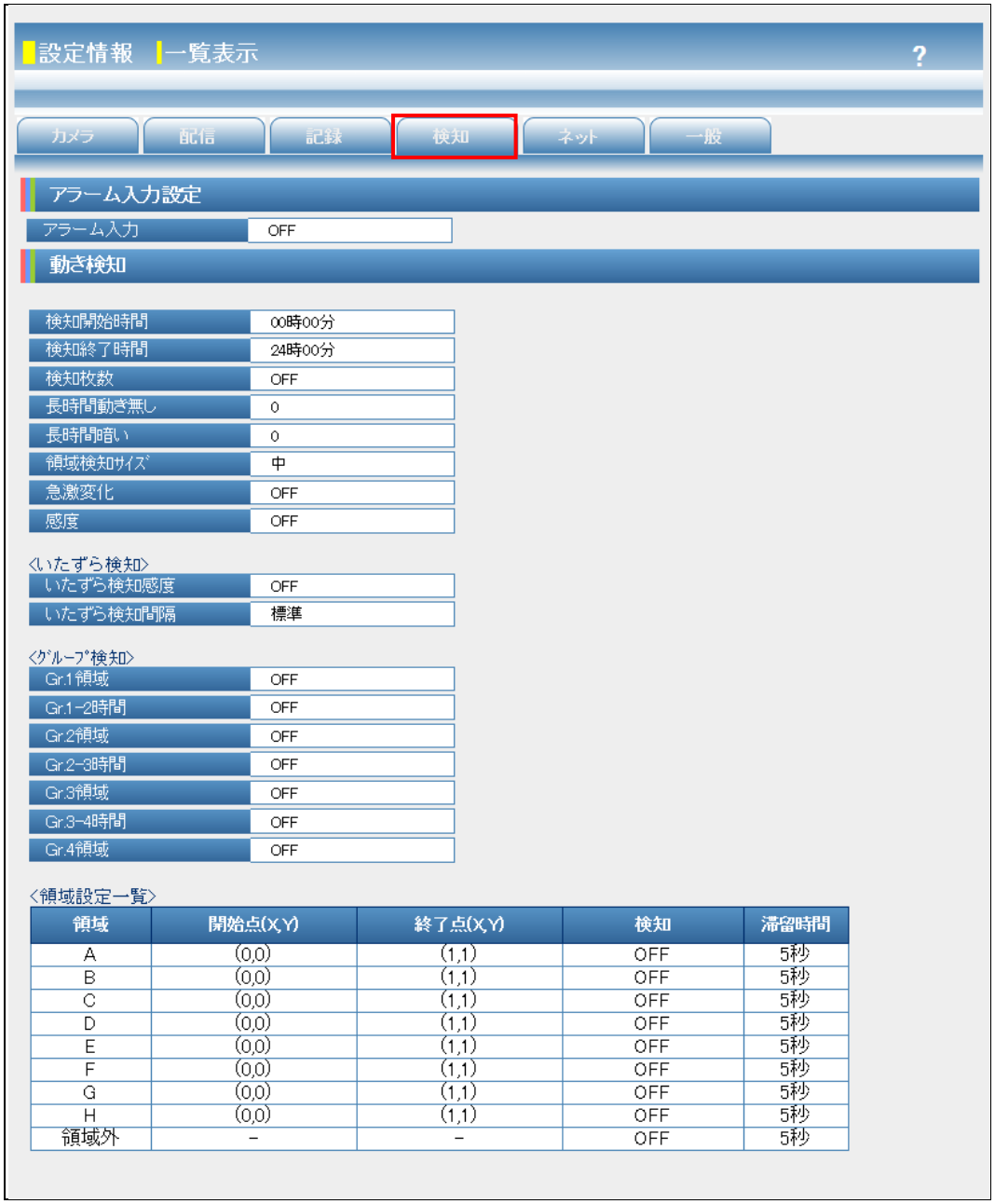
## 3.[記録]

共通設定／一般記録／タイマー記録／アラーム記録対象／NASの設定を表示します。
詳しくは、以下の項目をご参照ください。

（➔P.63）**「記録に関する設定をする」**

## 4.[検知]

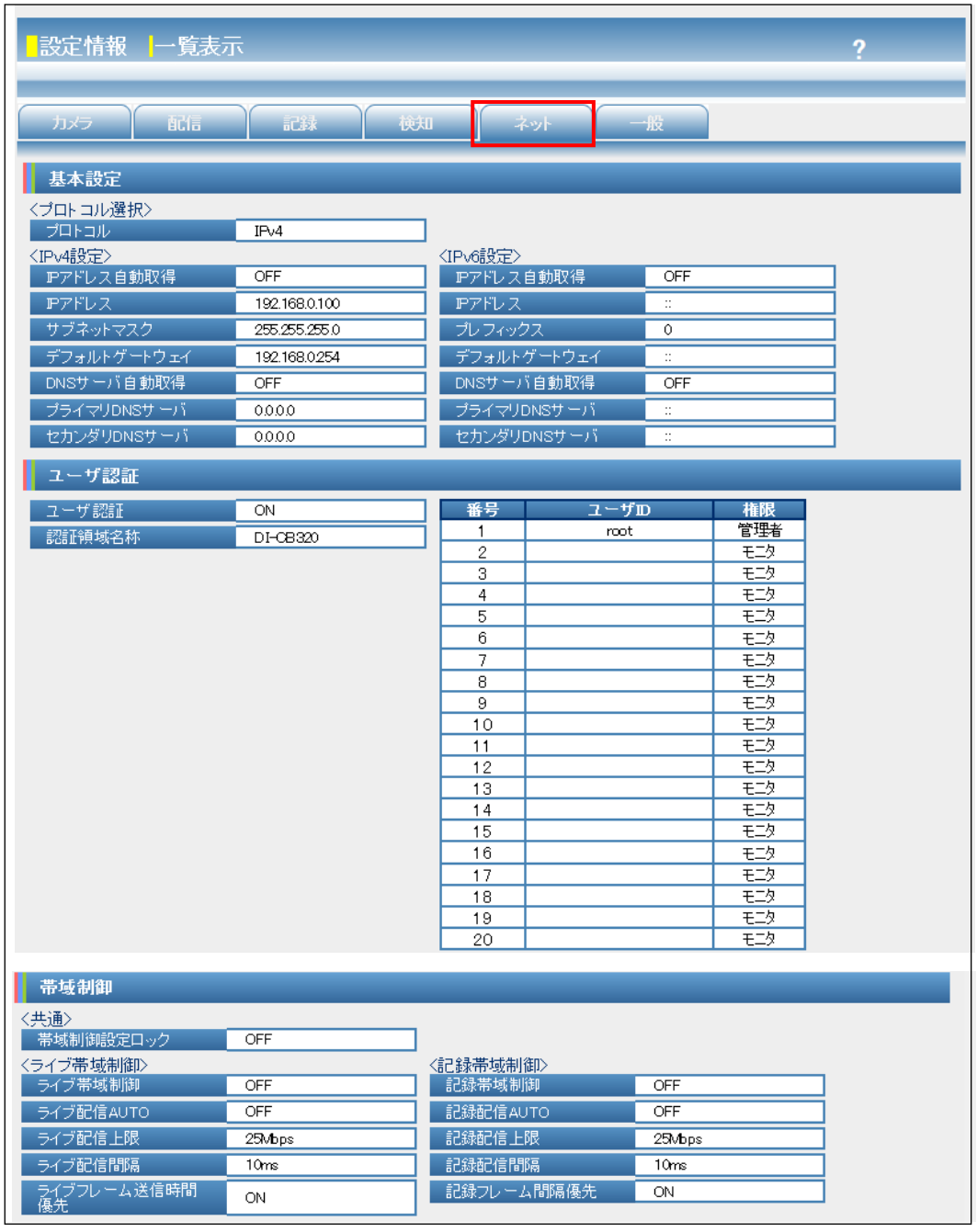
アラーム入力設定／動き検知の設定を表示します。
詳しくは、以下の項目をご参照ください。
（➔P.83）**「各種検知の設定をする」**



## 5.[ネット]

ネットワークに関する基本設定／ユーザ認証／帯域制御／メール／FTP／SNMP／その他の設定を表示します。
詳しくは、以下の項目をご参照ください。

（➔P.91）**「ネットワークの設定をする」**



## メール

〈共通〉

| | |
|---|---|
| メール配信 | OFF |
| 送信元メールアドレス | |
| SMTPサーバ(IPv4) | 0.0.0.0 |
| SMTPサーバ(IPv6) | :: |
| SMTPサーバポート番号 | 25 |
| POP3サーバ(IPv4) | 0.0.0.0 |
| POP3サーバ(IPv6) | :: |
| POP3サーバポート番号 | 110 |
| POP3認証 | OFF |

〈宛先一覧〉

| 番号 | 種別 | メールアドレス |
|---|---|---|
| 1 | 無効 | |
| 2 | 無効 | |
| 3 | 無効 | |
| 4 | 無効 | |
| 5 | 無効 | |

〈内容〉

| | |
|---|---|
| タイトル | Mail from DI-CB320 |
| 画像添付 | ON |
| 本文に時刻挿入 | ON |
| 本文 | Alarm detection |

## FTP

〈FTP転送〉

| | |
|---|---|
| ON/OFF | OFF |
| 転送間隔 | 00時05分00秒 |
| 開始時刻 | 00時00分00秒 |
| 終了時刻 | 23時59分59秒 |

〈転送先〉

| | |
|---|---|
| IPアドレス(IPv4) | 0.0.0.0 |
| IPアドレス(IPv6) | :: |
| ポート番号 | 21 |
| ユーザID | |
| パスワード | |
| ディレクトリ | |
| ファイル名 | 日付 |
| ID1 | 1 |
| ID2 | 1 |
| CHECK | ID1,ID2,年,月,日,時,分,秒, |
| 指定ファイル名 | IMAGE.JPG |

## SNMP

| | |
|---|---|
| ON/OFF | OFF |
| SNMPエージェント | DI-CB320 |

〈コミュニティ名〉

| | |
|---|---|
| GET | public |
| SET | private |

〈TRAP送信先IPアドレス〉

| | |
|---|---|
| 送信先1IPアドレス(IPv4) | 0.0.0.0 |
| 送信先1IPアドレス(IPv6) | :: |
| 送信先2IPアドレス(IPv4) | 0.0.0.0 |
| 送信先2IPアドレス(IPv6) | :: |

## その他

| | |
|---|---|
| HTTPポート番号 | 80 |
| overHTTPポート | ON |
| overHTTPポート番号 | 10080 |
| RTSPポート | ON |
| RTSPポート番号 | 554 |

| | |
|---|---|
| MTUサイズ | 1500Byte |
| Link Up Arp送信時間 | 5000ms |

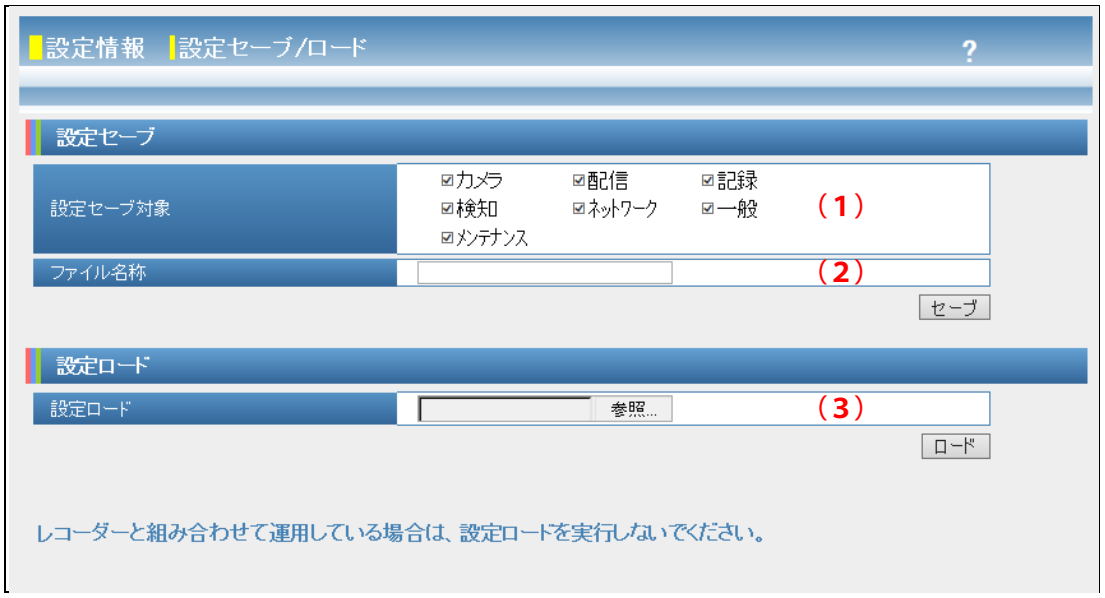
## 6.[一般]

時刻／アラーム通知先／アラーム出力／通知種別／拡声音声／蓄積・FTP／その他の設定を表示します。
詳しくは、以下の項目をご参照ください。

（➔P.117）**「カメラの一般設定をする」**

# 設定セーブ／ロード項目

「設定セーブ／ロード」メニューでは、ネットワークカメラの設定内容をCSV形式の設定ファイルとしてセーブできます。また、セーブした設定ファイルをネットワークカメラにロードすることもできます。同じ設定のネットワークカメラを準備したい、または故障したネットワークカメラと同じ設定で置き換えたい場合などにご使用ください。




**■ご注意■**

- **日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、設定ロードを実行しないでください。**
- **設定ロード実行後、設定を有効にするためにネットワークカメラは、自動で再起動をします。**
- **SDメモリーカード／NASへ記録中の場合は、設定ロードすることができません**
- **IEのセキュリティレベルにより、設定セーブ／ロードが行えない場合があります。その場合は、下記の設定を実施してください。**
  1. **IEの[ツール]メニューから[インターネットオプション]を表示し、[セキュリティ]タブの「信頼済サイト」を選択します。**
  2. **[サイト]をクリックして信頼済みサイト画面を表示し、「このゾーンのサイトにはすべてサーバの確認（https:）を必要とする」のチェックをはずします。**
  3. **「このWebサイトをゾーンに追加する」で、ネットワークカメラのURL（例：http://192.168.0.100）をWebサイトに追加し、[閉じる]で画面を閉じます。**
  4. **「このゾーンのセキュリティのレベル」の「保護モードを有効にする（Internet Explorerの再起動が必要）」のチェックがはずれていることを確認します。**
  5. **[レベルのカスタマイズ]をクリックし、下記①②を有効にして登録します。**
     **①「ActiveXコントロールとプラグイン」-「スクリプトを実行しても安全だとマークされていないActiveXコントロールの初期化とスクリプトの実行」**
     **②「その他」-「サーバにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める」**

## 設定セーブ

### （1）設定セーブ対象

設定セーブをする対象項目を複数選択できます。
通常はすべてチェックして保存してください。
以下はセーブ対象外となりますので必要に応じて設定ロード後に再設定してください。
「ネットワーク」-「基本設定」（➔P.92）画面の設定項目
「ネットワーク」-「ユーザ認証」（➔P.96）画面の設定項目
「一般」-「時刻」（➔P.118）画面の「ー年ー月ー日」、「ー時ー分」項目
「メンテナンス」-「特殊機能」画面の「タイムゾーン」、「製造番号」項目
※メンテナンスメニューの設定については、販売店にご相談ください。
※「製造番号」項目はDI-CD322LE / DI-CB322LEWのみ対応しています。

### （2）ファイル名称

PC上に保存するファイル名を指定し、[セーブ]をクリックしてください。
フォルダの参照画面が表示されるので、保存するフォルダを指定して[OK]をクリックすると設定ファイルを保存します。拡張子「CSV」を自動で付加します。

## 設定ロード

### （3）設定ロード

設定ファイルをネットワークカメラへロードできます。
[参照]をクリックしてPC上の設定ファイルを選択し、[ロード]ボタンで選択したファイルをネットワークカメラへロードします。

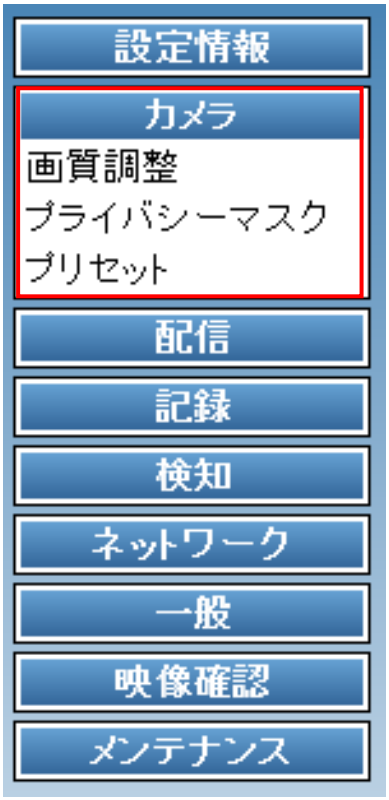
**お知らせ**

- **ネットワークカメラ交換時は、すべての設定をセーブしたファイルをご使用ください。**
  **一部の設定のみ保存したファイルをネットワークカメラにロードした場合、設定の不整合によりロードできないことがあります。**
- **DI-CB325/DI-CD325の場合、DI-Cx320モード設定により設定ロードできない場合があります。**
  **DI-Cx320モードを変更するためには、「メンテナンス」メニューでの設定が必要になりますので、ご使用になる場合は販売店にご相談ください。**

# カメラの映像画質を調整する

## 概要

「カメラ」では、ネットワークカメラの画質調整、プライバシーマスクの設定、プリセットの設定ができます。




**お知らせ**

- 「プリセット」はDI-CD322LEのみ対応しています。

# 画質調整項目

「画質調整」メニューでは、ネットワークカメラのライブ映像を見ながら、画質調整を行うことができます。

**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。**
- **画質調整時に変更した設定値は、[設定]をクリックするまで保存しません。**
- **DI-CB320/DI-CD320の Ver.000.012.066 未満とDI-CF310の Ver.000.000.095 未満にて、「画質調整」設定画面を開いた場合、プレビュー表示用の解像度に合わせ「配信」-「ライブ配信」（➔P.50）の画像サイズをDI-CB320 / DI-CD320は「D1」、DI-CF310は「VGA」に変更します。条件によってはH.264ビットレートも変更されるのでご注意ください。なお、「画質調整」設定画面を閉じても、元の画像サイズには戻りません。**
- **カメラのファームウェアバージョンについては、販売店にご相談ください。**
- **「IR-LED」「上下左右反転」はDI-CD322LE/DI-CB322LEWが対応しています。**
- **「ナイト時カラー設定」「IR-LEDマニュアル時レベル」「デフォグ」はDI-CB322LEWのみ対応しています。**

## 画質調整

### （1）色レベル

**・DI-CB320・DI-CD320( Ver.000.013.083 未満 ) / DI-CF310( Ver.000.001.019 未満 ) / DI-CD322LE( Ver.000.002.084 未満 )**

**設定値**：0～4（初期値）～8

**・DI-CB320・DI-CD320( Ver.000.013.083 以降 ) / DI-CB325・DI-CD325 / DI-CF310( Ver.000.001.019 以降 ) / DI-CD322LE( Ver.000.002.084 以降 ) / DI-CB322LEW**

**設定値**：0～8（初期値）～12

色の濃さ（彩度）を調整できます。
数字が小さいほど淡く、大きいほど濃くなります。

### （2）エンハンサレベル

**設定値**：0～4（初期値）～8

映像信号の水平方向と垂直方向の輪郭の強度を調整できます。
数字が小さいほど弱く、大きいほど強くなります。

### （3）輪郭強調

**設定値**：0～4（初期値）～8

映像信号の水平方向と垂直方向の輪郭の強度を調整できます。
（2）エンハンサレベルよりも、比較的きめの粗い被写体に効果があります。
数字が小さいほど弱く、大きいほど強くなります。

**お知らせ**

- **本設定項目はDI-CB320/DI-CD320はVer.000.013.083以降、DI-CB325/DI-CD325、DI-CF310のVer.000.001.019以降、DI-CD322LEのVer.000.002.084以降、およびDI-CB322LEWが対応しています。**

### （4）ペデスタルレベル

**設定値**：0（初期値）～8

映像信号のペデスタルレベル（黒の基準）を調整できます。
数字が小さいほど低く（黒く）、大きいほど高く（白く）できます。

### （5）ビデオレベル

**設定値**：0～4（初期値）～8
映像信号の出力レベル（明るさ）を調整できます。
数字が小さいほど狭く（暗く）、大きいほど広く（明るく）できます。

### （6）ホワイトバランスモード

**設定値**：AUTO-Normal（初期値）／AUTO-Wide／MANUAL
被写体を照らす光源（色調）に合わせて、ホワイトバランスを選択できます。

- 「AUTO-Normal」：オートホワイトバランスモード。太陽光（日中）、蛍光灯などの一般的な光源に対応したモード。
- 「AUTO-Wide」：水銀灯、ナトリウム灯、夕日など特殊な光源に対応したモード。
- 「MANUAL」：手動でRゲインとBゲインを設定してホワイトバランスの設定が可能。

**お知らせ**

- 「（8）自動ホワイトバランス」が停止状態のときのみ有効です。

### （7）ホワイトバランスの収束点の色

**設定値**：0～7（初期値）～14
当該モードでの色味を調整できます。
数値が小さいほど赤味が強く、大きいほど青味が強くなります。

**お知らせ**

- 「（6）ホワイトバランスモード」を「AUTO-Normal」または「AUTO-Wide」に設定したときに有効になります。

### （8）自動ホワイトバランス

色調を自動で調整し、RゲインとBゲインを設定します。
現在の光源に合わせて設定するので、設定後に光源が変化した場合は、調整しなおす必要があります。
[実行]ボタンでホワイトバランス自動調整を行います。自動調整が完了したら、[更新]ボタンでRゲインとBゲインの値を確認してください。

**お知らせ**

- 「（6）ホワイトバランスモード」を「MANUAL」に設定したときに有効です。

### （9）R ゲイン

**設定値**：1～128（初期値）～255
現在の光源に合わせて、手動でR（赤味）の色調を調整できます。
赤味は数字が小さいほど薄く、大きいほど濃くなります。光源が変化した場合は、調整しなおす必要があります。

**お知らせ**

- 「（6）ホワイトバランスモード」を「MANUAL」に設定したときに有効になります。

### （10）B ゲイン

**設定値**：1～128（初期値）～255
現在の光源に合わせて、手動でB（青味）の色調を調整できます。
青味は数字が小さいほど薄く、大きいほど濃くなります。光源が変化した場合は、調整しなおす必要があります。

**お知らせ**

- 「（6）ホワイトバランスモード」を「MANUAL」に設定したときに有効になります。

### （11）最大ゲインレベル

**・DI-CB320・DI-CD320 / DI-CB325・DI-CD325 / DI-CF310 / DI-CD322LE**

**設定値**：LOW／NORM（初期値）／HIGH

**・DI-CB322LEW**

**設定値**：LOW／NORM（初期値）／HIGH／SUPER HIGH
夕暮れ、夜間や倉庫など照明の暗い環境下で映像を明るくする程度（ゲイン）を3種類から選択できます。暗くてもノイズを抑えたい場合には「LOW」を、ノイズが多くても明るく見たい場合には「SUPER HIGH」または「HIGH」を選択してください。

### （12）シャッター速度

**設定値**：1/30／1/60／1/100／1/250／1/500／1/1000／1/2000／1/4000／1/10000／AE（初期値）／50Hz FIXED／60Hz FIXED
AE選択時は、被写体の動きや設置場所・照明環境などに合わせて、自動的にシャッター速度を変更します。

**■ 動きの速いものを撮影する場合**

速めのシャッター速度を設定すると、ぶれが少ない映像を撮影できますが画面が暗くなります。照明が不足しないように注意してください。逆に、シャッター速度を遅くすると、画面を明るく保つことができますが、動きのある被写体で残像が出やすくなります。

**■ フリッカー（画面がちらつく現象）が発生する場合**

蛍光灯やLED照明など電源周波数に同期して発光している照明下では、1/250秒以上にすると、フリッカー（画面がちらつく現象）が強調されやすくなりますので、1/100秒以下か50Hz FIXEDまたは60Hz FIXEDでご使用ください。
50Hz FIXED、60Hz FIXEDは電源周波数によるフリッカーを低減するための設定です。ご使用の電源周波数が、50Hzの場合は50Hz FIXEDを、60Hzの場合は60Hz FIXEDを選択することでフリッカーを低減できます。

**お知らせ**

- 「（19）WDRモード」を「OFF / EI / WR」に設定したときに有効です。(「EI / WR」はDI-CB322LEWのみ)
  「ON」の場合は自動的に「AE」になります。ただし、「50Hz FIXED / 60Hz FIXED」の場合は「AE」にならずそのままです。

### （13）ナイトモード

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CF310**

**設定値**：AUTO／COLOR（初期値）／MONO

**・DI-CD322LE**

**設定値**：AUTO（初期値）／COLOR／MONO

**・DI-CB322LEW**

**設定値**：AUTO（初期値）／DAY／NIGHT

DI-CB320/DI-CD320/DI-CB325/DI-CD325/DI-CD322LE/DI-CB322LEWには、赤外線光によるナイトモード機能を搭載しています。人間の目では見えない赤外線光を使用することで、暗い環境下でも明るさを補正します。ただし、明るくなる代わりに、映像は白黒になります。

DI-CB322LEWでは、ナイトモード時にカラー映像で撮影するか白黒映像で撮影するかを設定できます。（「（26）ナイト時カラー設定」が「COLOR」時はカラー映像、「MONO」時は白黒映像）

DI-CF310は、赤外線光を利用したナイトモードではありませんが、映像を白黒にして色ノイズを抑えるナイトモードを搭載しています。「AUTO」「COLOR」「MONO」の動作は、赤外線光を使用しないこと以外はDI-CB320/DI-CD320/DI-CB325/DI-CD325/DI-CD322LEと同様です。

DI-CD322LE/DI-CB322LEWには、IR-LED機能（➔P.39）を搭載しており、本機能と併用して使用することができます。

次の表を参考に、ナイトモードを設定してください。

**表 ナイトモードの設定**

**DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CF310/DI-CD322LE**

| | |
|---|---|
| AUTO | 明るさを自動で判定し、暗くなるとナイトモードをMONOに、明るくなるとナイトモードをCOLORに切り換えます。 |
| COLOR | 常にナイトモードをCOLORにします。カラー映像で撮影したい場合にご使用ください。 |
| MONO | 常にナイトモードをMONOにします。映像は白黒になり、暗い環境でも、明るく撮影したい場合や、色ノイズを抑えたい場合にご使用ください。 |

**DI-CB322LEW**

| | | （13）ナイトモード | | |
|---|---|---|---|---|
| | | AUTO | DAY | NIGHT |
| （26）ナイト時カラー設定 | COLOR | 明るさが変化する環境でお使いください。 | 暗い環境でも色再現を重視したい場合にお使いください。 | 明るさが変化せず、環境のほとんどが暗く、一部だけが明るい場合にお使いください。 |
| | MONO | 低照度環境でノイズを抑えたい場合にお使いください。映像は白黒になります。 | | 常時暗い環境でノイズを抑えたい場合にお使いください。映像は白黒になります。 |

**お知らせ**

- DI-CB320/DI-CD320/DI-CB325/DI-CD325の場合、ナイトモードは、赤外線光をあまり含まない蛍光灯などの光源では、思ったように明るくならないことがあります。その場合、赤外線投光器を設置するなどの対応をしてください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 動き検知設定を使用時、被写体によってはナイトモード設定の切り換わりタイミングで動き検知が動作する場合があります。

### （14）ナイトモード切替感度

**設定値**：LOW／NORM（初期値）／HIGH

「（13）ナイトモード」で「AUTO」を選択した場合の切替感度（明るさ）を選択できます。

「LOW」は暗め、「HIGH」は明るめ、「NORM」は中間の明るさで切り換わります。

**お知らせ**

- 「（13）ナイトモード」を「AUTO」に設定したときに有効になります。

### （15）カラー／モノクロ切替制御間隔 (DAY／NIGHT 切替制御間隔)

**設定値**：10s（初期値）／30s／1min

切替感度（明るさ）に達した後、実際に切り換わるまでの時間が選択できます。

**お知らせ**

- 「（13）ナイトモード」を「AUTO」に設定したときに有効になります。
- DI-CB322LEWでは、設定項目名称が「DAY／NIGHT切替制御間隔」となります。

### （16）DSS 倍率指定

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE**

**設定値**：×1（初期値）／×2／×4／×8／×16／×32

**・DI-CF310**

**設定値**：×1（初期値）／×2／×4／×8

**・DI-CB322LEW**

**設定値**：×1（初期値）／×2／×4／×8／×16

DSS（デジタル・スロー・シャッター）は、センサーの露光時間を長くして、暗い環境下での映像を明るくする機能です。指定倍率までシャッター速度を遅くします。

**お知らせ**

- 倍率を高くするほど、暗い環境下で明るく撮影できますが、動きのある被写体では残像により、動きが多少不自然に見えることがあります。
- 「（12）シャッター速度」を「AE」「50Hz FIXED」「60Hz FIXED」に設定したときに有効になります。

### （17）自動アイリス制御 ON / OFF

**設定値**：ON（初期値）／OFF

明るさ制御を自動でするか、マニュアルでするかを選択できます。

### （18）アイリス固定時レベル指定

**設定値**：0～6（初期値）～12

数値が大きいほど明るくなります。

**お知らせ**

- 「（17）自動アイリス制御 ON/OFF」を「OFF」に設定したときに有効になります。

### （19）WDR モード

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CF310 / DI-CD322LE**

**設定値**：ON／OFF（初期値）

**・DI-CB322LEW**

**設定値**：OFF／ON／EI（初期値）／WR

WDR（ワイド・ダイナミック・レンジ）は、コントラストの差が大きい被写体を撮影する場合、一部が暗すぎて黒つぶれしないように、または明るすぎて白飛びしないようにコントラストを補正します。「（19）WDRモード」を「EI」に設定すると画面の暗い部分黒つぶれしないように補正します。「（19）WDRモード」を「WR」に設定すると画面の白飛び部分を補正します。

**お知らせ**

- **「（19）WDRモード」を「ON」に設定すると「（12）シャッター速度」は「AE」になり「AE/50Hz FIXED / 60Hz FIXED」のみ選択／設定変更できます。「（19）WDRモード」を「OFF」に設定すると「（12）シャッター速度」を変更していない場合は以前の設定に戻ります。**

### （20）コントラスト指定

**設定値**：1～50（初期値）～100

数値が大きいほどコントラストが強くなります。

**お知らせ**

- **「（19）WDRモード」を「ON」に設定したときに有効になります。**

### （21）合成時高速側比率指定

**設定値**：1～50（初期値）～100

明るい部分と暗い部分のバランスを調整します。数値が大きいほど高輝度部（明部）の階調が上がります。

**お知らせ**

- **「（19）WDRモード」を「ON」に設定したときに有効になります。**
- **DI-CB320/DI-CD320/DI-CB325/DI-CD325/DI-CF310/DI-CD322LEが対応しています。**

### （22）DNR レベル

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CF310 / DI-CD322LE**

**設定値**：OFF／LOW（初期値）／MID／HIGH

**・DI-CB322LEW**

**設定値**：OFF／LOW／MID／HIGH／AUTO（初期値）

暗い環境下でゲインやDSSによる明るさ補正を行うと、映像は明るくなりますが、ノイズも増加します。DNR（デジタル・ノイズ・リダクション）は、このノイズを低減できます。また、明るい環境下でもノイズを軽減することができます。

「LOW」→「MID」→「HIGH」の順で、本機能の効果が強くなります。「OFF」は本機能が動作しません。「AUTO」は自動で調整します。

**お知らせ**

- **DNRレベルを設定した状態で、動きの速い被写体を撮影した場合、動きが多少不自然に見えることがありますが、故障ではありません。**

### （23）IR-LED

**・DI-CD322LE**

**設定値**：OFF／ON（初期値）

**・DI-CB322LEW**

**設定値**：OFF／MANUAL／AUTO（初期値）

IR-LEDの点灯／消灯を選択できます。

**お知らせ**

- DI-CD322LE/DI-CB322LEWが対応しています。
- DI-CD322LEで「ON」に設定時は、以下の場合に点灯します。
  ①「（13）ナイトモード」を「MONO」に設定にしたとき
  ②「（13）ナイトモード」を「AUTO」に設定し、且つモノクロ画像に切替わっているとき
- DI-CB322LEWで「MANUAL」「AUTO」に設定時は、以下の場合に点灯します。
  ①「（13）ナイトモード」を「NIGHT」に設定にしたとき
  ②「（13）ナイトモード」を「AUTO」に設定し、且つ周辺が暗いとき
- DI-CB322LEWでIR-LEDを点灯させる場合には、通常は「AUTO」を設定してください。
  IR-LEDによる白飛びが気になる場合には、「MANUAL」を設定し、「（27）IR-LEDマニュアル時レベル」に小さい値を設定してください。

### （24）上下左右反転

**設定値**：OFF（初期値）／ON

映像の上下左右を反転させるかどうかを選択できます。上下左右反転設定を変更すると、プライバシーマスクの領域座標および動き検知設定の開始点・終了点も反転します。

**お知らせ**

- DI-CD322LE/DI-CB322LEWが対応しています。

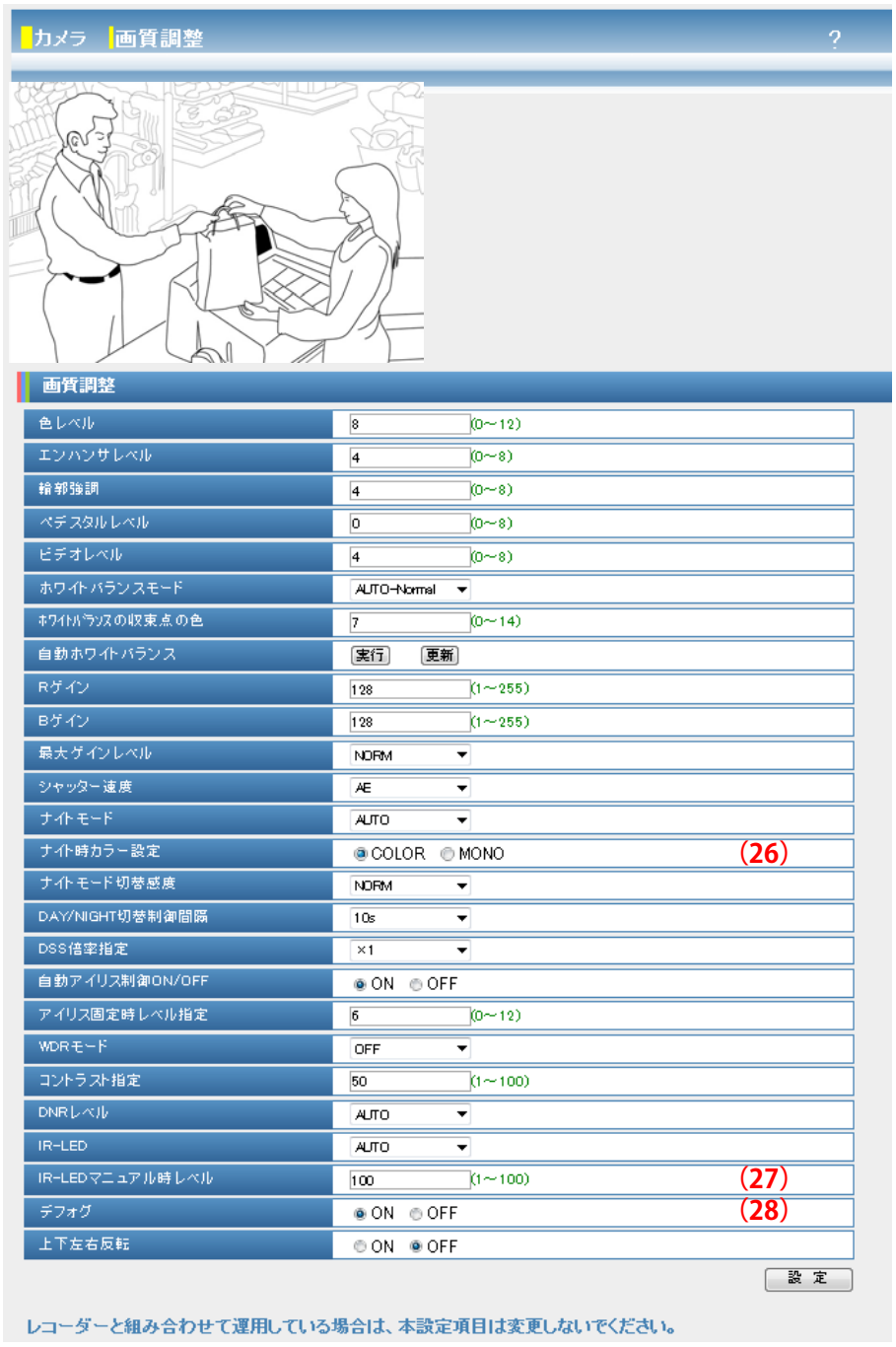
### （25）[設定]ボタン

（1）～（24）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

**お知らせ**

- DI-CB322LEWでは、「（26）ナイト時カラー設定」「（27）IR-LEDマニュアル時レベル」「（28）デフォグ」も設定します。

DI-CB322LEWでは、「画質調整」メニューとして、以下の専用設定を行うことができます。



### （26）ナイト時カラー設定

**設定値**：COLOR（初期値）／MONO

「（13）ナイトモード」を「AUTO」に設定し暗い場所を撮影した場合や、「NIGHT」を設定した場合に、白黒映像で撮影するか、カラー映像で撮影するかを選択できます。

「COLOR」を選択した場合でも可視光が少ない所では白黒になる場合がありますが故障ではありません。

**お知らせ**

- DI-CB322LEWのみ対応しています。
- 「COLOR」で撮影時に被写体や照明によって色モアレ(偽色)が発生する場合は、「MONO」に切り替えてください。

### （27）IR-LED マニュアル時レベル

**設定値**：1～100（初期値）

「（23）IR-LED」が「MANUAL」の場合のIR-LEDの光量を設定できます。

IR-LEDによる白飛びが気になる場合には、小さい値を設定することで改善できます。

**お知らせ**

- DI-CB322LEWのみ対応しています。

### （28）デフォグ

**設定値**：ON（初期値）／OFF

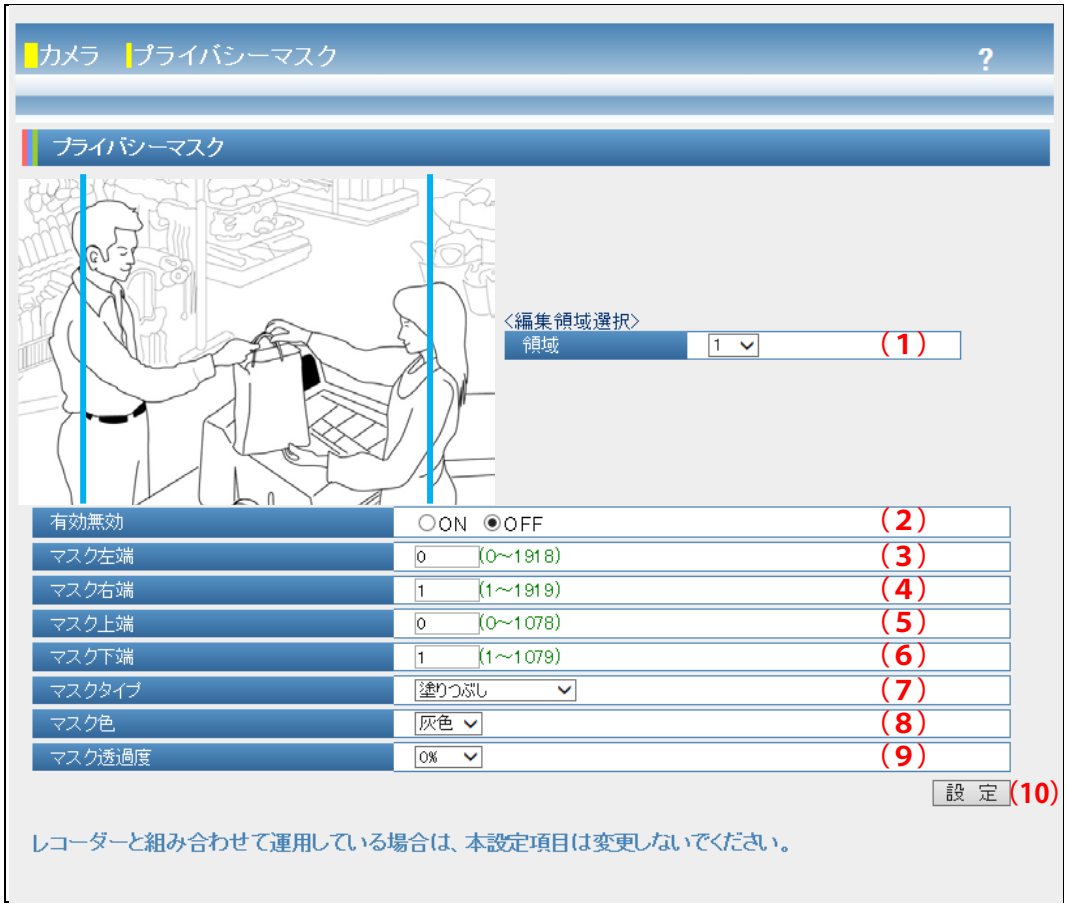
画像処理によって霧や水蒸気などのモヤを軽減し、見やすい映像に補正します。

**お知らせ**

- DI-CB322LEWのみ対応しています。

# プライバシーマスク設定項目

「プライバシーマスク」メニューでは、監視（撮影）プライバシー保護を目的として、ネットワークカメラの映像の指定領域に塗りつぶしまたはモザイクを設定できます。
領域の設定は、設定画面内の映像上でマウス操作により指定できます。




**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。**
- **DI-CB320/DI-CD320の Ver.000.012.066 未満とDI-CF310の Ver.000.000.095 未満にて、「プライバシーマスク」設定画面を開いた場合、プレビュー表示用の解像度に合わせ「配信」-「ライブ配信」（➔P.50）の画像サイズをDI-CB320 / DI-CD320は「D1」、DI-CF310は「VGA」に変更します。条件によってはH.264ビットレートも変更されるのでご注意ください。なお、「プライバシーマスク」設定画面を閉じても、元の画像サイズには戻りません。**
- **DI-CB320/DI-CD320のVer.000.012.066以降とDI-CB325/DI-CD325、DI-CD322LEおよびDI-CB322LEWでは、ライブ配信設定の画像サイズが「SHD／SXVGA／VGA／Q-VGA」設定時は、本設定が正しく反映されない場合があります。そのため、使用する場合には、「配信」-「ライブ配信」（➔P.50）の画像サイズを「SHD／SXVGA／VGA／Q-VGA」以外に変更してから設定変更してください。**
- **カメラのファームウェアバージョンについては、販売店にご相談ください。**

**お知らせ**

- プライバシーマスクは、すべてのライブ配信／記録配信映像（ビデオ出力含む）に反映します。また、SDメモリーカードなどへの記録画像にも反映します。
- 設定できるマスク領域は20領域ですが、日立デジタルレコーダーから設定できる領域は最大8領域です。
- 指定したプライバシーマスクの領域と実際のマスク位置には、多少の誤差（ズレ）が発生することがあります。
- DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW の場合、設定画面のプレビュー表示は、アスペクト比 4:3 相当の位置に水色の境界線を表示します。DI-CF310の場合は表示しません。「配信」-「記録配信」（➔P.53）で画像サイズを「SHD / SXVGA / VGA / Q-VGA」に設定している場合は、この境界線の外側に設定したプライバシーマスク領域は記録映像に反映されません。
- プライバシーマスクを設定している領域でも動き検知を行います。
- プライバシーマスク領域を設定している状態で、「カメラ」-「画質調整」（➔P.33）で「上下左右反転」を「ON」に設定すると、プライバシーマスク領域も上下左右反転します(DI-CD322LE/DI-CB322LEWのみ)。

## プライバシーマスク

### （1）領域（編集領域選択）

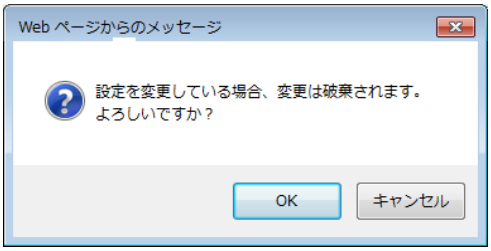
**設定値**：1（初期値）～20

設定したいプライバシーマスク領域番号を選択できます。

選択した番号ごとに、「有効無効」「マスク左端」「マスク右端」「マスク上端」「マスク下端」「マスクタイプ」「マスク色」「マスク透過度」を設定できます。

**お知らせ**

- 領域設定中（「（10）[設定]」をクリックする前）に別のマスク番号を選択すると、変更を破棄するかの警告画面を表示します。設定を破棄し別のマスク番号を設定するときは[OK]をクリックしてください。




**マウスでマスク領域を設定するには**

- 領域選択後に、ライブ映像画面上でマウスを操作することで、領域を設定できます。設定したい領域の始点でマウスの左ボタンを押し、終点までドラッグしてマウスの左ボタンを離します。

### （2）有効無効

**設定値**：ON／OFF（初期値）

プライバシーマスク機能を使用するかどうかを選択できます。

**お知らせ**

- マスクを「ON」から「OFF」にして[設定]をクリックすると、マスクが無効になり、設定済みの座標をクリアします。再度「ON」に切り換えても元の座標は復元されません。

**（3）マスク左端**

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW**

**設定値**：0（初期値）～1918

**・DI-CF310**

**設定値**：0（初期値）～1438

プライバシーマスク領域の左端位置を設定します。

**（4）マスク右端**

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW**

**設定値**：1（初期値）～1919

**・DI-CF310**

**設定値**：1（初期値）～1439

プライバシーマスク領域の右端位置を設定します。

**（5）マスク上端**

**設定値**：0（初期値）～1078

プライバシーマスク領域の上端位置を設定します。

**（6）マスク下端**

**設定値**：1（初期値）～1079

プライバシーマスク領域の下端位置を設定します。

**（7）マスクタイプ**

**設定値**：塗りつぶし（初期値）／モザイク／塗りつぶし＋モザイク

領域をどのようにマスクするかを選択できます。

**（8）マスク色**

**設定値**：灰色（初期値）／黒色／白色／赤色／青色／緑色／黄色

領域を塗りつぶす色を選択できます。

**お知らせ**

- **「（7）マスクタイプ」が塗りつぶし／塗りつぶし＋モザイク設定時のみ有効です。**

**（9）マスク透過度**

**設定値**：0%（初期値）／25%／50%／100%

100%に近いほど透明になります。

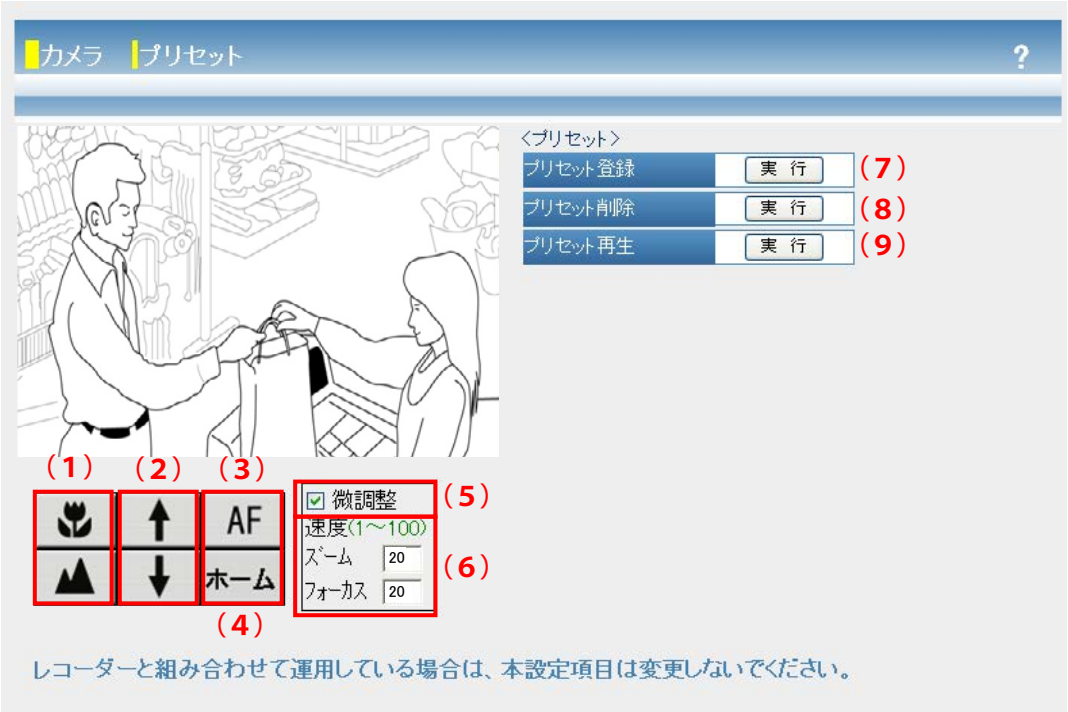
**（10）[設定]ボタン**

（1）～（9）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

設定したプライバシーマスク

# プリセット項目

プリセットは、任意のズーム位置を登録する機能です。




**お知らせ**

- DI-CD322LEが対応しています。
- DI-CD322LEの Ver.000.002.041 以降では、プリセット自動登録の設定となります。そのため、プリセット登録[実行]ボタン／プリセット削除[実行]ボタン／プリセット再生[実行]ボタン／[ホーム]ボタンは非活性です。
  活性化させるには、「メンテナンス」メニューでの設定が必要になりますので、ご使用になる場合は販売店にご相談ください。
- DI-CB322LEWでは「映像確認」-「ライブ」（➔P.132）画面で、ズームやフォーカスの調整が可能です。各ボタンの操作方法は、以下の項目をご参照ください。
  「（1）テレ（望遠）／ワイド（広角）ボタン」
  「（2）フォーカス調整[↑]（FAR）／[↓]（NEAR）ボタン」
  「（3）[AF]（オートフォーカス）ボタン」
  「（5）「微調整」チェックボックス」
  「（6）「微調整」速度 ズーム／フォーカス 」

## プリセット

**（1）テレ（望遠）／ワイド（広角）ボタン**　（ ／ ）

クリックしたボタンの方向にカメラのズーム位置を移動させます。マウスボタンを押し続けると連続して移動します。マウスボタンを離すと停止します。

**お知らせ**

- 「微調整」チェックボックスにチェックが付いているときは、動作速度が遅くなります。
- 「微調整」時のズーム速度およびフォーカス速度は変更することができます。

**（2）フォーカス調整［↑］（FAR）／［↓］（NEAR）ボタン**　（ ／ ）

クリックしたボタンの方向にカメラのフォーカス位置を移動させます。
［↑］（FAR）ボタンを押すと、フォーカス位置が画面奥側に移動します。
［↓］（NEAR）ボタンを押すと、フォーカス位置が画面手前側に移動します。
マウスボタンを押し続けると連続して移動します。マウスボタンを離すと停止します。

**お知らせ**

- 「微調整」チェックボックスにチェックが付いているときは、動作速度が遅くなります。
- 「微調整」時のズーム速度およびフォーカス速度は変更することができます。

**（3）[AF]（オートフォーカス）ボタン**

クリックすると、カメラのフォーカスを自動で調整します。
マウスボタンを押し続けたり、離したりしても、変わりません。

**お知らせ**

- オートフォーカス実行中は、他の動作を受け付けません。

**（4）[ホーム]　ボタン**

クリックすると、ホームポジションに移動します。

**お知らせ**

- プリセット登録をしていない状態でクリックした場合、カメラは移動しません。
- DI-CD322LEのみ対応しています。

**（5）「微調整」チェックボックス**

**設定値**：チェックなし（初期値）／チェックあり
ズーム位置／フォーカス位置を微調整する場合にチェックを付けます。
チェックを付けると、テレ／ワイドボタン、フォーカス調整ボタンを押したときの動作速度が遅くなります。

**（6）「微調整」速度　ズーム／フォーカス**

**・DI-CD322LE**

**設定値**：1～20（初期値）～100

**・DI-CB322LEW**

**設定値**：1～3（初期値）～18　（ズーム）
**設定値**：1～6（初期値）～31　（フォーカス）
「微調整」チェックボックスをチェックした場合のズーム／フォーカスの動作速度を設定することができます。

### （7）プリセット登録

**設定値**：なし（初期値）／あり

[実行]をクリックすると、現在のズーム位置が登録されます。

**お知らせ**

- すでにプリセット登録をしている場合は、上書き保存します。
- プリセット登録位置は、設定セーブ・ロード対象外です。
- カメラに電源投入時、ズーム位置がプリセット登録した位置に移動します。
- プリセット登録はカメラが再起動しても消えません。
- プリセット登録をする前に、必ずオートフォーカスによるピント調整を行ってください（温度変化によりピントがボケる可能性があります）。
- DI-CD322LEのみ対応しています。

### （8）プリセット削除

クリックすると、登録しているプリセットを削除できます。

**お知らせ**

- DI-CD322LEのみ対応しています。

### （9）プリセット再生

クリックすると、ホームポジションに移動します。

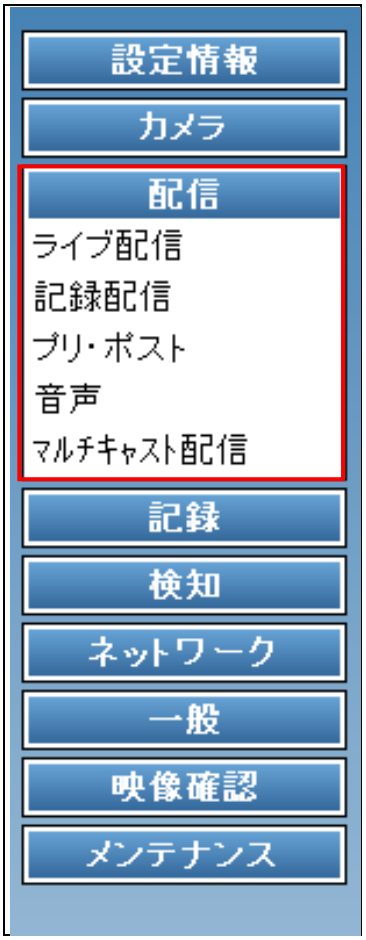
**お知らせ**

- DI-CD322LEのみ対応しています。

# 映像と音声の配信を設定する

## 概要

「配信」では、ネットワークカメラから配信される、映像と音声のストリーム設定ができます。



# ライブ配信項目

「ライブ配信」メニューでは、ライブ配信の設定ができます。記録配信と異なる映像フォーマットで配信することもできます。

**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。**
- **ライブ配信と記録配信「(5)【H.264】ビットレート」の合計が上限（16000kbps）を超える場合はデータ配信を保証できません。上限を超えないように設定してください。また、SDメモリーカード／NASへ記録する場合は、上限値が低くなります。**
- **設定可能なフレームレートとIフレーム間隔の組み合わせには以下の制約があります。**
  **<制約> 「フレームレート×【H.264】Iフレーム間隔 ≦ 30フレーム」の組み合わせのみ可能です。**
- **「(1) エンコードモード」が「JPEG」のときは以下の制約があります。**
  **<制約>「(4)【JPEG】画質」が「レベル1」～「レベル4」で、画像サイズが「FHD」「SHD」設定時は、フレームレートは「7.5fps」以下のみ設定できます。**
  **<制約>「(4)【JPEG】画質」が「レベル5」で、画像サイズが「FHD」「SHD」設定時は、フレームレートは「6fps」以下のみ設定できます。**
  **<制約>「(4)【JPEG】画質」が「レベル1」～「レベル4」で、画像サイズが「SXVGA」「HD」設定時は、フレームレートは「15fps」以下のみ設定できます。**
  **<制約>「(4)【JPEG】画質」が「レベル5」で、画像サイズが「SXVGA」「HD」「D1」「H-D1」「VGA」「HVGAW」「H-VGA」「Q-VGA」「SIF」設定時は、フレームレートは「10fps」以下のみ設定できます。**
- **最大配信セッション数は、記録配信とあわせて合計10セッションです。**
- **「マルチキャスト配信」（➔P.61）を「ON」にすると、「(1) エンコードモード」を「JPEG」に変更できません。**

## ライブ配信設定

### （1）エンコードモード

**設定値**：H.264（初期値）／JPEG
ライブ配信の圧縮方式を選択できます。
H.264は少ないデータ量で動画を効率よく伝送できる動画圧縮規格です。情報量の多い映像を配信する場合や、動きの少ない動画を配信する場合に適しています。
JPEGは静止画圧縮規格です。静止画像の画質を重視する場合や、動きの多い動画を配信する場合に適しています。

### （2）画像サイズ

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW**

**設定値**：FHD（1920×1080）（16:9）／SHD（1440×1080）／SXVGA（1280×960）／HD（1280×720）（16:9）／D1（704×480）（初期値）／H-D1（704×240）／VGA（640×480）／HVGAW（640×360）（16:9）／H-VGA（640×240）／Q-VGA（320×240）／SIF（352×240）

**・DI-CF310**

**設定値**：SHD（1440×1080）／SXVGA（1280×960）（初期値）／VGA（640×480）／Q-VGA（320×240）
ライブ配信の画像サイズを選択できます。
画像サイズが大きいほど、鮮明な映像を配信できますが、その分データ量は多くなります。
画像サイズが小さいほど、データ量が少ない映像を配信できますが、その分映像は粗くなります。

### （3）フレームレート

**設定値**：1fps／2fps／3fps／4fps／5fps／6fps／7.5fps／8fps／10fps（初期値）／12fps／15fps／30fps
ライブ配信のフレームレートを選択できます。
フレームレートは、1秒間に何枚の映像を配信するかを指します。たとえば、「1fps」は1秒に1枚の映像を配信し、「15fps」は1秒に15枚の映像を配信します。

### （4）【JPEG】画質

**設定値**：レベル1／レベル2／レベル3（初期値）／レベル4／レベル5
ライブ配信の画質を選択できます。
レベルが大きいほど、鮮明な映像を配信できますが、その分データ量は多くなります。
レベルが小さいほど、データ量が少ない映像を配信できますが、その分映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（1）エンコードモード」が「JPEG」のとき有効な設定です。

### （5）【H.264】ビットレート

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW**

**設定値**：64～1024（初期値）～12000

**・DI-CF310**

**設定値**：64～2048（初期値）～12000

ライブ配信のビットレート（kbps）を設定できます。
数字が大きいほど、鮮明な映像を配信できますが、その分データ量は多くなります。
数字が小さいほど、データ量は少なくなりますが、その分映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（1）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- ビットレートは、1秒間のデータ量を示します。1秒間のデータ量がこの設定値に収まるように制御します。
- 画像サイズやフレームレートなどにより下限値は変化します。

### （6）【H.264】I フレーム間隔

**設定値**：1.0s（初期値）／2.0s／3.0s／4.0s／5.0s／6.0s／7.0s／8.0s／9.0s／10.0s

ライブ配信のIフレーム間隔を選択できます。
間隔が短いほど、動きの多い鮮明な映像を配信できますが、その分データ量は多くなります。
間隔が長いほど、データ量は少なくなりますが、その分動きの多い映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（1）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- H.264はIフレーム（1枚でも伸張可能でデータ量は多い映像）と、Pフレーム（Iフレームとの差分データのため、1枚では伸張不可能でデータ量は少ない映像）という2種類のデータで構成されています。このIフレームがどれくらいの間隔で配信するかを設定します。

### （7）[確認]ボタン

入力された設定値での映像を、画面表示で確認することができます。

### （8）[設定]ボタン

（1）～（6）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# 記録配信項目

「記録配信」メニューでは、記録配信の設定ができます。ライブ配信と異なる映像フォーマットで配信することもできます。

**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。**
- **ライブ配信と記録配信の「(5)【H.264】ビットレート」の合計が上限（16000kbps）を超える場合はデータ配信を保証できません。上限を超えないように設定してください。また、SDメモリーカード／NASへ記録する場合は、ライブ配信の上限値が低くなります。**
- **設定可能なフレームレートとIフレーム間隔の組み合わせには以下の制約があります。**
  **<制約> 「フレームレート×【H.264】Iフレーム間隔 ≦ 30フレーム」の組み合わせのみ可能です。**
- **「(1) エンコードモード」が「JPEG」のときは以下の制約があります。**
  **<制約>「(4)【JPEG】画質」が「レベル1」～「レベル4」で、画像サイズが「FHD」「SHD」設定時は、フレームレートは「7.5fps」以下のみ設定できます。**
  **<制約>「(4)【JPEG】画質」が「レベル5」で、画像サイズが「FHD」「SHD」設定時は、フレームレートは「6fps」以下のみ設定できます。**
  **<制約>「(4)【JPEG】画質」が「レベル1」～「レベル4」で、画像サイズが「SXVGA」「HD」設定時は、フレームレートは「15fps」以下のみ設定できます。**
  **<制約>「(4)【JPEG】画質」が「レベル5」で、画像サイズが「SXVGA」「HD」「D1」「H-D1」「VGA」「HVGAW」「H-VGA」「Q-VGA」「SIF」設定時は、フレームレートは「10fps」以下のみ設定できます。**
- **最大配信セッション数は、ライブ配信とあわせて合計10セッションです。**
- **記録配信中にフレームレートが切り換わる場合、切り換わり目で最大約2秒間の記録フレームが抜けてしまう場合があります。**
- **記録共通設定で保存先が「SDカード」「NAS」の場合は、記録配信設定は無効になり配信されません。**

## 記録配信設定

### （1）エンコードモード

**設定値**：H.264（初期値）／JPEG

記録配信の圧縮方式を選択できます。

「H.264」は少ないデータ量で動画を効率よく伝送できる動画圧縮規格です。情報量の多い映像を配信する場合や、動きの少ない動画を配信する場合に適しています。

「JPEG」は静止画圧縮規格です。静止画像の画質を重視する場合や、動きの多い動画を配信する場合に適しています。

### （2）画像サイズ

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW**

**設定値**：FHD（1920×1080）（16:9）／SHD（1440×1080）／SXVGA（1280×960）／HD（1280×720）（16:9）／D1（704×480）（初期値）／H-D1（704×240）／VGA（640×480）／HVGAW（640×360）（16:9）／H-VGA（640×240）／Q-VGA（320×240）／SIF（352×240）

**・DI-CF310**

**設定値**：SHD（1440×1080）／SXVGA（1280×960）（初期値）／VGA（640×480）／Q-VGA（320×240）

記録配信の画像サイズを選択できます。

画像サイズが大きいほど、鮮明な映像を配信できますが、その分データ量は多くなります。

画像サイズが小さいほど、データ量が少ない映像を配信できますが、その分映像は粗くなります。

### （3）フレームレート

**設定値**：1fps／2fps／3fps／4fps／5fps／6fps／7.5fps／8fps／10fps（初期値）／12fps／15fps／30fps

記録配信のフレームレートを選択できます。

フレームレートは、1秒間に何枚の映像を配信するかを指します。たとえば、「1fps」は1秒に1枚の映像を配信し、「15fps」は1秒に15枚の映像を配信します。

### （4）【JPEG】画質

**設定値**：レベル1／レベル2／レベル3（初期値）／レベル4／レベル5

記録配信の画質を選択できます。

レベルが大きいほど、鮮明な映像を配信できますが、その分データ量は多くなります。

レベルが小さいほど、データ量が少ない映像を配信できますが、その分映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（1）エンコードモード」が「JPEG」のとき有効な設定です。

### （5）【H.264】ビットレート

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW**

**設定値**：64～1024（初期値）～12000

**・DI-CF310**

**設定値**：64～2048（初期値）～12000

記録配信のビットレート（kbps）を設定できます。
数字が大きいほど、映像は鮮明になりますが、その分データ量は多くなります。
数字が小さいほど、データ量は少なくなりますが、その分映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（1）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- ビットレートは、1秒間のデータ量を示します。1秒間のデータ量がこの設定値に収まるように制御します。
- 画像サイズやフレームレートなどにより下限値は変化します。

### （6）【H.264】I フレーム間隔

**設定値**：1.0s（初期値）／2.0s／3.0s／4.0s／5.0s／6.0s／7.0s／8.0s／9.0s／10.0s

記録配信のIフレーム間隔を選択できます。
間隔が短いほど、動きの多い鮮明な映像を配信できますが、その分データ量は多くなります。
間隔が長いほど、データ量は少なくなりますが、その分動きの多い映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（1）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- H.264はIフレーム（1枚でも伸張可能でデータ量は多い映像）と、Pフレーム（Iフレームとの差分データのため、1枚では伸張不可能でデータ量は少ない映像）という2種類のデータで構成されています。このIフレームがどれくらいの間隔で配信するかを設定します。

### （7）[確認]ボタン

入力された設定値での映像を、画面表示で確認することができます。

**お知らせ**

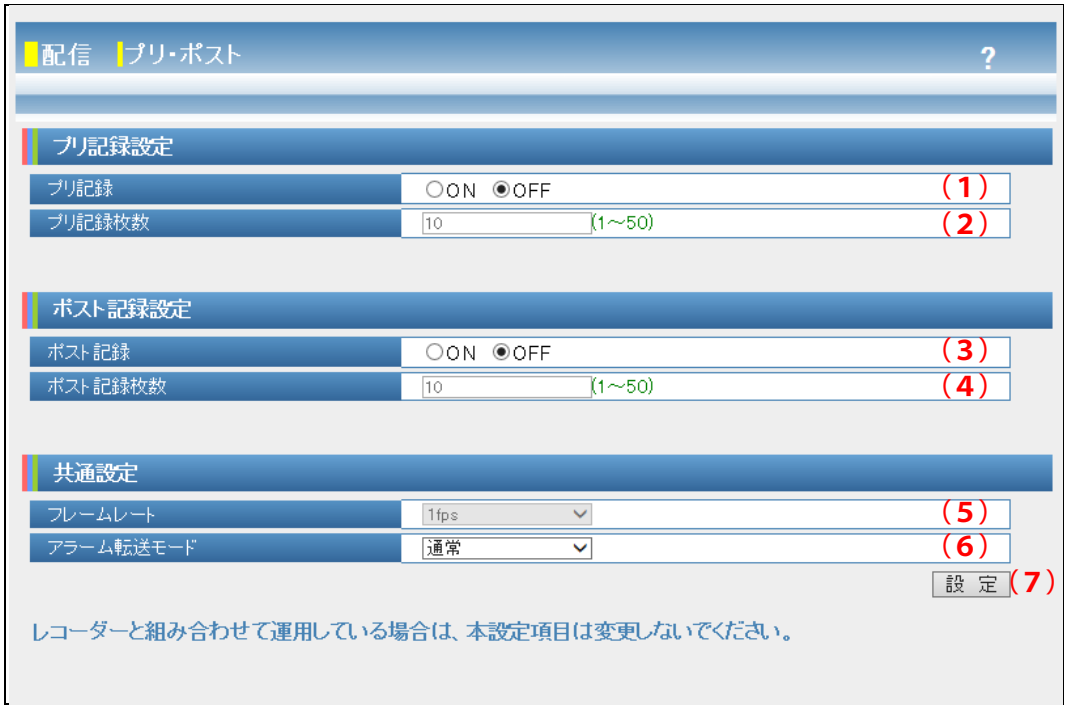
- 「（1）エンコードモード」が「H.264」で「基本設定」の「プロトコル」がIPv6の場合は、ボタンは活性化しません。

### （8）[設定]ボタン

（1）～（6）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# プリ・ポスト項目

「プリ・ポスト」メニューでは、アラーム検知前を記録する「プリ記録」とアラーム検知後を記録する「ポスト記録」の設定ができます。




**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。**
- **プリ記録設定を変更した場合は、配信前のプリ映像データはすべて破棄します。**
- **フレームレート設定の制約として、下記①②を満たす場合のみ設定できます。**
  **<制約>**
  **① 記録配信で設定しているフレームレート以下の値に設定してください。**
  **② 記録配信で設定しているフレームレートを割り切れる値に設定してください。**
- **記録共通設定で保存先が「SDカード」「NAS」の場合は、記録配信できないため本設定は無効となります。**
- **ポスト記録中にポスト記録枚数の変更を行った場合、ポスト記録は停止します。**

## プリ記録設定

### （1）プリ記録

**設定値**：ON／OFF（初期値）

プリ記録の映像を配信するかどうかを設定できます。

**お知らせ**

- 記録配信の「（1）エンコードモード」（➔P.54）が「JPEG」のとき有効な設定です。
- 「（3）ポスト記録」が「ON」のとき有効な設定です。
- ポスト記録中にポスト記録枚数の変更を行った場合、ポスト記録は停止します。

### （2）プリ記録枚数

**設定値**：1～10（初期値）～50

プリ記録用の映像の最大保存枚数を設定できます。

**お知らせ**

- 「（1）プリ記録」が「ON」のとき有効な設定です。
- 記録配信の「（1）エンコードモード」が「JPEG」のとき有効な設定です。
- 「記録配信設定」（➔P.54）で、データ量が大きく高画質となる配信条件を設定している場合、指定した枚数をすべて配信できないことがあります。

## ポスト記録設定

### （3）ポスト記録

**設定値**：ON／OFF（初期値）

ポスト記録の映像を配信するかどうかを設定できます。

### （4）ポスト記録枚数

**設定値**：1～10（初期値）～50

ポスト記録用の映像の最大保存枚数を設定できます。

**お知らせ**

- 「（3）ポスト記録」が「ON」のとき有効な設定です。
- 「記録配信設定」で、データ量が大きく高画質となる配信条件を設定している場合、指定した枚数をすべて配信できないことがあります。

## 共通設定

### （5）フレームレート

**設定値**：1fps（初期値）／2fps／3fps／4fps／5fps／6fps／7.5fps／8fps／10fps／12fps／15fps／30fps

プリ・ポスト記録映像のフレームレートを選択できます。

この映像は「プリ記録」や「ポスト記録」の記録枚数で設定した枚数分が内部メモリに記録され、アラーム発生時に接続機器に転送します。

**お知らせ**

- 「（1）プリ記録」または「（3）ポスト記録」が「ON」のとき選択できます。
- 設定できるフレームレートは、記録配信の「（3）フレームレート」（➔P.54）以下の値で、記録配信の「（3）フレームレート」の値を割り切ることのできる値となります。

### （6）アラーム転送モード

**設定値**：通常（初期値）／マニュアル／延長

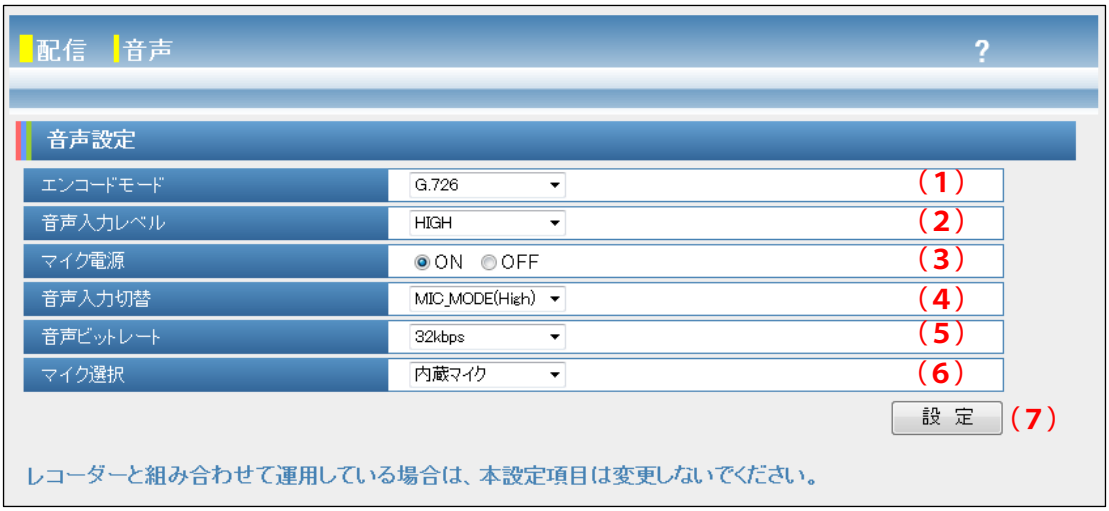
- 「通常」　：アラーム発生時にプリ記録設定／ポスト記録設定で設定した枚数分の画像を転送します。
- 「マニュアル」　：アラーム発生期間中の画像を指定フレームレートで転送します。
- 「延長」　：アラーム発生期間中の画像を指定フレームレートで転送し、アラームが終了した後にポスト記録枚数分配信します。

### （7）[設定]ボタン

（1）～（6）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# 音声項目

「音声」メニューでは、ネットワークカメラの内蔵マイク、ライン入力、外部マイク入力から入力された音声データの配信設定ができます。




**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、エンコードモードおよび音声ビットレートは変更しないでください。**
- **日立デジタルレコーダー以外の機器と接続して使用する場合には、本設定項目は保持されません。ネットワークカメラを再起動した場合には、各設定項目を確認してからご使用ください。**
- **音声の配信設定はライブ／記録共通です。**
- **「マイク選択」はDI-CD322LEおよびDI-CB322LEWが対応しています。**
- **「エンコードモード」はDI-CB320/DI-CD320はVer.000.013.056以降、DI-CB325/DI-CD325、DI-CF310のVer.000.000.095以降、DI-CD322LEのVer.000.002.084以降、およびDI-CB322LEWが対応しています。**
- **カメラのファームウェアバージョンについては、販売店にご相談ください。**

## 音声設定

### （1）エンコードモード

**設定値**：G.726（初期値）／G.711

音声の圧縮方式を選択できます。

**お知らせ**

エンコードモードを「G.711」に設定するには、ONVIFを有効にする必要があります。ONVIFを有効にするためには、「メンテナンス」メニューでの設定が必要になりますので、ご使用になる場合は販売店にご相談ください。

- ONVIFが有効な場合でも、以下の場合はエンコードモードを「G.711」に設定できません。
  - ・記録共通設定の「（1）保存先」（➔P.64）が「SDカード」もしくは「NAS」に設定されている場合
  - ・拡声音声設定の「（1）音声受信モード」（➔P.126）が「G726_MODE」に設定されている場合

### （2）音声入力レベル

**設定値**：LOW／MID／HIGH（初期値）

音声入力の音量を選択できます。

### （3）マイク電源

**設定値**：ON（初期値）／OFF
マイク電源を使用するかどうかを選択できます。

### （4）音声入力切替

**設定値**：MIC_MODE（High）（初期値）／LINE_MODE（Low）
音声の入力元を選択できます。

- 「MIC_MODE（High）」：入力する音声信号を増幅してから圧縮します。マイク側にアンプがなく、音声信号の増幅が必要な内蔵マイクや外部マイクに適しています。
- 「LINE_MODE（Low）」：入力する音声信号をそのまま圧縮します。ネットワークカメラに入力される前にアンプによって音声信号が増幅されているライン入力に適しています。

### （5）音声ビットレート

**設定値**：16kbps／24kbps／32kbps（初期値）
配信する音声のビットレートを選択できます。
数字が大きいほど、高音質な音声を配信できますが、その分データ量は多くなります。
数字が小さいほど、データ量は少なくなりますが、その分音質は低くなります。

**お知らせ**

- ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、変更しないでください。
- 設定によって、記録時間が変わるのでご注意ください。
- 「（1）エンコードモード」が「G.726」のとき有効な設定です。

### （6）マイク選択

**設定値**：内蔵マイク（初期値）／外部マイク
使用するマイクを選択します。

**お知らせ**

- 「マイク選択」はDI-CD322LEおよびDI-CB322LEWが対応しています。

### （7）[設定]ボタン

（1）～（6）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

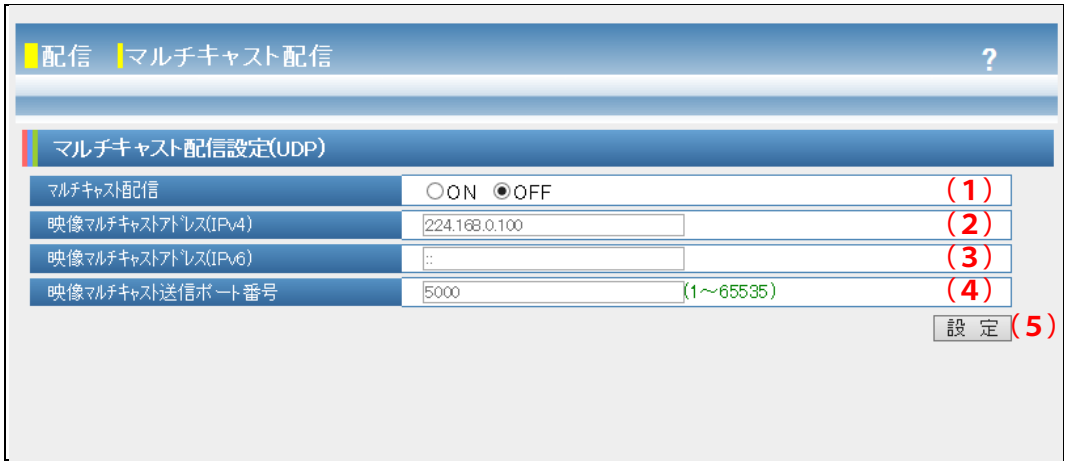
**お知らせ**

- 下記の表を参考に、ご使用されるマイクに合った設定を行ってください。日立デジタルレコーダーと接続しない場合で、設定を保存したい場合は「その他」-「設定保存について」（➔P.144）をご参照の上、設定を保存してください。

| 音声入力 | 内蔵マイク | 外部マイク | |
|---|---|---|---|
| ヘッドアンプ / 音声設定 | – | 無 | 有 |
| （3）マイク電源 | ON | ON | OFF |
| （4）音声入力切替 | MIC-MODE (High) | MIC-MODE (High) | LINE-MODE (Low) |
| （6）マイク選択 | 内蔵マイク | 外部マイク | 外部マイク |

# マルチキャスト配信項目

「マルチキャスト配信」メニューでは、ライブ映像、音声のマルチキャスト配信の設定ができます。
ユニキャスト配信に比べ、マルチキャスト配信はクライアント数が増えてもネットワーク帯域が増えることがないため、ネットワーク帯域を軽減することができます。




**■ご注意■**

- **マルチキャスト配信する映像の設定はライブ配信の設定を使用します。**
- **マルチキャストセッション（＝1セッション）は、セッション数には含まれません。ただし、配信するビットレートの合計には加算します。最大配信セッション数は、ライブ配信と記録配信をあわせて合計10セッションです。**
- **「(1) マルチキャスト配信」を「ON」にすると、ライブ配信と記録配信ができない場合があります。その場合は、「配信」-「ライブ配信」（➔P.50）のフレームレートもしくはビットレートを低い設定に変更してください。**

## マルチキャスト配信設定（UDP）

### （1）マルチキャスト配信

**設定値**：ON／OFF（初期値）
H.264フォーマットでマルチキャスト配信を行うかどうかを設定できます。
本設定を「ON」にすることでマルチキャスト配信が始まります。

**お知らせ**

- ライブ配信の「（1）エンコードモード」（➔P.51）が「H.264」のとき有効な設定です。

### （2）映像マルチキャストアドレス（IPv4）

**設定値**：0.0.0.0～224.168.0.100（初期値）～255.255.255.255
IPv4時のマルチキャストアドレスを設定できます。
マルチキャストルータに設定したマルチキャストアドレスを設定してご使用ください。

**（3）映像マルチキャストアドレス（IPv6）**

**設定値**： ::（初期値）～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

IPv6時のマルチキャストアドレスを設定できます。

マルチキャストルータに設定したマルチキャストアドレスを設定してご使用ください。

**（4）映像マルチキャスト送信ポート番号**

**設定値**：1～5000（初期値）～65535

マルチキャスト送信ポートを設定します。

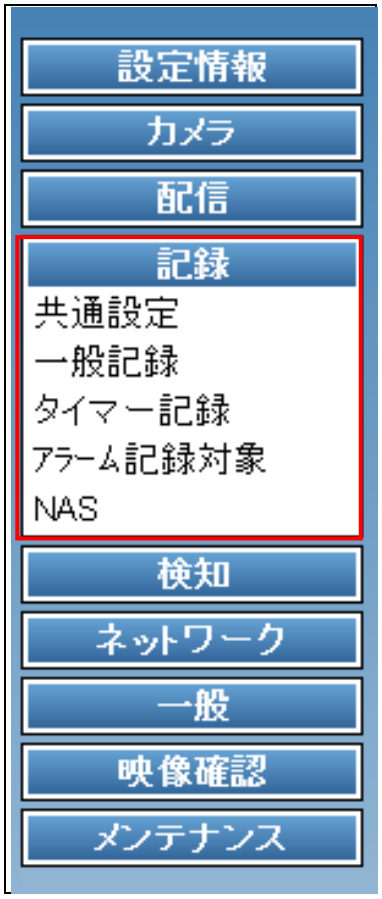
**（5）[設定]ボタン**

（1）～（4）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# 記録に関する設定をする

## 概要

本ネットワークカメラには SDHC / SDXCメモリーカード（以下、SDメモリーカード）に対応したカードスロットを搭載しています。「記録」では、装着したSDメモリーカードや接続したNASへ記録する映像や音声の設定ができます。
記録の開始は、「映像確認」の「ライブ」メニューで行います。



# 共通設定項目

「共通設定」メニューでは、映像／音声の記録保存先や上書き設定を行うことができます。

**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。**
- **使用できるSDメモリーカードは、SDHC / SDXC 規格のものになります。詳しくは、DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CF310 / DI-CD322LE / DI-CB322LEWの取扱説明書をご参照ください。**
- **SDメモリーカードは、事前にフォーマットしておく必要があります。（SDHC : FAT32, SDXC : exFAT）**

## 記録共通設定

### （1）保存先

**設定値**：OFF（初期値）／SDカード／NAS

記録映像／音声の保存先メディアを選択できます。

- 「OFF」　：「OFF」設定時はメディアへの記録を行いません。
- 「SDカード」：SDメモリーカードへ記録し、記録配信は行いません。
- 「NAS」　：NASへ記録し、記録配信は行いません。

**お知らせ**

- NASへ記録する機能はDI-CB320/DI-CD320のVer.000.012.066以降、DI-CB325/DI-CD325、DI-CF310のVer.000.000.095以降、DI-CD322LE、およびDI-CB322LEWが対応しています。
- カメラのファームウェアバージョンについては、販売店にご相談ください。
- 記録配信は日立デジタルレコーダーへ記録する際に必要な機能です。
- 保存先を「SDカード」もしくは「NAS」に設定する場合は、音声設定の「（1）エンコードモード」（➔P.59）を「G.726」に設定してください。

**（2）上書き設定**

**設定値**：ON／OFF（初期値）

保存先に設定したメディアが記録可能な容量を超えた場合の動作を選択できます。

・「ON」　：最も古い記録から上書きします。

・「OFF」：記録を停止します。

「ON」から「OFF」に変更した時点ですでに記録可能な容量がない場合は記録を開始しません。

**（3）[設定]ボタン**

（1）～（2）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# 一般記録項目

「一般記録」メニューでは、通常記録とアラーム記録の設定ができます。一般記録は、記録開始から記録停止するまでの間継続します。ただしタイマー記録の時間帯はタイマー記録設定に従います。

**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。**
- **設定可能なフレームレートとIフレーム間隔の組み合わせには以下の制約があります。**
  **<制約> 「フレームレート×【H.264】Iフレーム間隔 ≦30フレーム」の組み合わせのみ可能です。**
- **「記録」-「共通設定」（➔P.64）で保存先が「OFF」に設定時は、記録開始しません。**
- **SDメモリーカード挿入口の蓋が開いた状態では記録開始できません。**
- **記録中にSDメモリーカード挿入口の蓋を開いた場合は、記録を停止し記録保留状態になります。その後、SDメモリーカードが挿入された状態で蓋を閉じると、そのとき記録の設定に従い、自動的に記録を再開します。**
- **記録中でも、記録設定を変更することができます。**
- **記録中に記録設定を無効（もしくは記録継続できない設定）とした場合は、記録を停止し記録保留状態になります。**
- **記録中に保存先を「OFF」に設定変更した場合は、記録を停止しますが、記録保留状態にはなりません。**
- **記録配信中に保存先を「OFF」から「SDカード」「NAS」に設定変更した場合は、記録配信を停止し、以降は記録配信を受け付けません。**
- **アラーム記録中に、アラーム記録設定の変更を行った場合は、その設定は次回のアラーム記録から有効になります。**
- **記録中に記録設定（※1）が異なる記録モード（※2）へ切り換わる場合や、同じ記録モードでも異なる記録設定へ切り換わる場合、切り換わり目で最大約2秒間記録が抜ける場合があります。**
  **※1.画像サイズ／フレームレート／【JPEG】画質／【H.264】ビットレート／【H.264】Iフレーム間隔**
  **※2.一般記録⇒タイマー記録、一般記録⇒アラーム記録、タイマー記録⇒アラーム記録などの場合**
- **【H.264】ビットレートの設定値は、組み合わせるフレームレートによって、設定可能な上限値が定められています。**
  **①フレームレート　6～10fps 設定時：【H.264】ビットレート 6000kbps 以下**
  **②フレームレート 12～15fps 設定時：【H.264】ビットレート 4000kbps 以下**

## 共通

### （1）エンコードモード

**設定値**：H.264（初期値）／JPEG

記録する映像の圧縮方式を選択できます。通常記録とアラーム記録の両方に適用します。

H.264は少ないデータ量で動画を効率よく伝送できる動画圧縮規格です。情報量の多い映像を記録する場合や、動きの少ない動画を記録する場合に適しています。

JPEGは静止画圧縮規格です。静止画像の画質を重視する場合や、動きの多い動画を記録する場合に適しています。

### （2）音声記録

**設定値**：ON／OFF（初期値）

音声記録を行うかどうかを選択できます。

音声の設定は「配信」-「音声」（➔P.59）で設定した設定値になります。

## 通常記録

### （3）画像サイズ

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW**

**設定値**：FHD（1920×1080）（16:9）／SHD（1440×1080）／SXVGA（1280×960）／HD（1280×720）（16:9）／D1（704×480）（初期値）／H-D1（704×240）／VGA（640×480）／HVGAW（640×360）（16:9）／H-VGA（640×240）／Q-VGA（320×240）／SIF（352×240）

**・DI-CF310**

**設定値**：SHD（1440×1080）／SXVGA（1280×960）（初期値）／VGA（640×480）／Q-VGA（320×240）

一般記録（通常）の画像サイズを選択できます。
画像サイズが大きいほど、鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。
画像サイズが小さいほど、データ量が少ない映像を記録できますが、その分映像は粗くなります。

### （4）フレームレート

**・保存先（➔P.64）が「OFF」「SD カード」の場合**

**設定値**：OFF（初期値）／1fps／2fps／3fps／4fps／5fps

**・保存先（➔P.64）が「NAS」の場合**

**設定値**：OFF（初期値）／1fps／2fps／3fps／4fps／5fps／6fps／7.5fps／8fps／10fps／12fps／15fps
「（1）エンコードモード」が「JPEG」の場合は、OFF／1fps／2fps／3fps／4fps／5fpsのみ選択できます。
一般記録（通常）する映像のフレームレートを選択できます。
フレームレートは、1秒間に何枚の映像を記録するかを指します。たとえば、「1fps」は1秒に1枚の映像を記録し、「5fps」は1秒に5枚の映像を記録します。
「OFF」を設定した場合は、通常記録は行いません。

### （5）【JPEG】画質

**設定値**：レベル1／レベル2／レベル3（初期値）／レベル4／レベル5
一般記録（通常）する映像の画質を選択できます。
レベルが大きいほど、鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。
レベルが小さいほど、データ量が少ない映像を記録できますが、その分映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（1）エンコードモード」が「JPEG」のとき有効な設定です。

### （6）【H.264】ビットレート

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW**

**設定値**：64～1024（初期値）～12000

**・DI-CF310**

**設定値**：64～2048（初期値）～12000

一般記録（通常）する映像のビットレート（kbps）を設定できます。
数字が大きいほど、鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。
数字が小さいほど、データ量は少なくなりますが、その分映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（1）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- ビットレートは、1秒間のデータ量を示します。1秒間のデータ量がこの設定値に収まるように制御します。
- 画像サイズやフレームレートなどにより下限値は変化します。

### （7）【H.264】I フレーム間隔

**設定値**：1.0s（初期値）／2.0s／3.0s／4.0s／5.0s／6.0s／7.0s／8.0s／9.0s／10.0s

一般記録（通常）する映像のIフレーム間隔を選択できます。
間隔が短いほど、動きの多い鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。
間隔が長いほど、データ量は少なくなりますが、その分動きの多い映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（1）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- H.264はIフレーム（1枚でも伸張可能でデータ量は多い映像）と、Pフレーム（Iフレームとの差分データのため、1枚では伸張不可能でデータ量は少ない映像）という2種類のデータで構成されています。このIフレームがどれくらいの間隔で配信するかを設定します。

## アラーム記録

### （8）画像サイズ

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW**

**設定値**：FHD（1920×1080）（16:9）／SHD（1440×1080）／SXVGA（1280×960）／HD（1280×720）（16:9）／D1（704×480）（初期値）／H-D1（704×240）／VGA（640×480）／HVGAW（640×360）（16:9）／H-VGA（640×240）／Q-VGA（320×240）／SIF（352×240）

**・DI-CF310**

**設定値**：SHD（1440×1080）／SXVGA（1280×960）（初期値）／VGA（640×480）／Q-VGA（320×240）

一般記録（アラーム）の画像サイズを選択できます。
画像サイズが大きいほど、鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。
画像サイズが小さいほど、データ量が少ない映像を記録できますが、その分映像は粗くなります。

### （9）フレームレート

**・保存先（➔P.64）が「OFF」「SD カード」の場合**

**設定値**：OFF（初期値）／1fps／2fps／3fps／4fps／5fps

**・保存先（➔P.64）が「NAS」の場合**

**設定値**：OFF（初期値）／1fps／2fps／3fps／4fps／5fps／6fps／7.5fps／8fps／10fps／12fps／15fps
「（1）エンコードモード」が「JPEG」の場合は、OFF／1fps／2fps／3fps／4fps／5fpsのみ選択できます。
一般記録（アラーム）する映像のフレームレートを選択できます。
フレームレートは、1秒間に何枚の映像を記録するかを指します。たとえば、「1fps」は1秒に1枚の映像を記録し、「5fps」は1秒に5枚の映像を記録します。
「OFF」を設定した場合は、アラーム記録は行いません。

### （10）【JPEG】画質

**設定値**：レベル1／レベル2／レベル3（初期値）／レベル4／レベル5
一般記録（アラーム）する映像の画質を選択できます。
レベルが大きいほど、鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。
レベルが小さいほど、データ量が少ない映像を記録できますが、その分映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（1）エンコードモード」が「JPEG」のとき有効な設定です。

### （11）【H.264】ビットレート

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW**

**設定値**：64～1024（初期値）～12000

**・DI-CF310**

**設定値**：64～2048（初期値）～12000
一般記録（アラーム）する映像のビットレート（kbps）を設定できます。
数字が大きいほど、鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。
数字が小さいほど、データ量は少なくなりますが、その分映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（1）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- ビットレートは、1秒間のデータ量を示します。1秒間のデータ量がこの設定値に収まるように制御します。
- 画像サイズやフレームレートなどにより下限値は変化します。

### （12）【H.264】Iフレーム間隔

**設定値**：1.0s（初期値）／2.0s／3.0s／4.0s／5.0s／6.0s／7.0s／8.0s／9.0s／10.0s

一般記録（アラーム）する映像のIフレーム間隔を選択できます。

間隔が短いほど、動きの多い鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。

間隔が長いほど、データ量は少なくなりますが、その分動きの多い映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（1）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- H.264はIフレーム（1枚でも伸張可能でデータ量は多い映像）と、Pフレーム（Iフレームとの差分データのため、1枚では伸張不可能でデータ量は少ない映像）という2種類のデータで構成されています。このIフレームがどれくらいの間隔で配信するかを設定します。

### （13）プリ記録枚数

**設定値**：1～10（初期値）～50

プリ記録用の映像の最大保存枚数を設定できます。

「（9）フレームレート」に「OFF」を設定した場合は、プリ記録を行いません。

### （14）ポスト記録枚数

**設定値**：1～10（初期値）～50

ポスト記録用の映像の最大保存枚数を設定できます。

「（9）フレームレート」に「OFF」を設定した場合は、ポスト記録を行いません。

### （15）アラーム記録モード

**設定値**：通常（初期値）／マニュアル／延長

アラーム記録時のモードを選択できます。

- 「通常」　：アラーム発生時にプリ記録、ポスト記録で設定した枚数分の画像を記録します。
- 「マニュアル」：アラーム発生時にプリ記録で設定した枚数分の画像と、アラーム発生期間中の画像を設定したフレームレートで記録します。
- 「延長」　：アラーム発生時にプリ記録で設定した枚数分の画像と、プリ記録とアラーム発生期間中の画像を設定したフレームレートで記録し、アラームが終了した後にポスト記録で設定した枚数分の画像を記録します。

### （16）[記録時間確認]ボタン

保存先に設定したメディアへの記録時間（目安）を確認できます。

参考までに、「保存先メディアへの記録時間について」（➔P.150）をご参照ください。

**お知らせ**

- SDメモリーカードへの記録時間を確認する場合は、SDメモリーカードが挿入され蓋が閉じている必要があります。
- 被写体によっては、表示時間より長時間記録できることがあります。
- 同じ記録設定でもネットワークカメラの種類により記録できる時間は変わることがあります。

### （17）[設定]ボタン

（1）～（15）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# タイマー記録項目

「タイマー記録」メニューでは、タイマー記録時間帯とタイマー記録における通常記録とアラーム記録が設定できます。タイマー記録は、設定した時間帯で通常記録またはアラーム記録を行います。曜日ごとに最大8パターンまで登録することができます。

**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。**
- **設定可能なフレームレートとIフレーム間隔の組み合わせには以下の制約があります。**
  **<制約>「フレームレート×【H.264】Iフレーム間隔 ≦ 30フレーム」の組み合わせのみ可能です。**
- **「記録」-「共通設定」（➔P.64）で保存先が「OFF」に設定時は、記録を開始しません。**
- **SDメモリーカード挿入口の蓋が開いている状態では記録開始できません。**
- **記録中にSDメモリーカード挿入口の蓋をあけた場合は、記録を停止し記録保留状態になります。その後、SDメモリーカードが挿入された状態で蓋を閉じると、そのとき記録の設定に従い、自動的に記録を再開します（タイマー記録が有効な時間帯は、タイマー記録として記録再開します）。**
- **記録中でも、記録設定を変更することができます。**
- **記録中に記録設定を無効（もしくは記録継続できない設定）とした場合は、記録を停止し記録保留状態となります。**
- **記録時間の重複するパターン設定はできません（異なる曜日の時間重複はできます）。**
- **曜日をまたぐ記録はできません。曜日をまたいで記録したい場合は、前の日の24:00までと次の日の00:00以降の2パターンで設定する必要があります。**
- **記録中に記録設定（※1）が異なる記録モード（※2）へ切り換わる場合や、同じ記録モードでも異なる記録設定へ切り換わる場合、切り換わり目で最大約2秒間記録が抜ける場合があります。**
  **※1.画像サイズ／フレームレート／【JPEG】画質／【H.264】ビットレート／【H.264】Iフレーム間隔**
  **※2.一般記録⇒タイマー記録、一般記録⇒アラーム記録、タイマー記録⇒アラーム記録などの場合**
- **【H.264】ビットレートの設定値は、組み合わせるフレームレートによって、設定可能な上限値が定められています。**
  **①フレームレート　6～10fps 設定時：【H.264】ビットレート 6000kbps 以下**
  **②フレームレート 12～15fps 設定時：【H.264】ビットレート 4000kbps 以下**

## 1.[時間帯確認]

曜日ごとのタイマー記録パターンを確認できます。

### （1）曜日

**設定値**：月／火／水／木／金／土／日
確認する曜日を選択できます。

### （2）時間帯確認

パターン1～8の設定時刻と記録設定の有無を確認できます。
記録設定が有効な場合は、記録設定欄に「○」を表示します。

### （3）[記録時間確認]ボタン

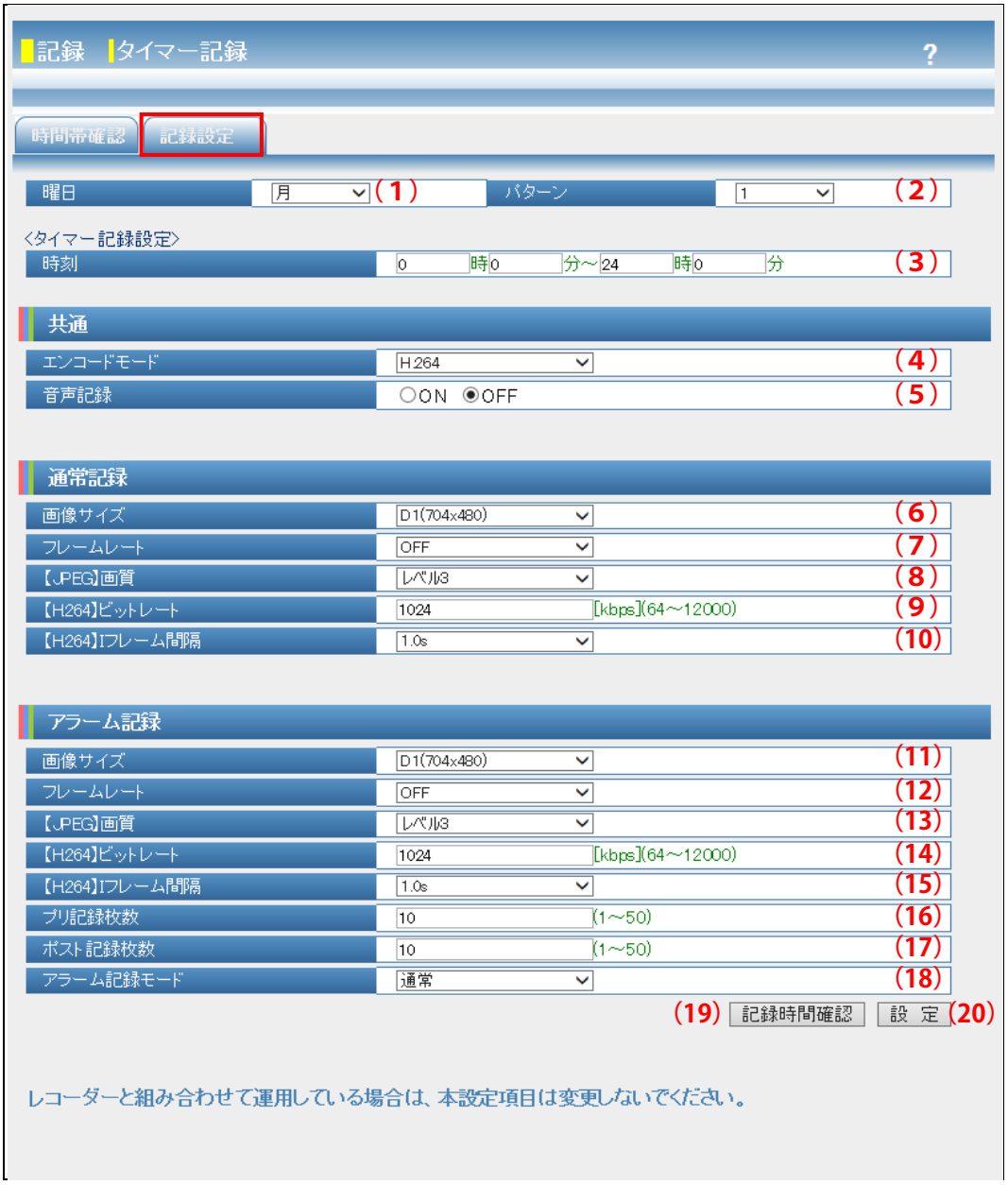
現在の記録設定におけるメディアへの記録時間（目安）を確認できます。
参考までに、「保存先メディアへの記録時間について」（➔P.150）をご参照ください。

**お知らせ**

- SDメモリーカードへの記録時間を確認する場合は、SDメモリーカードが挿入され蓋が閉じている必要があります。
- 被写体によっては、表示時間より長時間記録できることがあります。
- 同じ記録設定でもネットワークカメラの種類により記録できる時間は変わることがあります。

## 2.[記録設定]

曜日ごとのタイマー記録パターンを設定できます。




**（1）曜日**

**設定値**：月／火／水／木／金／土／日

設定する曜日を選択できます。

**（2）パターン**

**設定値**：1（初期値）～8

設定するパターンを選択できます。

**（3）時刻**

**設定値（開始 時）**：00（初期値）～23
**設定値（開始 分）**：00（初期値）～59
**設定値（終了 時）**：00～24（初期値）
**設定値（終了 分）**：00（初期値）～59
タイマー開始時刻と終了時刻を設定できます。

## 共通

**（4）エンコードモード**

**設定値**：H.264（初期値）／JPEG
タイマー記録する映像の圧縮方式を選択できます。通常記録とアラーム記録の両方に適用します。

**（5）音声記録**

**設定値**：ON／OFF（初期値）
音声記録を行うかどうかを選択できます。
音声の設定は「配信」-「音声」（➔P.59）で設定した設定値になります。

## 通常記録

**（6）画像サイズ**

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW**

**設定値**：FHD（1920×1080）（16:9）／SHD（1440×1080）／SXVGA（1280×960）／HD（1280×720）（16:9）／D1（704×480）（初期値）／H-D1（704×240）／VGA（640×480）／HVGAW（640×360）（16:9）／H-VGA（640×240）／Q-VGA（320×240）／SIF（352×240）

**・DI-CF310**

**設定値**：SHD（1440×1080）／SXVGA（1280×960）（初期値）／VGA（640×480）／Q-VGA（320×240）
タイマー記録（通常）の画像サイズを選択できます。
画像サイズが大きいほど、鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。
画像サイズが小さいほど、データ量が少ない映像を記録できますが、その分映像は粗くなります。

**（7）フレームレート**

**・保存先（➔P.64）が「OFF」「SD カード」の場合**

**設定値**：OFF（初期値）／1fps／2fps／3fps／4fps／5fps

**・保存先（➔P.64）が「NAS」の場合**

**設定値**：OFF（初期値）／1fps／2fps／3fps／4fps／5fps／6fps／7.5fps／8fps／10fps／12fps／15fps
「（4）エンコードモード」が「JPEG」の場合は、OFF／1fps／2fps／3fps／4fps／5fpsのみ選択できます。
タイマー記録（通常）する映像のフレームレートを選択できます。
フレームレートは、1秒間に何枚の映像を記録するかを指します。たとえば、「1fps」は1秒に1枚の映像を記録し、「5fps」は1秒に5枚の映像を記録します。
「OFF」を設定した場合は、通常記録は行いません。

### （8）【JPEG】画質

**設定値**：レベル1／レベル2／レベル3（初期値）／レベル4／レベル5
タイマー記録（通常）する映像の画質を選択できます。
レベルが大きいほど、鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。
レベルが小さいほど、データ量が少ない映像を記録できますが、その分映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（4）エンコードモード」が「JPEG」のとき有効な設定です。

### （9）【H.264】ビットレート

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW**

**設定値**：64～1024（初期値）～12000

**・DI-CF310**

**設定値**：64～2048（初期値）～12000
タイマー記録（通常）する映像のビットレート（kbps）を設定できます。
数字が大きいほど、鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。
数字が小さいほど、データ量は少なくなりますが、その分映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（4）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- ビットレートは、1秒間のデータ量を示します。1秒間のデータ量がこの設定値に収まるように制御します。

### （10）【H.264】Ｉフレーム間隔

**設定値**：1.0s（初期値）／2.0s／3.0s／4.0s／5.0s／6.0s／7.0s／8.0s／9.0s／10.0s
タイマー記録（通常）する映像のIフレーム間隔を選択できます。
間隔が短いほど、動きの多い鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。
間隔が長いほど、データ量は少なくなりますが、その分動きの多い映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（4）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- H.264はIフレーム（1枚でも伸張可能でデータ量は多い映像）と、Pフレーム（Iフレームとの差分データのため、1枚では伸張不可能でデータ量は少ない映像）という2種類のデータで構成されています。このIフレームがどれくらいの間隔で配信するかを設定します。

## アラーム記録

### （11）画像サイズ

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW**

**設定値**：FHD（1920×1080）（16:9）／SHD（1440×1080）／SXVGA（1280×960）／HD（1280×720）（16:9）／D1（704×480）（初期値）／H-D1（704×240）／VGA（640×480）／HVGAW（640×360）（16:9）／H-VGA（640×240）／Q-VGA（320×240）／SIF（352×240）

**・DI-CF310**

**設定値**：SHD（1440×1080）／SXVGA（1280×960）（初期値）／VGA（640×480）／Q-VGA（320×240）

タイマー記録（アラーム）の画像サイズを選択できます。
画像サイズが大きいほど、鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。
画像サイズが小さいほど、データ量が少ない映像を記録できますが、その分映像は粗くなります。

### （12）フレームレート

**・保存先（➔P.64）が「OFF」「SD カード」の場合**

**設定値**：OFF（初期値）／1fps／2fps／3fps／4fps／5fps

**・保存先（➔P.64）が「NAS」の場合**

**設定値**：OFF（初期値）／1fps／2fps／3fps／4fps／5fps／6fps／7.5fps／8fps／10fps／12fps／15fps
「（4）エンコードモード」が「JPEG」の場合は、OFF／1fps／2fps／3fps／4fps／5fpsのみ選択できます。

タイマー記録（アラーム）する映像のフレームレートを選択できます。
フレームレートは、1秒間に何枚の映像を記録するかを指します。たとえば、「1fps」は1秒に1枚の映像を記録し、「5fps」は1秒に5枚の映像を記録します。
「OFF」を設定した場合は、アラーム記録は行いません。

### （13）【JPEG】画質

**設定値**：レベル1／レベル2／レベル3（初期値）／レベル4／レベル5

タイマー記録（アラーム）する映像の画質を選択できます。
レベルが大きいほど、鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。
レベルが小さいほど、データ量が少ない映像を記録できますが、その分映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（4）エンコードモード」が「JPEG」のとき有効な設定です。

### （14）【H.264】ビットレート

**・DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE / DI-CB322LEW**

**設定値**：64～1024（初期値）～12000

**・DI-CF310**

**設定値**：64～2048（初期値）～12000

タイマー記録（アラーム）する映像のビットレート（kbps）を設定できます。
数字が大きいほど、鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。
数字が小さいほど、データ量は少なくなりますが、その分映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（4）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- ビットレートは、1秒間のデータ量を示します。1秒間のデータ量がこの設定値に収まるように制御します。

### （15）【H.264】Iフレーム間隔

**設定値**：1.0s（初期値）／2.0s／3.0s／4.0s／5.0s／6.0s／7.0s／8.0s／9.0s／10.0s

タイマー記録（アラーム）する映像のIフレーム間隔を選択できます。
間隔が短いほど、動きの多い鮮明な映像を記録できますが、その分データ量は多くなります。
間隔が長いほど、データ量は少なくなりますが、その分動きの多い映像は粗くなります。

**お知らせ**

- 「（4）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- H.264はIフレーム（1枚でも伸張可能でデータ量は多い映像）と、Pフレーム（Iフレームとの差分データのため、1枚では伸張不可能でデータ量は少ない映像）という2種類のデータで構成されています。このIフレームがどれくらいの間隔で配信するかを設定します。

### （16）プリ記録枚数

**設定値**：1～10（初期値）～50

アラーム時のプリ記録映像の最大保存枚数を設定できます。
「（12）フレームレート」に「OFF」を設定した場合は、プリ記録を行いません。

### （17）ポスト記録枚数

**設定値**：1～10（初期値）～50

アラーム時のポスト記録映像の最大保存枚数を設定できます。
「（12）フレームレート」に「OFF」を設定した場合は、ポスト記録を行いません。

### （18）アラーム記録モード

**設定値**：通常（初期値）／マニュアル／延長

アラーム記録時のモードを選択できます。

- 「通常」　：アラーム発生時にプリ記録、ポスト記録で設定した枚数分の画像を記録します。
- 「マニュアル」：アラーム発生時にプリ記録で設定した枚数分の画像と、アラーム発生期間中の画像を設定したフレームレートで記録します。
- 「延長」　：アラーム発生時にプリ記録で設定した枚数分の画像と、プリ記録とアラーム発生期間中の画像を設定したフレームレートで記録し、アラームが終了した後にポスト記録で設定した枚数分の画像を記録します。

**（19）[記録時間確認]ボタン**

現在の記録設定におけるメディアへの記録時間（目安）を確認できます。
参考までに、「保存先メディアへの記録時間について」（➔P.150）をご参照ください。

**お知らせ**

- **SDメモリーカードへの記録時間を確認する場合は、SDメモリーカードが挿入され蓋が閉じている必要があります。**
- **被写体によっては、表示時間より長時間記録できることがあります。**
- **同じ記録設定でもネットワークカメラの種類により記録できる時間は変わることがあります。**

**（20）[設定]ボタン**

（1）～（18）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# アラーム記録対象項目

「アラーム記録対象」メニューでは、一般記録設定またはタイマー記録設定でのアラーム記録の種別を設定できます。また、一日あたりのアラーム回数を設定することで、アラーム記録を考慮した記録時間を算出することができます。記録時間は一般記録設定またはタイマー記録設定画面で確認できます。

**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。**
- **アラームオン回数／日の設定によって、記録時間(見積もり時間)が変わるのでご注意ください。**

## アラーム記録対象

**（1）アラーム種別**

**設定値（センサー）**：チェックなし／チェックあり（初期値）
**設定値（検知）**：チェックなし／チェックあり（初期値）
チェックボックスで検知したいアラームを設定できます（複数選択できます）。
センサーはアラーム入力検知、検知は動き検知がアラーム記録対象となります。

**（2）アラームオン回数／日**

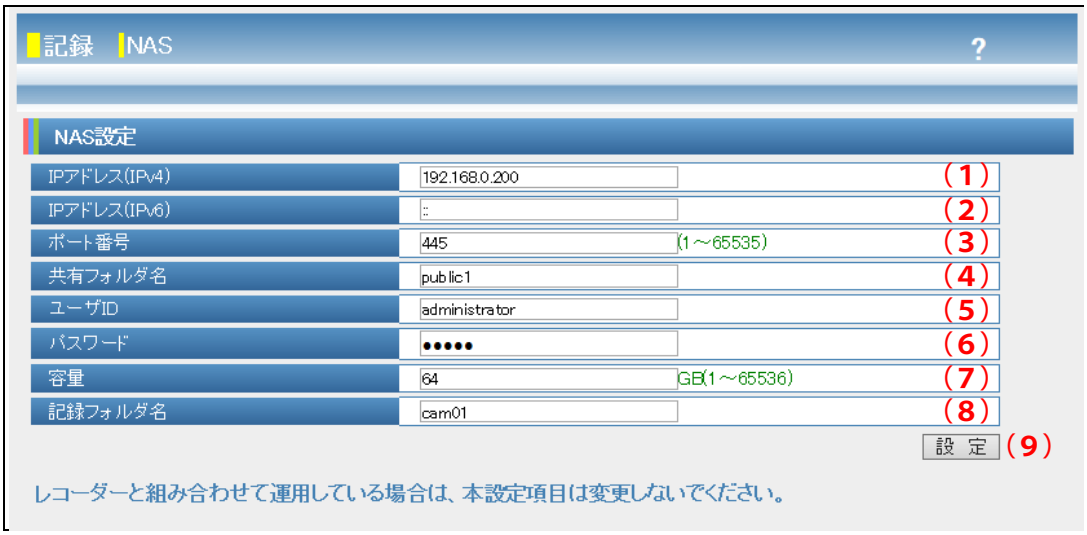
**設定値**：0（初期値）～9999
一日あたりに想定されるアラーム発生回数を設定できます。

**（3）[設定]ボタン**

（1）～（2）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# NAS 項目

「NAS」メニューでは、NASへの記録設定を行います。




**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。**
- **記録中は設定できません。記録を停止してから設定変更を行ってください。**
- **DI-CB320/DI-CD320のVer.000.012.066以降、DI-CB325/DI-CD325、DI-CF310のVer.000.000.095以降、DI-CD322LE、およびDI-CB322LEWが対応しています。**
- **カメラのファームウェアバージョンについては、販売店にご相談ください。**
- **本機能をご使用になる場合は、販売店にご相談ください。**

## NAS 設定

### （1）IP アドレス（IPv4）

**設定値**：0.0.0.0～192.168.0.200（初期値）～255.255.255.255

NASのIPアドレスを設定できます。

「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」（➔P.92）で「IPv6」選択時は無効です。

### （2）IP アドレス（IPv6）

**設定値**： ::（初期値）～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

NASのIPアドレスを設定できます。

「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」（➔P.92）で「IPv4」選択時は無効です。

### （3）ポート番号

**設定値**：1～445（初期値）～65535

NASとの通信に使用するポート番号を設定できます。

**（4）共有フォルダ名**

**設定値**：半角63文字以内／public1（初期値）
記録時にアクセスするNASの共有フォルダ名を指定します。
本フォルダにアクセスするには、ユーザIDとパスワードが必要です。

**（5）ユーザ ID**

**設定値**：半角63文字以内／administrator（初期値）
NASに接続する時のユーザIDを設定できます。
ユーザIDを登録/変更する場合は、必ず1文字以上入力してください。

**（6）パスワード**

**設定値**：半角63文字以内／admin（初期値）
NASに接続する時のパスワードを設定できます。
パスワードを登録/変更する場合は、必ず1文字以上入力してください。

**（7）容量**

**設定値**：1～64（初期値）～65536
NASに記録する最大容量（GB）を設定できます。設定した容量を超えてNASに記録しません。

**お知らせ**

**NASでの運用開始後に容量を減らした場合は、容量超過分だけ古い記録から削除します。ただし、削除には数分から数時間かかる場合がありますので、以前の記録が不要な場合は記録フォルダを削除した上で容量を減らしてください。**

**例：容量を1024GB→700GBに減らした場合、削除時間5分程度。1024GB→1GBの場合30分程度。記録したフレームレートやファイル状態にも影響するため、上記の例より時間がかかる場合があります。**

**（8）記録フォルダ名**

**設定値**：半角63文字以内／cam01（初期値）
記録データを保存するフォルダ名を指定します。

**お知らせ**

- **NASでの運用開始後、フォルダ名を変更した場合は、変更前のフォルダはそのまま残り、新たに指定(設定変更)されたフォルダで記録されます。変更前の記録データを引き継ぎたい場合は、手動でNAS上のフォルダ名を変更する必要があります。**
- **他のカメラと同じ記録フォルダ名を指定すると、記録データが上書きされ正常に再生できなくなる場合があります。複数のカメラを接続する場合は、カメラごとに異なる記録フォルダ名を指定してください。**

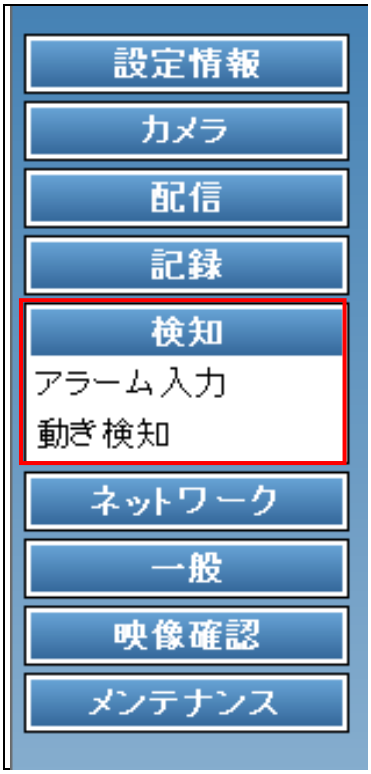
**（9）[設定]ボタン**

（1）～（8）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# 各種検知の設定をする

## 概要

「検知」では、アラーム検知や動き検知の設定ができます。



# アラーム入力項目

「アラーム入力設定」メニューでは、ネットワークカメラのALARM端子より入力された信号により、アラーム検知を行うかどうかを設定できます。アラーム記録対象設定、アラーム記録設定と組み合わせることにより、アラーム検知によるプリ記録／ポスト記録を行うことができます。

**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。**

## アラーム入力設定

**（1）アラーム入力**

**設定値**：OFF（初期値）／make／break

アラームを検出する端子状態を選択できます。

- 「OFF」　：端子の状態にかかわらず、アラーム入力として検知しません。
- 「make」：端子とGNDが短絡したときに、アラーム入力として検知します。
- 「break」：端子とGNDが開放したときに、アラーム入力として検知します。

**（2）[設定]ボタン**

（1）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

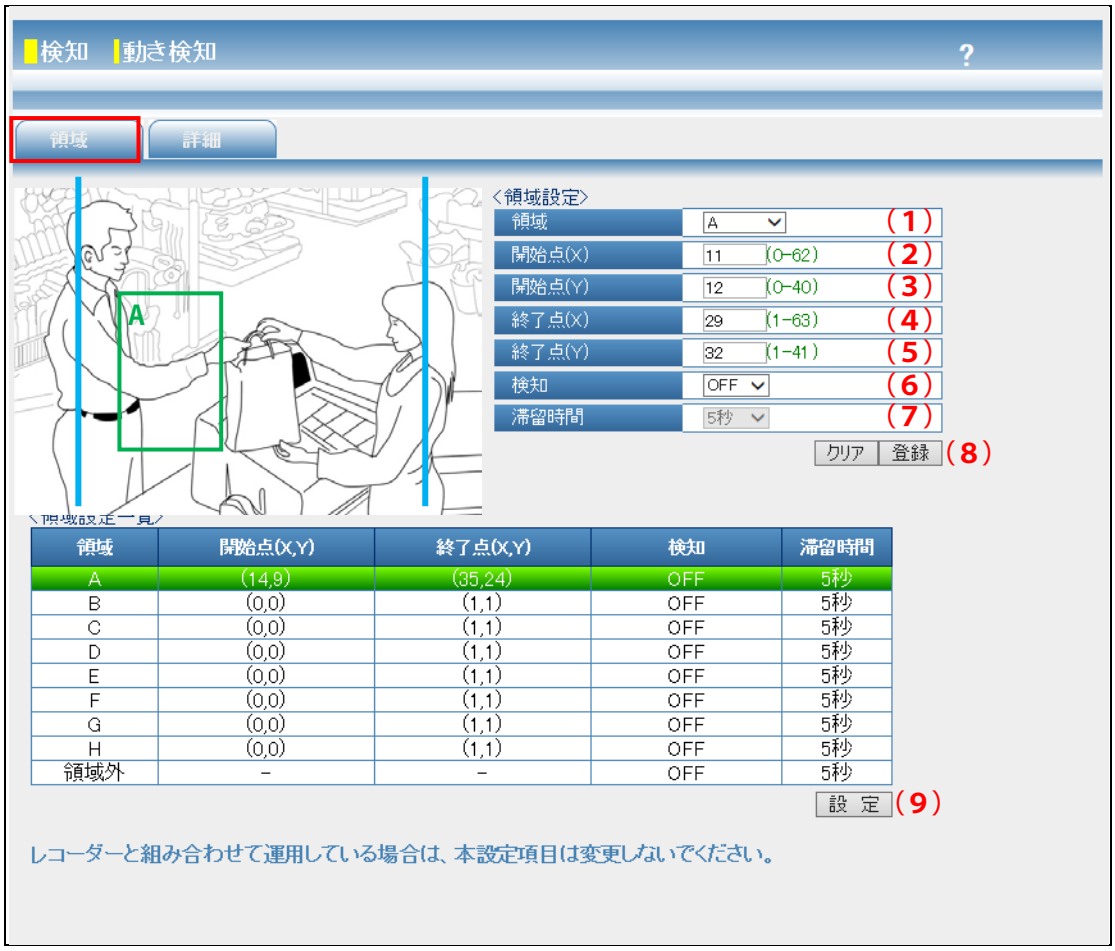
# 動き検知項目

「動き検知」メニューでは、検知範囲、検知種別、滞留時間、感度などの検知条件が設定できます。「記録」（➔P.63）の設定を行うことにより、動き検知と連動してアラーム記録を行うことができます。

**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。**
- **DI-CB320/DI-CD320/DI-CB325/DI-CD325/DI-CD322LE/DI-CB322LEWの場合、設定画面のプレビュー表示は、アスペクト比 4:3相当の位置に水色の境界線を表示します。下記①②の場合、この境界線の外側の動き検知は行いません。**
  - **①「配信」-「記録配信」（➔P.53）で画像サイズを「SHD / SXVGA / VGA / Q-VGA」に設定している場合**
  - **②「記録」-「共通設定」（➔P.64）で保存先を「SDカード」「NAS」にし、「記録」-「一般記録」（➔P.66）または「記録」-「タイマー記録」（➔P.74）で画像サイズを「SHD / SXVGA / VGA / Q-VGA」に設定している場合**
- **DI-CB320/DI-CD320の Ver.000.012.066 未満とDI-CF310の Ver.000.000.095 未満にて、「動き検知」設定画面を開いた場合、プレビュー表示用の解像度に合わせ「配信」-「ライブ配信」（➔P.50）の画像サイズをDI-CB320/DI-CD320は「D1」、DI-CF310は「VGA」に変更します。条件によってはH.264ビットレートも変更されるのでご注意ください。なお、「動き検知」設定画面を閉じても、元の画像サイズには戻りません。**
- **DI-CB320/DI-CD320のVer.000.012.066以降とDI-CB325/DI-CD325、DI-CD322LEおよびDI-CB322LEWでは、ライブ配信設定の画像サイズが「SHD／SXVGA／VGA／Q-VGA」設定時は、本設定が正しく反映されない場合があります。そのため、使用する場合には、「配信」-「ライブ配信」（➔P.50）の画像サイズを「SHD／SXVGA／VGA／Q-VGA」以外に変更してから設定変更してください。**
- **カメラのファームウェアバージョンについては、販売店にご相談ください。**
- **設定後または電源投入後、4分間程度は検知されないことがあります。**
- **DI-CF310では、できるだけ表示映像の中心付近に検知領域を設定してください。外周になるほど映像が歪むため、正しく検知されない場合があります。また、外周付近で大きな動きがあると、検知領域外であっても検知する場合があります。カメラから被写体までの距離をとるように設置し、大きな物体が映り込まないようにしてください。**

# 1.[領域]




**■ご注意■**

- **検知設定が「動体／滞留」に設定されている領域同士を重ねることはできません。検知設定が「OFF」の場合は重ねることができますが、検知設定が「動体／滞留」に設定されている領域のみ検知が働きます。**
- **プライバシーマスクを設定している領域でも動き検知を行います。**

### （1）領域

**設定値**：A（初期値）／B／C／D／E／F／G／H／領域外

ネットワークカメラの動き検知領域を選択できます。

選択した領域ごとに、「開始点」「終了点」「検知」「滞留時間」を設定できます。

「領域外」は、A～H以外の全領域を指します。

**お知らせ**

- **マウスで領域を設定するには、**領域選択後に、ライブ映像画面上でマウスを操作することで、領域を設定できます。設定したい領域の始点でマウスの左ボタンを押し、終点までドラッグしてマウスの左ボタンを離します。
- 検知が「OFF」以外の領域を重ねて設定することはできません。
- 動き検知領域を設定している状態で、「カメラ」-「画質調整」（➔P.33）で「上下左右反転」を「ON」に設定すると、動き検知領域も上下左右反転します(DI-CD322LE/DI-CB322LEWのみ)。

**（2）開始点（X）**

**設定値**：0（初期値）～62
動き検知領域の開始水平位置を設定できます。

**（3）開始点（Y）**

**設定値**：0（初期値）～40
動き検知領域の開始垂直位置を設定できます。

**（4）終了点（X）**

**設定値**：1（初期値）～63
動き検知領域の終了水平位置を設定できます。

**（5）終了点（Y）**

**設定値**：1（初期値）～41
動き検知領域の終了垂直位置を設定できます。

**（6）検知**

**設定値**：OFF（初期値）／動体／滞留
動き検知領域の検知方法を設定できます。
・「OFF」　：動き検知を行いません。
・「動体」　：動き検知を行います。
・「滞留」　：移動体が停止してから一定時間経過した場合に検知する滞留検知を行います。

**（7）滞留時間**

**設定値**：5秒（初期値）／10秒／30秒／1分／2分／3分／5分
滞留検知を設定した領域の滞留物の検知時間を選択できます。

**お知らせ**

- **「（6）検知」が「滞留」になっている領域のみ有効です。**

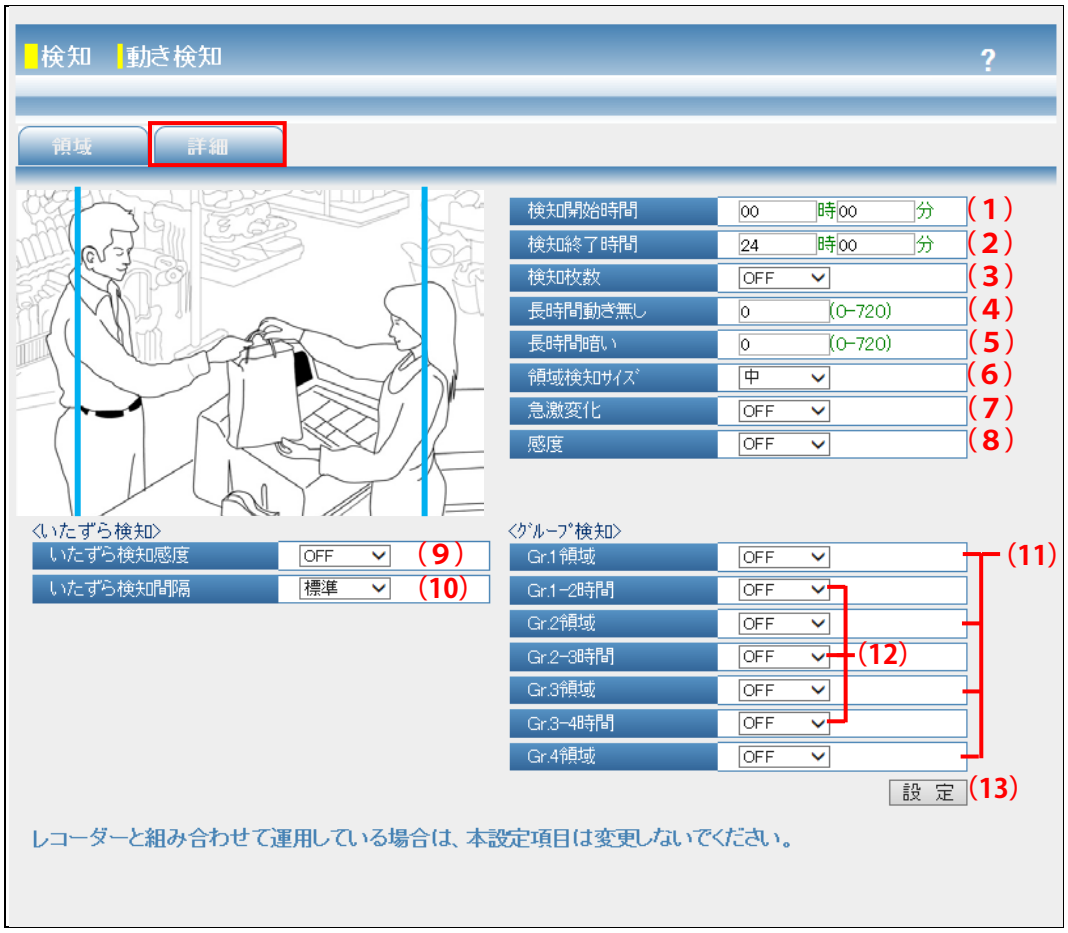
**（8）[登録]ボタン／[クリア]ボタン**

領域設定の各項目を入力後[登録]をクリックすると、サンプル画面、および領域設定一覧に登録します。
[クリア]をクリックすると、選択した領域の設定値をクリアします。
クリア後に[登録]をクリックすると、内容を消去します。

**（9）[設定]ボタン**

（1）～（7）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

## 2.[詳細]




**■ご注意■**

- **グループ検知に設定する領域は必ず「(6) 検知」(➔P.87) を「動体」に設定してください。**

**(1) 検知開始時間**

**設定値 (時)** : 00 (初期値) ～23
**設定値 (分)** : 00 (初期値) ～59
動き検知開始時間を設定できます。
検知開始時間と検知終了時間の間は、動き検知機能が動作します。

**(2) 検知終了時間**

**設定値 (時)** : 00～24 (初期値)
**設定値 (分)** : 00 (初期値) ～59
動き検知終了時間を設定できます。
検知開始時間と検知終了時間の間は、動き検知機能が動作します。

**（3）検知枚数**

**設定値**：OFF（初期値）／1～8

1秒間（30フレーム）のうち、動き検知に何フレームを使用するのかを選択できます。枚数を多くするほど動きを検知しやすくなります。

**お知らせ**

- 「OFF」にすると各動き検知（動き、滞留、グループ、長時間、いたずら）は動作しません。

**（4）長時間動き無し**

**設定値**：0（初期値）～720

動きがある場所を撮影しているにもかかわらず、動きが検知されない状態が続いた場合に、ネットワークカメラが異常として検知するまでの時間（hours）を設定します。0の場合は検知しません。

**（5）長時間暗い**

**設定値**：0（初期値）～720

入力映像が暗いまま変化がない場合に、ネットワークカメラが異常として検知するまでの時間（hours）を設定します。0の場合は検知しません。

**（6）領域検知サイズ**

**設定値**：小／中（初期値）／大

動き検知する物体の大きさを選択できます。

**（7）急激変化**

**設定値**：OFF（初期値）／ON

明るさなどが急激に変化した場合に、検知するかどうかを選択できます。

「ON」にすると、映像に急激な変化があったときに検知します。

**（8）感度**

**設定値**：OFF（初期値）／低感度／標準／高感度

動き検知を検出する感度を選択できます。全領域で共通の設定です。

**（9）いたずら検知感度**

**設定値**：OFF（初期値）／低感度／標準／高感度

いたずら検知を検出する感度を選択できます。

**お知らせ**

- いたずら検知とは、カメラ位置（方向）を変更されたり、レンズ面を汚されたりしたことを検知する機能です。カメラレンズ周辺の明るさ、輝度および人物の輪郭の強さや動き検知の結果から判定します。
- 「OFF」の場合、いたずら検知は動作しません。

**（10）いたずら検知間隔**

**設定値**：短い／標準（初期値）／長い

いたずら検知を検出する間隔を選択できます。

**（11）グループ検知領域（Gr.1 領域／Gr.2 領域／Gr.3 領域／Gr.4 領域）**

**設定値**：OFF（初期値）／A／B／C／D／E／F／G／H

グループ検知する領域を選択できます。

**お知らせ**

- 「（12）グループ検知時差」に時間を設定しているとき有効な設定です。
- グループ検知とは、複数の動き検知領域の検知時間差を指定することで移動方向を検出する機能です。廊下の奥から手前へ移動、右から左へ移動するなどを検出するのに使用できます。

**（12）グループ検知時差（Gr.1－2 時間／Gr.2－3 時間／Gr.3－4 時間）**

**設定値**：OFF（初期値）／同時／1～59秒／1～10分

「（11）グループ検知領域」で設定された領域間でグループ検知する時差を選択できます。

- 「OFF」　：グループ検知機能が動作しません。
- 「同時」　：「（11）グループ検知領域」で設定された領域間で、時差がないときに検知します。
- 「秒･分」　：「（11）グループ検知領域」で設定された領域間で、設定した時間以内に動き検知があった場合に検知します。

**お知らせ**

- 「（11）グループ検知領域」に領域を設定しているとき有効な設定です。

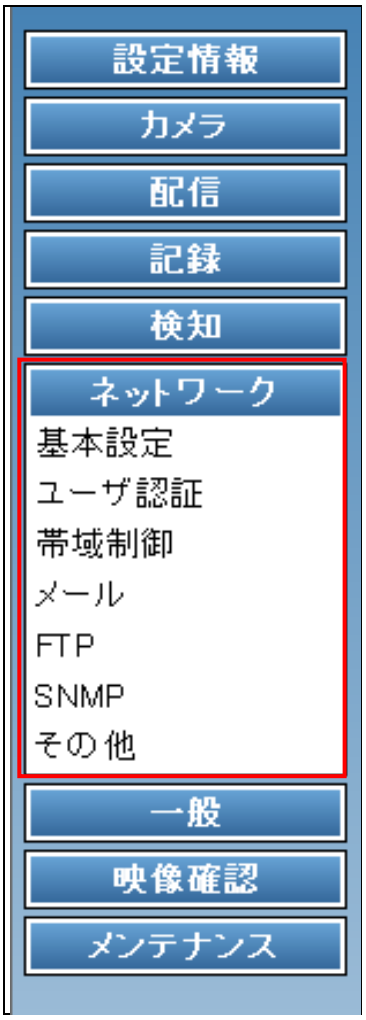
**（13）[設定]ボタン**

（1）～（12）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# ネットワークの設定をする

## 概要

「ネットワーク」では、ネットワークカメラのIPアドレスや認証の設定、また、帯域制御機能により配信ビットレートを制御することができます。




**■ご注意■**

- **IPアドレスやポートを変更する場合、正しく設定しないと通信ができなくなります。設定に間違いないことを確認してから変更してください。**

# 基本設定項目

「基本設定」メニューでは、ネットワークに関する設定ができます。

**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は**
- **変更しないでください。**
- **IPv4/IPv6を混在して使用することはできません。**
- **IPv6を選択した場合、日立デジタルレコーダーには接続できません。IPv6を選択する場合は、通信相手もIPv6に対応していることを確認してください。**
- **本設定項目は、「設定セーブ／ロード」（➔P.29）の対象外です。**
- **IPアドレスとデフォルトゲートウェイのネットワークアドレスは同じアドレスにしてください。**

## プロトコル選択

**（1）プロトコル**

**設定値**：IPv4（初期値）／IPv6

ネットワークカメラのIP（Internet Protocol）を選択できます。

## IPv4 アドレス設定

### （2）IP アドレス自動取得

**設定値**：ON／OFF（初期値）
DHCP機能によりIPアドレスを自動取得するかどうかを選択できます。

### （3）IP アドレス

**設定値**：1.0.0.0～192.168.0.100（初期値）～223.255.255.255
「（1）プロトコル」で「IPv4」選択時、ネットワークカメラのIPアドレスを設定します。

**お知らせ**

- IPアドレスとは、ネットワーク内の機器を識別するためのアドレス値です。データの送受信をするために必要な番号です。ほかの機器と重複しないように設定してください。

**以下のIPアドレスは、設定できません。**

- 第1オクテット（アドレスの先頭の数値）が0、127、224～255の場合
  **例：**0.0.0.0、127.0.0.1、224.0.0.1、255.255.255.255などは設定できません。
- 「（4）サブネットマスク」設定によりホストアドレスのビットがすべて0になる場合（ネットワークアドレス）
  **例：**サブネットマスク：255.255.255.0のとき192.168.0.0は設定できません。
- 「（4）サブネットマスク」設定によりホストアドレスのビットがすべて1になる場合（ブロードキャストアドレス）
  **例：**サブネットマスク：255.255.255.0のとき192.168.0.255は設定できません。

### （4）サブネットマスク

**設定値**：128.0.0.0～255.255.255.0（初期値）～255.255.255.252
「（1）プロトコル」で「IPv4」選択時、ネットワークカメラのサブネットマスクを設定します。

**お知らせ**

- IPアドレスのうち、ネットワークアドレスとホストアドレスを識別するためのアドレス値です。
- ネットワークアドレスとは、巨大なネットワークを多数のネットワーク（サブネット）に分けて管理するときに、識別するためのアドレスです。ホストアドレスとは、IPアドレスのうち、ネットワークアドレス部分以外を指します。

### （5）デフォルトゲートウェイ

**設定値**：0.0.0.0～192.168.0.254（初期値）～255.255.255.255
「（1）プロトコル」で「IPv4」選択時、ネットワークカメラのデフォルトゲートウェイを設定します。

**お知らせ**

- 所属するネットワーク外のネットワークにアクセスする際に使用するネットワーク機器のIPアドレスです。

### （6）DNS サーバ自動取得

**設定値**：ON／OFF（初期値）

「（1）プロトコル」で「IPv4」選択時、DHCP機能によりDNS（ドメインネームシステム）サーバのIPアドレスを自動取得するかどうか選択できます。

**お知らせ**

- ドメインネームとは、ネットワーク上のネットワーク機器を使用者が分かりやすい形式（ドメインネーム）で表現したものです。DNSサーバによって、ドメインとIPアドレスを対応付けて使用します。

### （7）プライマリ DNS サーバ

**設定値**：0.0.0.0（初期値）～255.255.255.255

「（1）プロトコル」で「IPv4」選択時、ネットワークカメラのプライマリDNSサーバのアドレスを設定します。

### （8）セカンダリ DNS サーバ

**設定値**：0.0.0.0（初期値）～255.255.255.255

「（1）プロトコル」で「IPv4」選択時、ネットワークカメラのセカンダリDNSサーバのアドレスを設定します。

**お知らせ**

- 「（7）プライマリDNSサーバ」の2番目（サブ）のDNSサーバアドレスとなります。

## IPv6 アドレス設定

### （9）IP アドレス自動取得

**設定値**：ON／OFF（初期値）

DHCP機能によりIPアドレスを自動取得するかどうかを設定します。

### （10）IP アドレス

**設定値**： ::（初期値）～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

「（1）プロトコル」で「IPv6」選択時のIPアドレスを設定します。

**お知らせ**

- IPアドレスとは、ネットワーク内の機器を識別するためのアドレス値です。データの送受信をするために必要な番号です。ほかの機器と重複しないように設定してください。

### （11）プレフィックス

**設定値**：0（初期値）～128

「（1）プロトコル」で「IPv6」選択時のプレフィックスを設定します。

**お知らせ**

- IPアドレスのうち、ネットワークアドレスとホストアドレスを識別するためのアドレス値です。

**（12）デフォルトゲートウェイ**

**設定値**： ::（初期値）～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

「（1）プロトコル」で「IPv6」選択時、ネットワークカメラのデフォルトゲートウェイを設定します。

**お知らせ**

- 所属するネットワーク外のネットワークにアクセスする際に使用するネットワーク機器のIPアドレスです。

**（13）DNS サーバ自動取得**

**設定値**：ON／OFF（初期値）

「（1）プロトコル」で「IPv6」に設定時、DHCP機能によりDNS（ドメインネームシステム）サーバのIPアドレスを自動取得するかどうか設定します。

**お知らせ**

- ドメインネームとは、ネットワーク上のネットワーク機器を使用者が分かりやすい形式（ドメインネーム）で表現したものです。DNSサーバによって、ドメインとIPアドレスを対応付けて使用します。

**（14）プライマリ DNS サーバ**

**設定値**： ::（初期値）～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

「（1）プロトコル」で「IPv6」選択時、ネットワークカメラのプライマリDNSサーバのアドレスを設定します。

**（15）セカンダリ DNS サーバ**

**設定値**： ::（初期値）～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

「（1）プロトコル」で「IPv6」選択時、ネットワークカメラのセカンダリDNSサーバのアドレスを設定します。

**お知らせ**

- 「（14）プライマリDNSサーバ」の2番目（サブ）のDNSサーバアドレスとなります。

**（16）[設定]ボタン**

（1）～（15）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

**お知らせ**

- 設定後、ネットワークカメラは再起動します。同時にWEB設定ツール画面（IE）も終了します。

# ユーザ認証項目

「ユーザ認証」メニューでは、ネットワークカメラにログインするためのユーザの設定ができます。
「管理者」権限は1件、「モニタ」権限は19件まで登録できます。

**■ご注意■**

- **不正アクセス防止のため、「ユーザＩＤ」および「パスワード」は定期的に変更してください。**
- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、日立デジタルレコーダーから設定を変更してください。**
- **「管理者」のみネットワークカメラの設定変更ができます。ただし、1ユーザのみです。**
- **本設定項目は、「設定セーブ／ロード」（➔P.29）の対象外です。**

## ユーザ認証

### （1）ユーザ認証

**設定値**：ON（初期値）／OFF

ユーザ認証の有無を設定できます。

ユーザ認証には、Basic認証を使用します。「ON」に設定すると、設定した「ユーザID」「パスワード」のみ接続を受け付けます。

**（2）認証領域名称**

**設定値**：半角文字30文字以内／製品型式（初期値）
製品型式：例）DI-CB320
ネットワークカメラの認証領域情報を設定できます。

**（3）[設定]ボタン**

（1）～（2）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

**お知らせ**

- **設定後、ネットワークカメラは再起動します。同時にWEB設定ツール画面（IE）も終了します。**

## ユーザ設定

**（4）番号**

**設定値**：1（初期値）～20
ユーザ番号を選択できます。
選択したユーザ番号ごとに、「（6）ユーザID」「（7）パスワード」を設定できます。
右側のユーザ一覧で該当ユーザをクリックしても番号を選択できます。

**（5）ユーザ権限**

**表示値**：管理者／モニタ
「（4）番号」で選択したユーザ番号に対応するユーザ権限を表示します。

**お知らせ**

- **ユーザ番号1が管理者権限、ユーザ番号2～20がモニタ権限となります。（変更不可）**
- **「管理者」のみネットワークカメラの設定変更ができます。**

**（6）ユーザ ID**

**設定値**：半角英数字12文字以内（半角スペース不可）
「（4）番号」（ユーザ番号）が「1」のときの初期値：「root」
「（4）番号」（ユーザ番号）が「1」以外のときの初期値：空白
認証ユーザIDを設定できます。

**お知らせ**

- **ユーザIDを登録・変更する場合は、ユーザIDを必ず入力してください。空白は設定できません。**
- **登録済みのユーザIDと同じユーザIDは登録できません。**

### （7）パスワード

**設定値**：半角英数字12文字以内（半角スペース不可）
「（4）番号」（ユーザ番号）が「1」のときの初期値：「admin」
「（4）番号」（ユーザ番号）が「1」以外のときの初期値：空白
認証パスワードを設定できます。

**お知らせ**

- 選択したユーザに設定済みのパスワードは表示しません。
- 「（4）番号」（ユーザ番号）で「1」以外を選択したときは、パスワードに空白（パスワードなし）を設定できます。

### （8）パスワード（確認）

**設定値**：半角英数字12文字以内（半角スペース不可）
設定確認用パスワードを入力します。

**お知らせ**

- 「（7）パスワード」と違うパスワードを入力すると、エラーとなります。

### （9）[ユーザ登録]ボタン

設定したユーザ番号・ユーザID・パスワードで、ネットワークカメラにユーザを登録します。
ユーザ登録が完了すると、「設定しました。」とメッセージを表示し、「ユーザ一覧」にユーザを登録します。

**お知らせ**

- 管理者権限（ユーザ番号1）ユーザの「（6）ユーザID」「（7）パスワード」を変更した場合は、認証画面（➔P.8）にて、変更後のユーザIDとパスワードを入力してください。
- 登録後、ネットワークカメラは再起動します。同時にWEB設定ツール画面（IE）も終了します。

### （10）[ユーザ削除]ボタン

ユーザ番号を指定して、ネットワークカメラに登録されたユーザを削除できます。
[ユーザ削除]をクリックすると、「削除しました。」とメッセージを表示し、[OK]をクリックすると、「ユーザー一覧」からユーザを削除します。

**お知らせ**

- 番号1は、管理者権限のため削除できません。
- 削除後、ネットワークカメラは再起動します。同時にWEB設定ツール画面（IE）も終了します。

# 帯域制御項目

「帯域制御」メニューでは、ライブ配信および記録配信時にネットワーク状況に応じて帯域を制限する機能の設定ができます。

**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。ただし、本ソフトウェアで設定した値で運用したい場合は、「(1) 帯域制御設定ロック」をご使用ください。**
- **本項目は配信のエンコードモードが「H.264」の場合に有効です。また、ライブ帯域制御の場合は「その他」-「ライブ配信プロトコル」(➔P.129) を「RTP」(初期値) としてください。**

## 共通

### (1) 帯域制御設定ロック

**設定値**：ON／OFF（初期値）

「ON」にすることで外部からのライブ帯域制御および記録帯域制御の設定値を変更できないようにすることができます。

## ライブ帯域制御

### （2）ライブ帯域制御

**設定値**：ON／OFF（初期値）

H.264ライブ配信の帯域制御を行うかどうかを選択できます。

**お知らせ**

- 本項目が「ON」の場合のみ、以降の「（4）ライブ配信上限」「（5）ライブ配信間隔」「（6）ライブフレーム送信時間優先」を設定できます。

### （3）ライブ配信 AUTO

**設定値**：ON／OFF（初期値）

H.264ライブ配信の帯域制御を自動で行うかどうかを選択できます。

「ON」の場合、パケット欠落が発生すると、配信上限を一時的に低減します。

**お知らせ**

- 本項目は、「（2）ライブ帯域制御」によらず動作します。

### （4）ライブ配信上限

**設定値**：0～25（初期値）～100

H.264ライブ配信の送信ビットレート（Mbps）の上限を設定できます。

「（5）ライブ配信間隔」で設定した時間内に送信する平均ビットレートの上限値となります。

**お知らせ**

- 誤差により10%程度上限を超える場合があります。また、0の場合、ライブ帯域制御は行いません。
- 「（2）ライブ帯域制御」が「ON」の場合のみ有効です。

### （5）ライブ配信間隔

**設定値**：0～10（初期値）～1000

本設定値（ms）の間隔で、「（4）ライブ配信上限」で設定した上限値を超えないよう制御します。

**お知らせ**

- 0の場合、ライブ帯域制御は行いません。
- 「（2）ライブ帯域制御」が「ON」の場合のみ有効です。

### （6）ライブフレーム送信時間優先

**設定値**：ON（初期値）／OFF

・「ON」　：各フレームを250ms以内に送信するように制御します。この場合、「（4）ライブ配信上限」で設定した配信上限を超えることがあります。

・「OFF」　：「（4）ライブ配信上限」の配信上限を超えないよう制御します。

**お知らせ**

- 「OFF」の場合、「（4）ライブ配信上限」「（5）ライブ配信間隔」の設定値によっては、Pフレームを間引くことがあります。

## 記録帯域制御

### （7）記録帯域制御

**設定値**：ON／OFF（初期値）

H.264記録配信の帯域制御を行うかどうかを選択できます。

**お知らせ**

- 本項目が「ON」の場合のみ、以降の「（9）記録配信上限」「（10）記録配信間隔」「（11）記録フレーム間隔優先」を設定できます。

### （8）記録配信 AUTO

**設定値**：ON／OFF（初期値）

H.264記録配信の帯域制御を自動で行うかどうかを選択できます。「ON」の場合、パケット欠落が発生すると、配信上限を一時的に低減します。

**お知らせ**

- 本項目は、「（7）記録帯域制御」によらず動作します。

### （9）記録配信上限

**設定値**：0～25（初期値）～100

H.264記録配信の送信ビットレート（Mbps）の上限を設定できます。「（10）記録配信間隔」で設定した時間内に送信する平均ビットレートの上限値となります。

**お知らせ**

- 誤差により10%程度上限を超える場合があります。また、0の場合、記録帯域制御は行いません。
- 「（7）記録帯域制御」が「ON」の場合のみ有効です。

### （10）記録配信間隔

**設定値**：0～10（初期値）～1000

本設定値（ms）の間隔で、「（9）記録配信上限」で設定した上限値を超えないよう制御します。

**お知らせ**

- 0の場合、記録帯域制御は行いません。
- 本項目の設定値が小さい場合、配信間隔の精度が低下し適切なレートで配信できなくなるため、10ms以上を設定することを推奨します。
- 「（7）記録帯域制御」が「ON」の場合のみ有効です。

**（11）記録フレーム間隔優先**

**設定値**：ON（初期値）／OFF

「配信」-「記録配信」の「（3）フレームレート」（➔P.54）により決められるフレーム間隔で映像を送信します。

このとき各フレーム間隔内でデータ量を平準化して送信します。

・「ON」 ：フレーム間隔を守るために「（9）記録配信上限」で設定した配信上限を超えることがあります。

・「OFF」：「（9）記録配信上限」で設定した配信上限を超えないよう制御します。

**（12）[設定]ボタン**

（1）～（11）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# メール項目

「メール」メニューでは、アラームが発生したときに送信するメールの設定ができます。

**■ご注意■**

- **メール機能を使用するには、あらかじめISP（Internet Service Provider）から付与されたメールアドレスおよびメール設定のための各情報が別途必要です。**
- **記録配信設定またはライブ配信設定のエンコードモードがJPEG設定の場合は、その設定に従った画像を添付します（記録配信／ライブ配信設定のエンコードモードがいずれもJPEG設定の場合は、画像サイズが大きい設定の画像を添付します）。**
- **記録配信およびライブ配信を行っていない場合、DI-CB320/DI-CD320/DI-CB325/DI-CD325/DI-CD322LE/DI-CB322LEWは「画像サイズ：FHD／画質：レベル5」、DI-CF310は「画像サイズ：SHD／画質：レベル5」の画像を添付します。**
- **下記①②の場合は、画像が添付できません。**
  **①H.264のライブ配信中かつH.264で記録配信中の場合**
  **②H.264のライブ配信中かつH.264でSDメモリーカードやNASへ記録設定している場合**

## 1.[共通]

## メール

### （1）メール配信

**設定値**：ON／OFF（初期値）
メール配信を行うかどうかを選択できます。

**お知らせ**

- 本項目が「ON」の場合にのみ以下の項目を設定できます。

### （2）送信元メールアドレス

**設定値**：半角127文字以内／空白（初期値）
送信元としてISPから付与されたメールアドレスを設定できます。

## サーバ

### （3）SMTP サーバ（IPv4）

**設定値**：半角200文字以内／0.0.0.0（初期値）
メールを送信するためのSMTPサーバを設定できます。
SMTPサーバのIPアドレス、またはドメイン名を設定してください。
「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」（➔P.92）で「IPv6」選択時は無効です。

### （4）SMTP サーバ（IPv6）

**設定値**：半角200文字以内／ ::（初期値）
メールを送信するためのSMTPサーバを設定できます。
SMTPサーバのIPアドレス、またはドメイン名を設定してください。
「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」で「IPv4」選択時は無効です。

### （5）SMTP サーバポート番号

**設定値**：1～25（初期値）～65535
SMTPサーバのポート番号を設定できます。

### （6）POP3 サーバ（IPv4）

**設定値**：半角200文字以内／0.0.0.0（初期値）
POP3認証を用いてメールを送信する場合、POP3サーバを設定できます。
POP3サーバのIPアドレス、またはドメイン名を設定してください。
「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」で「IPv6」選択時は無効です。

**お知らせ**

- POP3サーバは、メールを受信するためのサーバで、メール送信時の認証にも使用できます。ネットワークカメラでは、メールを送信するときの認証に使用します。

### （7）POP3 サーバ（IPv6）

**設定値**：半角200文字以内／ ::（初期値）
POP3認証を用いてメールを送信する場合、POP3サーバを設定できます。
POP3サーバのIPアドレス、またはドメイン名を設定してください。
「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」で「IPv4」選択時は無効です。

**（8）POP3 サーバポート番号**

**設定値**：1～110（初期値）～65535
POP3サーバのポート番号を設定できます。

**（9）POP3 認証**

**設定値**：ON／OFF（初期値）
POP3認証を実施するかを選択できます。
「ON」は、「（6）POP3サーバ（IPv4）」または「（7）POP3サーバ（IPv6）」で設定したPOP3サーバを使用し、認証を行ってからメールを送信します。
「OFF」は、認証を行わずにメールを送信します。

**お知らせ**

- 「ON」にした場合にのみ、「（10）ユーザID」「（11）パスワード」の入力ができます。

**（10）ユーザ ID**

**設定値**：半角1～15文字／空白（初期値）
POP3認証に使用するユーザ名を設定できます。

**お知らせ**

- 「（9）POP3認証」が「ON」のとき有効な設定です。
- ネットワークカメラに設定している値は表示しません。

**（11）パスワード**

**設定値**：半角15文字以内／空白（初期値）
POP3認証に使用するパスワードを設定できます。

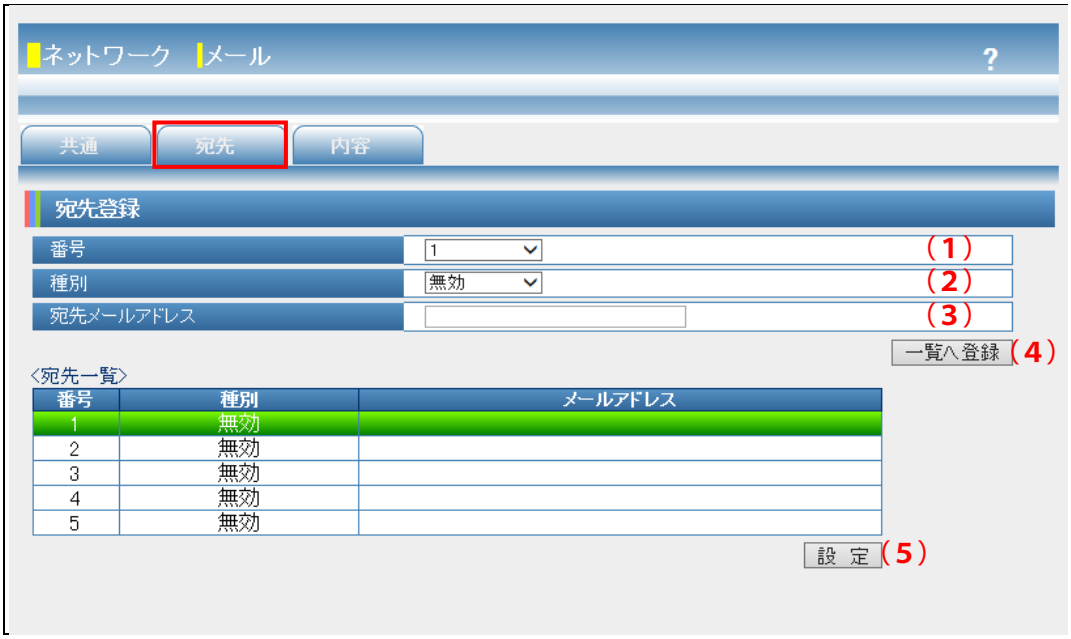
**お知らせ**

- 半角スペースのみの入力もできます。
- 「（9）POP3認証」が「ON」のとき有効な設定です。
- ネットワークカメラに設定している値は表示しません。

**（12）[設定]ボタン**

（1）～（11）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

## 2.[宛先]




### 宛先登録

**（1）番号**

**設定値**：1（初期値）～5

メール送信宛先番号を選択できます。

選択した番号ごとに、「（2）種別」「（3）宛先メールアドレス」を設定できます。

**（2）種別**

**設定値**：無効（初期値）／有効

設定したメールアドレスにメールを送信するかどうかを選択できます。

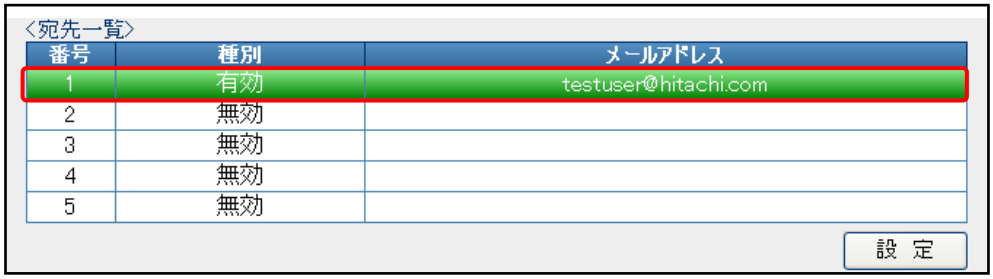
**（3）宛先メールアドレス**

**設定値**：半角127文字以内／空白（初期値）

送信先メールアドレスを設定できます。

**（4）[一覧へ登録]ボタン**

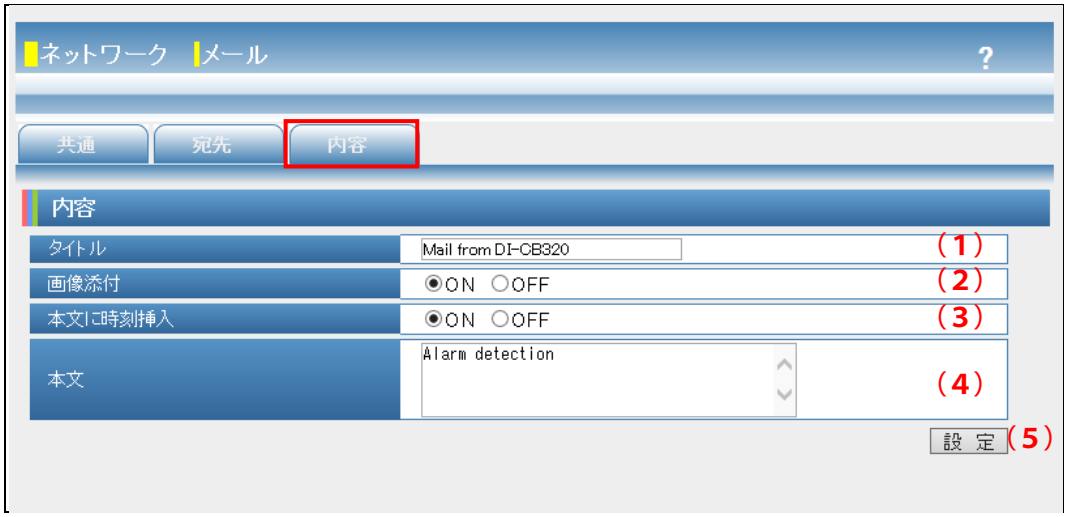
（1）～（3）を入力後、[一覧へ登録]をクリックすると、次のように「宛先一覧」に登録します。



**（5）[設定]ボタン**

一覧に登録された設定内容をネットワークカメラに設定します。

## 3.[内容]




**（1）タイトル**

**設定値**：全角・半角文字（半角換算63文字以内）／Mail from 製品型式（初期値）
製品型式：例）DI-CB320
送信するメールのタイトルを設定できます。

**（2）画像添付**

**設定値**：ON（初期値）／OFF
送信するメールに、アラーム発生時の画像（JPEG）を添付するかどうかを選択できます。

**お知らせ**

- 添付画像はJPEGフォーマットです。
- ファームウェアのアップデート中などでは、画像が添付されない場合もあります。

**（3）本文に時刻挿入**

**設定値**：ON（初期値）／OFF
送信するメール本文に時刻挿入を行うかどうかを選択できます。

**（4）本文**

**設定値**：全角・半角文字（半角換算42文字以内）／Alarm detection（初期値）
送信するメール本文を設定できます。

**（5）[設定]ボタン**

（1）～（4）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

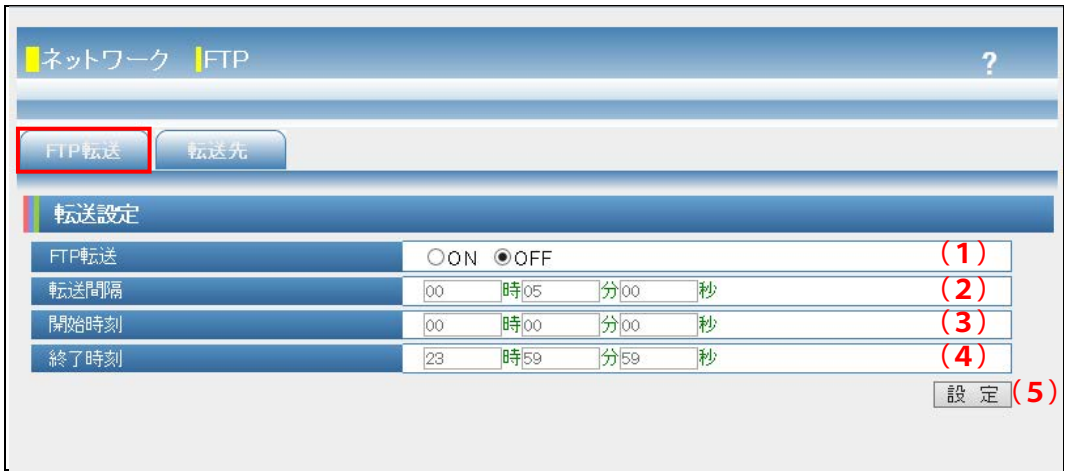
# FTP 項目

「FTP」メニューでは、任意の時間帯と送信間隔でJPEG画像を1枚ずつFTP転送する設定ができます。

**■ご注意■**

- **FTP転送を行うためには、本画面の設定以外に、以下の設定を行う必要があります。**
  **「記録」-「共通設定」（➔P.64）で「(1) 保存先」を「OFF」に設定する**
  **「配信」-「記録配信」（➔P.54）で「(1) エンコードモード」を「JPEG」に設定する**
  **※上記設定が行われていない場合は、本画面で設定していてもFTP転送を行いません。**
- **FTP転送の初回送信時刻は、開始時刻＋転送間隔の時刻です（開始時刻のタイミングで転送開始しません）。**
- **開始時刻～終了時刻までの間隔よりも転送間隔の方を長く設定した場合は、FTP転送は動作しません。FTP転送を動作させるには、開始時刻～終了時刻までの間隔よりも転送間隔の方が短くなるように設定してください。**

## 1.[FTP 転送]




### 転送設定

**（1）FTP 転送**

**設定値**：ON／OFF（初期値）

FTPサーバに定期的に画像転送を行うかどうかを選択できます。

「ON」を選択すると、設定したFTPサーバにJPEG画像を転送します。

**お知らせ**

- **本項目が「ON」の場合にのみ、以降の「（2）転送間隔」「（3）開始時刻」「（4）終了時刻」を設定できます。**

**（2）転送間隔**

**設定値（時）**：00（初期値）～23
**設定値（分）**：00～05（初期値）～59
**設定値（秒）**：00（初期値）～59
FTPサーバへの転送間隔を設定できます。転送間隔の最小値は10秒です。

**（3）開始時刻**

**設定値（時）**：00（初期値）～23
**設定値（分）**：00（初期値）～59
**設定値（秒）**：00（初期値）～59
FTPサーバへの転送開始時刻を設定できます。開始時刻と終了時刻の間、FTPサーバに転送します。

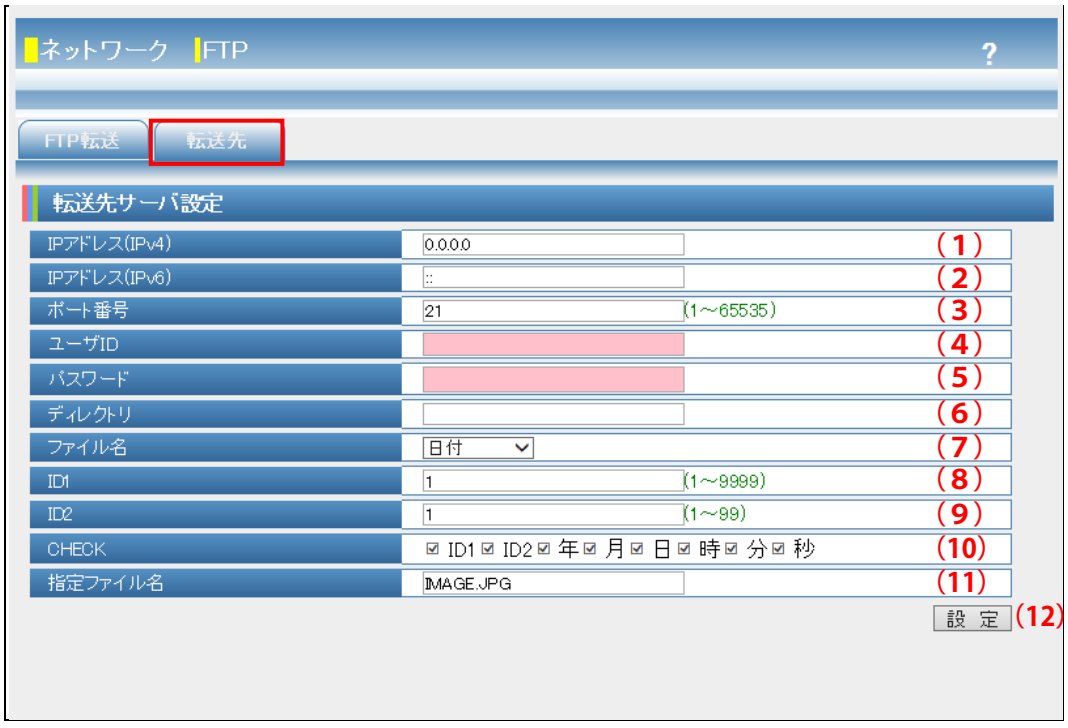
**（4）終了時刻**

**設定値（時）**：00～23（初期値）
**設定値（分）**：00～59（初期値）
**設定値（秒）**：00～59（初期値）
FTPサーバへの転送終了時刻を設定できます。開始時刻と終了時刻の間、FTPサーバに転送します。

**（5）[設定]ボタン**

（1）～（4）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

## 2.[転送先]



## 転送先サーバ設定

### （1）IP アドレス（IPv4）

**設定値**：0.0.0.0（初期値）～255.255.255.255
転送先FTPサーバのIPアドレスを設定できます。
「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」（➔P.92）で「IPv6」選択時は無効です。

### （2）IP アドレス（IPv6）

**設定値**： ::（初期値）～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff
転送先FTPサーバのIPアドレスを設定できます。
「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」で「IPv4」選択時は無効です。

### （3）ポート番号

**設定値**：1～21（初期値）～65535
転送先のFTPサーバのポート番号を設定できます。

### （4）ユーザ ID

**設定値**：半角15文字以内／空白（初期値）
転送先のFTPサーバへログインするためのユーザIDを設定できます。

### （5）パスワード

**設定値**：半角15文字以内／空白（初期値）
転送先のFTPサーバへログインするためのパスワードを設定できます。

### （6）ディレクトリ

**設定値**：半角英数字、半角「_ - ()」で15文字以内／空白（初期値）
ネットワークカメラから転送先FTPサーバにアップロードするディレクトリ（場所）を設定できます。あらかじめFTPサーバ上にディレクトリを作成しておく必要があります。

### （7）ファイル名

**設定値**：日付（初期値）／指定／日付＋指定
転送先FTPサーバにアップロードするときのファイル名を選択できます。
「日付」は、転送するときの日時をファイル名にして転送します。

- 「日付」　：「（10）CHECK」で選択した項目がファイル名となります。
  **例**：転送時の日時が2010年3月4日12時34分56秒789の場合で、
  ID1＝1／ID2＝2／CHECKをすべてチェックした場合は、
  ファイル名：00010220100304123456789.JPG
- 「指定」　：「（11）指定ファイル名」で指定したファイル名で転送します。
- 「日付＋指定」：「日付」+「指定」をファイル名として転送します。

### （8）ID1

**設定値**：1（初期値）～9999
転送ファイルの名称に付加する識別情報1です。

**お知らせ**

- 「1」を設定した場合は、「0001」として認識します。

**（9）ID2**

**設定値**：1（初期値）～99
転送ファイルの名称に付加する識別情報2です。

**お知らせ**

- **「1」を設定した場合は、「01」として認識します。**

**（10）CHECK**

**設定値**：ID1／ID2／年／月／日／時／分／秒／すべてチェック（初期値）
ファイル名に付加する情報を設定できます。

**（11）指定ファイル名**

**設定値**：半角8文字以内+拡張子半角3文字／IMAGE.JPG（初期値）
転送先FTPサーバにアップロードするファイル名を設定できます。

**お知らせ**

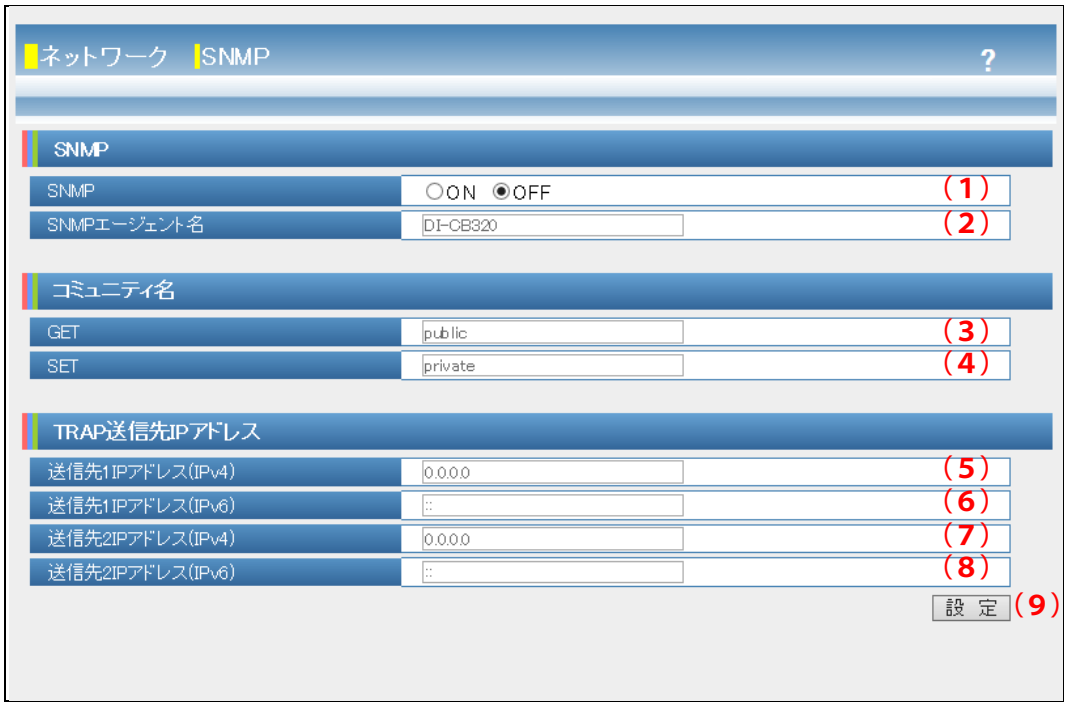
- **「（7）ファイル名」が「指定」または「日付＋指定」のとき有効な設定です。**
- **「.jpg」のように、ドット+3文字の入力もできます。ただし、ドット以降はドット以外の半角文字3文字が必須となります。**

**（12）[設定]ボタン**

（1）～（11）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# SNMP 項目

「SNMP」メニューでは、RFC規格に準拠したネットワークカメラの状態データベースを、クライアントからSNMP（Simple Network Management Protocol）マネージャソフトウェアを使って取得するための設定ができます。
これにより、外部からネットワークカメラを監視し、機器の情報を取得することができます。また重要度の高い異常などが発生した場合に、TRAP通知をクライアントに自動送信し、リアルタイムに通知できます。




## SNMP

### （1）SNMP

**設定値**：ON／OFF（初期値）
ネットワークカメラのSNMP（ネットワーク監視）を有効にするかどうかを選択できます。
設定がOFFの場合、TRAP送信が無効になります。ただし、SNMPマネージャソフトウェアからのMIB情報の取得は、本設定にかかわらず取得することができます。

**お知らせ**

- **本項目が「ON」の場合のみ、以降の「（2）SNMPエージェント名」「（3）GET」「（4）SET」の項目を設定できます。**

### （2）SNMP エージェント名

**設定値**：半角30文字以内／製品型式（初期値）
製品型式：例）DI-CB320
SNMPエージェント名を設定できます。

## コミュニティ名

**（3）GET**

**設定値**：半角30文字以内／public（初期値）
GETコミュニティ名を設定します。
SNMPでGETコマンド、およびTRAPコマンドのコミュニティ名を設定できます。

**（4）SET**

**設定値**：半角30文字以内／private（初期値）
SETコミュニティ名を設定します。
SNMPでSETコマンドのコミュニティ名を設定できます。

## TRAP 送信先 IP アドレス

**（5）送信先 1IP アドレス（IPv4）**

**設定値**：0.0.0.0（初期値）～255.255.255.255
TRAP発生時の送信先1のIPアドレス（IPv4）を設定できます。
「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」（➔P.92）で「IPv6」選択時は無効です。

**（6）送信先 1IP アドレス（IPv6）**

**設定値**： ::（初期値）～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff
TRAP発生時の送信先1のIPアドレス（IPv6）を設定できます。
「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」で「IPv4」選択時は無効です。

**（7）送信先 2IP アドレス（IPv4）**

**設定値**：0.0.0.0（初期値）～255.255.255.255
TRAP発生時の送信先2のIPアドレス（IPv4）を設定できます。
「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」で「IPv6」選択時は無効です。

**（8）送信先 2IP アドレス（IPv6）**

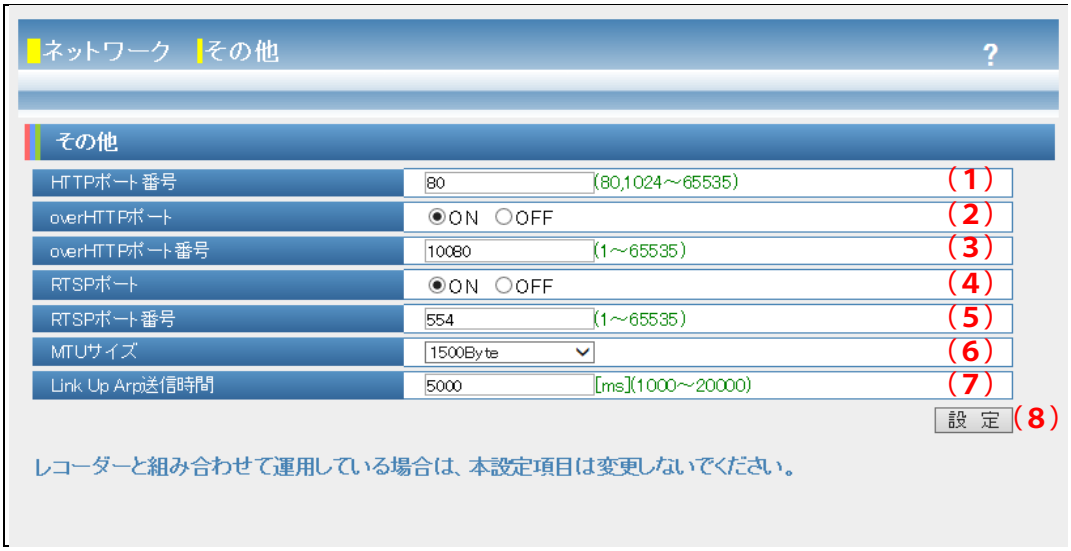
**設定値**： ::（初期値）～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff
TRAP発生時の送信先2のIPアドレス（IPv6）を設定できます。
「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」で「IPv4」選択時は無効です。

**（9）[設定]ボタン**

（1）～（8）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# その他項目

「その他」メニューでは、そのほかのネットワーク設定ができます。




**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。**

## その他

### （1）HTTP ポート番号

**設定値**：80（初期値）、1024～65535

ネットワークカメラとHTTPで通信する際のポート番号を設定します。

初期値以外にポート番号を変更した場合は、変更後のポート番号をアドレスの末尾に「:」を付けてログインしなおしてください。

**例：** http://192.168.0.100:1024（**ポート番号が1024の場合**）

**お知らせ**

- 通常は「80」（初期値）でご使用ください。この場合、ポート番号の指定は不要です。

### （2）overHTTP ポート

**設定値**：ON（初期値）／OFF

RTSPoverHTTP通信を行うかどうかを選択できます。

**お知らせ**

- overHTTPポートと「（3）overHTTPポート番号」の設定は、ONVIF規格に準拠した他社製品と通信する場合に有効です。ONVIFを有効にするためには、「メンテナンス」メニューでの設定が必要になりますので、ご使用になる場合は販売店にご相談ください。

**（3）overHTTP ポート番号**

**設定値**：1～10080（初期値）～65535
RTSPoverHTTP通信を行う際に受信するための overHTTPポートとして使用するポート番号を設定できます。

**（4）RTSP ポート**

**設定値**：ON（初期値）／OFF
RTSPポートを使用するかどうかを選択できます。

**（5）RTSP ポート番号**

**設定値**：1～554（初期値）～65535
RTSP通信を行う際に受信するためのRTSPポートとして使用するポート番号を設定できます。

**（6）MTU サイズ**

**設定値**：800Byte／900Byte／1000Byte／1100Byte／1200Byte／1300Byte／1400Byte／1500Byte（初期値）
MTUサイズを選択できます。
エラーの発生しやすい帯域で狭いネットワーク回線を使用している場合などは、値を小さくすることで通信の安定性が改善することがあります。

**お知らせ**

- **MTUは、ネットワークにおいて1回に送信できるデータの最大値を指します。**
- **IPv6をご使用の場合は1300以上を設定してください。**

**（7）Link Up Arp 送信時間**

**設定値**：1000～5000（初期値）～20000
ネットワークカメラのLink Up Arp送信時間を設定できます。

**お知らせ**

- **EthernetケーブルのLink Upを検出してから、Arp（通信状態を監視するためのデータ）を送信するまでの時間です。**

**（8）[設定]ボタン**

（1）～（7）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

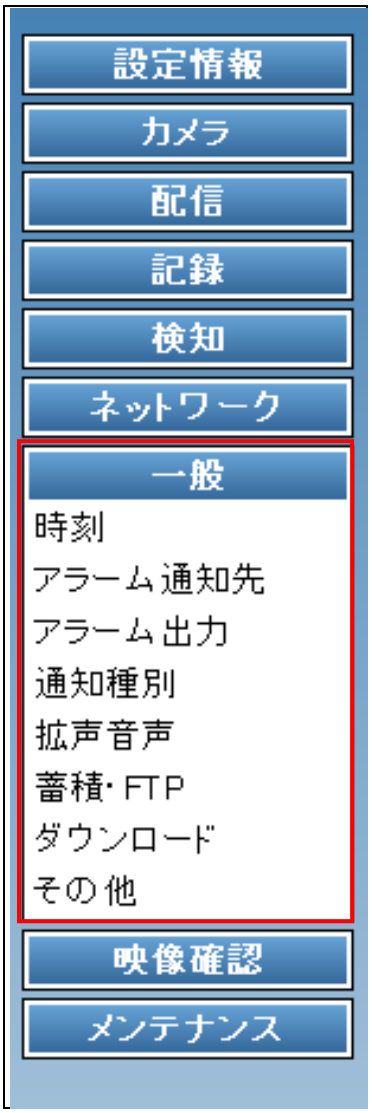
**お知らせ**

- **Link Up Arp以外で変更があった場合、設定後ネットワークカメラは再起動します。同時にWEB設定ツール画面（IE）も終了します。**

# カメラの一般設定をする

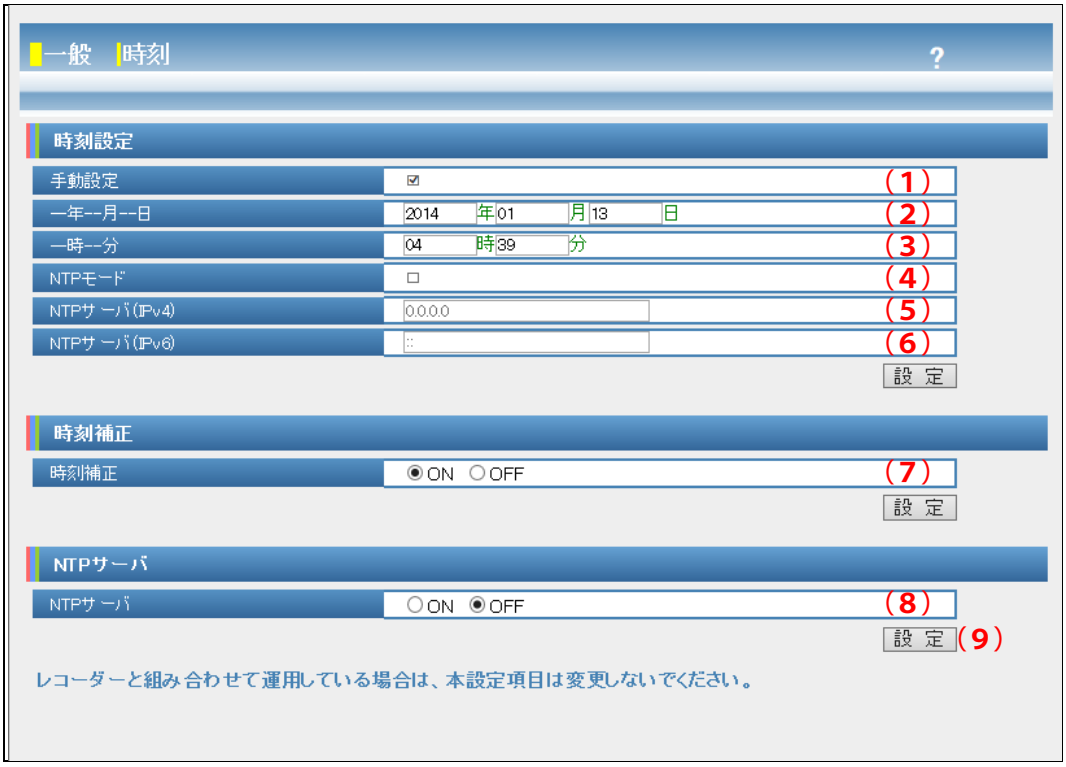
## 概要

「一般」では、ネットワークカメラの時刻変更、アラーム発生時の通知先などの設定、PICからネットワークカメラへの音声出力などの設定ができます。
また、PCでの映像表示に必要なActiveXのダウンロードなどもできます。



# 時刻項目

「時刻」メニューでは、ネットワークカメラ本体の時刻設定およびNTP（Network Time Protocol）サーバを使用して定期的に時刻合わせ（調時）を行う設定ができます。
また、時刻合わせ時に記録データの日時を補正するかどうかも設定できます。




**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。**
- **「(2) ー年ー月ー日」、「(3) ー時ー分」は「設定セーブ／ロード」（➔P.29）の対象外です。**
- **「(4) NTPモード」を使用するには、ネットワークにNTPサーバを用意する必要があります。**

## 時刻設定

### （1）手動設定

**設定値**：チェックなし／チェックあり（初期値）
時刻設定方法を設定できます。
チェックを付けると、「ー年ー月ー日」「ー時ー分」で設定した時刻を設定します。
「（4）NTPモード」とどちらか一方のみ選択できます。

**（2）－年－月－日**

**設定値（年）**：2000～2035
**設定値（月）**：01～12
**設定値（日）**：01～31
時刻（年月日）を設定できます。

**お知らせ**

- **「（1）手動設定」にチェックを付けたとき有効な設定です。**

**（3）－時－分**

**設定値（時）**：0～23
**設定値（分）**：0～59
時刻（時分）を設定できます。

**お知らせ**

- **「（1）手動設定」にチェックを付けたとき有効な設定です。**

**（4）NTP モード**

**設定値**：チェックなし（初期値）／チェックあり
チェックを付けると「（5）NTPサーバ（IPv4）」または「（6）NTPサーバ（IPv6）」で設定したNTPサーバの時刻を取得し調時を行います。調時はネットワークカメラ起動時や設定変更時に実行され、その後は1時間間隔で調時を行います。
「（1）手動設定」とどちらか一方のみ選択できます。

**（5）NTP サーバ（IPv4）**

**設定値**：半角255文字以内／0.0.0.0（初期値）
IPv4時のNTPサーバのIPアドレス（IPv4）またはドメイン名を設定できます。
「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」（➔P.92）で「IPv6」選択時は無効です。

**（6）NTP サーバ（IPv6）**

**設定値**：半角255文字以内／::（初期値）
IPv6時のNTPサーバのIPアドレス（IPv6）またはドメイン名を設定できます。
「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」で「IPv4」選択時は無効です。

## 時刻補正

**（7）時刻補正**

**設定値**：ON（初期値）／OFF
時刻調時による設定時刻の変更を行う際に、記録データ上の時刻を補正するかどうかを選択できます。

## NTP サーバ

### （8）NTP サーバ

**設定値**：ON／OFF（初期値）

本ネットワークカメラ自身をNTPサーバとして動作させるかどうかを選択できます。

複数台ネットワークカメラを接続している環境で、特定のネットワークカメラに時刻を合わせたいときに使用します。

### （9）[設定]ボタン

（1）～（8）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# アラーム通知先項目

「アラーム通知先」メニューでは、ネットワークカメラにアラーム要因が発生した場合、通知先へアラーム通知を行うための設定ができます。

**■ご注意■**

- **ネットワークカメラを日立デジタルレコーダーと組み合わせて運用している場合は、本設定項目は変更しないでください。**

## アラーム通知設定

**（1）番号**

**設定値**：1（初期値）～5

登録する番号を選択できます。最大5件まで登録できます。

**（2）IP アドレス（IPv4）**

**設定値**：0.0.0.0（初期値）～255.255.255.255

「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」（➔P.92）で「IPv4」選択時の通知先IPアドレスを設定できます。

**（3）IP アドレス（IPv6）**

**設定値**： ::（初期値）～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

「ネットワーク」-「基本設定」の「（1）プロトコル」で「IPv6」選択時の通知先IPアドレスを設定できます。

**（4）ポート番号**

**設定値**：1～80（初期値）～65535

通知先のポート番号を設定できます。

**（5）モード切替**

**設定値**：不要（モードレス）（初期値）／必要（モーダル）

アラームリセットを必要とするかどうかを選択できます。

- 「不要」：アラームを通知したときに、通知先がアラーム通知を受けたかどうかにかかわらず、アラームを検知するたびに通知先にアラームを通知します。
- 「必要」：アラームを通知したときに、通知先からアラームリセットを受けるまでの間のアラームを検知しても通知先にアラームを通知しません。

**（6）通報対象**

**設定値**：PC（初期値）／NDR

選択した通報対象に従った通知方法を用いて通知します。

- 「PC」　：PCや日立デジタルレコーダーに対して、アラームを通知するときに選択します。
- 「NDR」：日立国際電気製ネットワークデジタルレコーダに対して、アラームを通知するときに選択します。番号1で設定したときのみ有効です。

**（7）[一覧へ登録]ボタン**

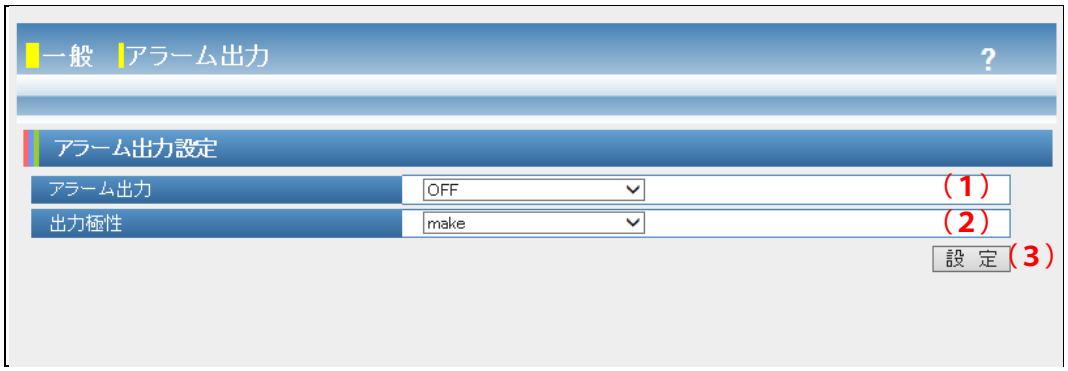
上記の（1）～（6）を入力後、[一覧へ登録]をクリックすると、「通知先一覧」に登録します。

**（8）[設定]ボタン**

通知先一覧の内容をネットワークカメラに設定します。

# アラーム出力項目

「アラーム出力」メニューでは、ネットワークカメラのALARM端子から信号出力を行うための設定ができます。




## アラーム出力設定

### （1）アラーム出力

**設定値**：OFF（初期値）／ON／異常連動

ネットワークカメラのALARM端子のアラーム出力動作を選択できます。

- 「OFF」　：状態にかかわらずアラーム出力しません。
- 「ON」　：状態にかかわらず常にアラーム出力します。
- 「異常連動」　：「一般」-「通知種別」（➔P.124）で設定した異常を検知するとアラーム出力します。

### （2）出力極性

**設定値**：make（初期値）／break

ネットワークカメラのオープンコレクタ出力動作を選択できます。

- 「make」　：アラーム出力時に端子を短絡します。
- 「break」　：アラーム出力時に端子を開放します。

### （3）[設定]ボタン

（1）～（2）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# 通知種別項目

「通知種別」メニューでは、ネットワークカメラに発生した異常種別ごとに、アラーム出力／状態表示LED／メール／アラーム通知を連動して動作させる設定ができます。

**お知らせ**

- 「モーター異常」、「IR-LED性能低下」はDI-CD322LEのみ対応しています。
- 「NAS異常」は、DI-CB320/DI-CD320のVer.000.012.066以降、DI-CB325/DI-CD325、DI-CF310のVer.000.000.095以降、DI-CD322LE、およびDI-CB322LEWが対応しています。
- 「センサ異常」、「アイリス/シャッター異常」、「EEPROM初期値異常」はDI-CB322LEWでは対応していません。
- 「白キズ異常」、「アイリス異常」、「EEPROM異常」、「レンズ異常」、「モジュール通信異常」はDI-CB322LEWのみ対応しています。

## 通知設定

### （1）異常種別

設定する異常種別を選択できます。

**（2）アラーム出力**

**設定値**：ON／OFF（初期値）

該当するアラームや異常要因が発生した際に、アラーム出力を行うかどうかを選択できます。

詳しくは、「一般」-「アラーム出力」（➔P.123）をご参照ください。

**（3）状態表示 LED**

- **DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CF310**

  **設定値**：ON／OFF（初期値）

- **DI-CD322LE / DI-CB322LEW**

  **設定値**：ON／OFF（初期値は「お知らせ」参照）

該当するアラームや異常要因が発生した際に、ネットワークカメラのLED点滅を行うかどうかを選択できます。異常などがあるとLEDが点滅します。

詳しくは、「付録」-「状態表示LED点滅について」（➔P.148）をご参照ください。

**お知らせ**

- **DI-CD322LEは、下記の異常種別のみ設定値の初期値が「ON」になります。**
  **センサ異常／アイリス/シャッター異常／カメラ動作異常／内部動作異常／EEPROM初期値異常／SD異常／SD性能低下／NAS異常／IR-LED性能低下／モーター異常**
- **DI-CB322LEWは、下記の異常種別のみ設定値の初期値が「ON」になります。**
  **白キズ異常／アイリス異常／カメラ動作異常／内部動作異常／EEPROM異常／SD異常／SD性能低下／NAS異常／レンズ異常／モジュール通信異常**

**（4）メール**

**設定値**：ON／OFF（初期値）

該当するアラーム／異常要因が発生した際に、メール設定先に対して通知を行うかどうかを選択できます。

詳しくは、「ネットワーク」-「メール」（➔P.104）をご参照ください。

**（5）アラーム通知**

**設定値**：ON／OFF（初期値）

該当するアラームや異常要因が発生した際に、アラーム通知先に対して通知を行うかどうかを選択できます。

詳しくは、「一般」-「アラーム通知先」（➔P.121）をご参照ください。

**（6）[一覧へ登録]ボタン**

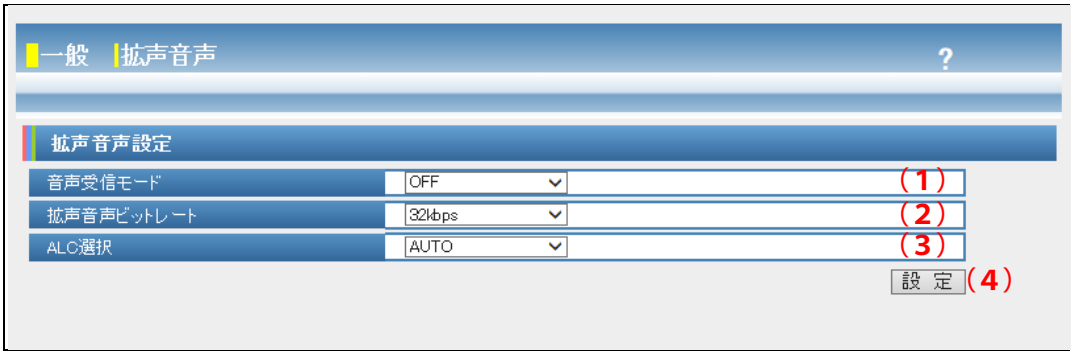
上記の（1）～（5）を設定後、[一覧へ登録]をクリックすると、「通知設定一覧」に登録します。

**（7）[設定]ボタン**

通知先一覧の内容をネットワークカメラに設定します。

# 拡声音声項目

「拡声音声」メニューでは、ネットワーク上のPCから音声を転送し、ネットワークカメラのAUDIO OUT端子（音声出力端子）に接続されたスピーカーから音声出力する設定ができます。




## 拡声音声設定

### （1）音声受信モード

**設定値**：OFF（初期値）／G726_MODE

拡声音声機能を有効にするかどうかを選択できます。

**お知らせ**

音声受信モードを「G726_MODE」に設定する場合は、音声設定の「（1）エンコードモード」（➔P.59）を「G.726」に設定してください。

### （2）拡声音声ビットレート

**設定値**：16kbps／24kbps／32kbps（初期値）

拡声音声のビットレートを選択できます。

ビットレートが大きいほど音質は良くなりますが、その分データ量は多くなります。

### （3）ALC 選択

**設定値：**AUTO（初期値）／入力／出力

ALC（自動レベル制御）を、入力／出力のどちらで動作させるか選択できます。

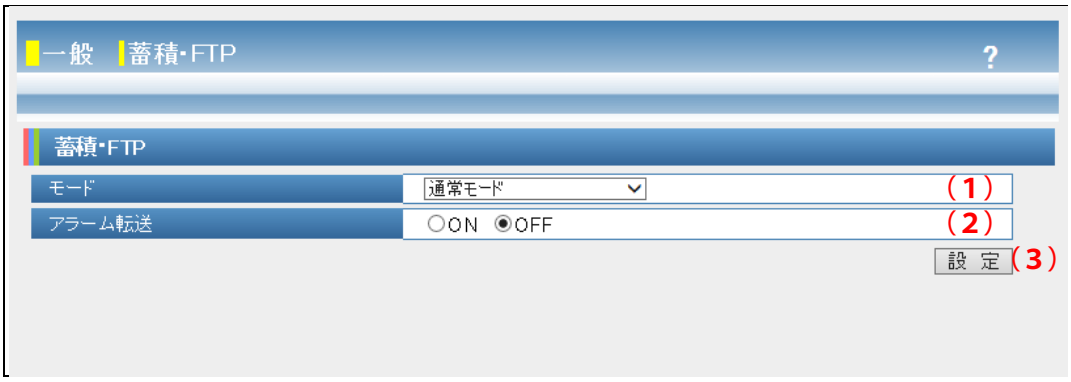
- 「AUTO」　：「（1）音声受信モード」の設定により自動レベル制御の対象を変更します。
  通常はこちらの設定でご使用ください。
  音声受信モードが「OFF」の場合、「入力」設定となります。
  音声受信モードが「G726_MODE」の場合、「出力」設定となります。
- 「入力」　：内蔵マイクまたは AUDIO IN 端子の音声入力に対して自動レベル制御をします。
- 「出力」　：AUDIO OUT 端子の音声出力に対して自動レベル制御をします。

### （4）[設定]ボタン

（1）～（3）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# 蓄積・FTP 項目

「蓄積・FTP」メニューでは、アラーム記録した映像を、指定したFTPサーバへ転送する設定ができます。




**■ご注意■**

- **「記録」-「共通設定」（➔P.64）の「(1) 保存先」を「OFF」に設定している場合のみ動作します。**
- **「配信」-「記録配信」（➔P.54）の「(1) エンコードモード」を「JPEG」に設定している場合のみ動作します。**
- **画像サイズは、「配信」-「記録配信」の「(2) 画像サイズ」に従います。**
- **転送先のFTPサーバ設定は、「ネットワーク」-「FTP」（➔P.109）のFTP転送設定に従います。**
- **「記録」-「アラーム記録対象」（➔P.80）画面の「(1) アラーム種別」項目の設定が行われていない場合でも、アラーム発生時は「(2) アラーム転送」項目の設定に従いFTP転送を行います。**

## 蓄積・FTP

### （1）モード

**設定値**：通常モード（初期値）／NDRモード

使用したいモードを選択できます。

「NDRモード」は、ネットワークカメラを日立国際電気製ネットワークデジタルレコーダに接続するときに使用します。

**お知らせ**

- **NDRモード選択時は、SDメモリーカードやNASへの記録はできません。**

### （2）アラーム転送

**設定値**：ON／OFF（初期値）

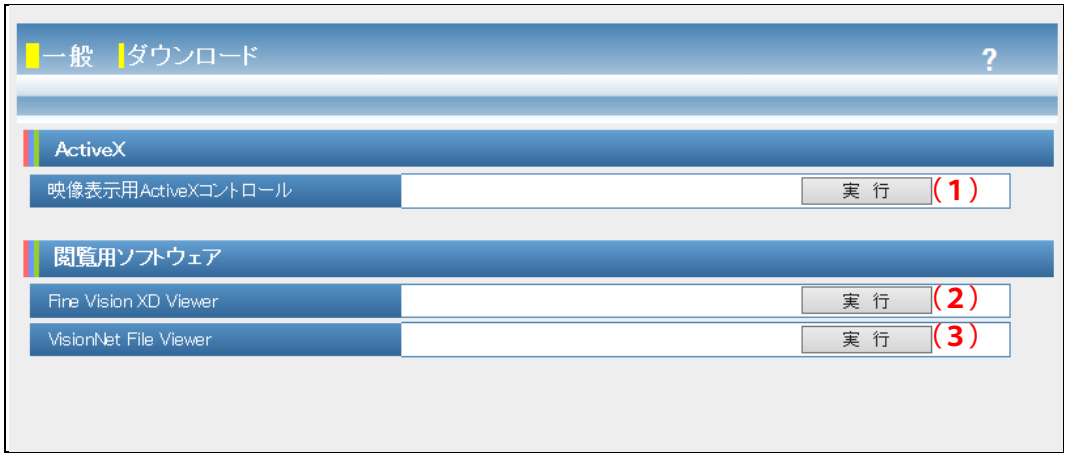
アラーム発生時に、FTP転送を行うかどうかを選択できます。

### （3）[設定]ボタン

（1）～（2）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# ダウンロード項目

「ダウンロード」メニューでは、ライブ／記録映像を閲覧するためのソフトウェアをダウンロードできます。




## ActiveX

### （1）映像表示用 ActiveX コントロール

PC 上でライブ／記録映像を確認するために必要となる ActiveX です。[実行]ボタンでダウンロードができます。
インストール方法はダウンロードファイルを解凍したときに作成されたフォルダの下にある **Readme** のファイルをご参照ください。

## 閲覧用ソフトウェア

### （2）Fine Vision XD Viewer

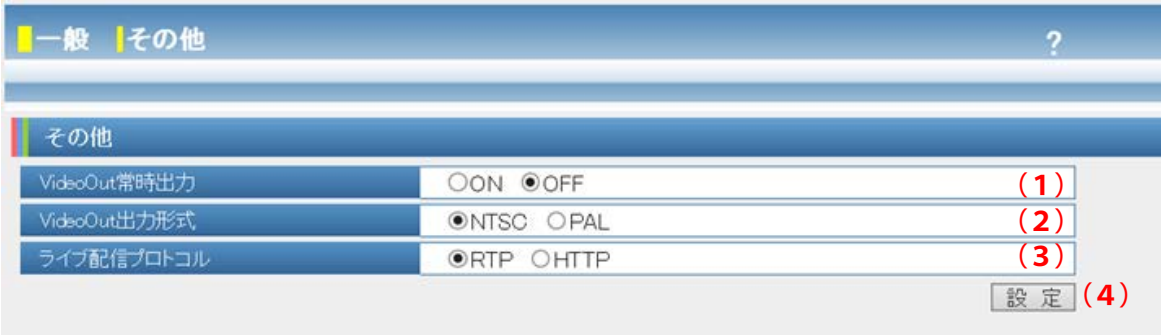
PC 上でライブ／記録映像の確認、記録映像のダウンロードを行うためのアプリケーションソフトです。[実行]ボタンでダウンロードができます。
ご使用前に「（1）映像表示用 ActiveX コントロール」をインストールする必要があります。
使用方法はダウンロードファイルを解凍したときに作成されたフォルダの下にある **Readme** のファイルをご参照ください。

### （3）VisionNet File Viewer

PC 上でダウンロードした記録映像を確認するためのアプリケーションソフトです。[実行]ボタンでダウンロードができます。
使用方法はダウンロードファイルを解凍したときに作成されたフォルダの下にある **Readme** のファイルをご参照ください。

# その他項目

「その他」メニューでは、ネットワークカメラのVIDEO OUT端子の動作やライブ配信のプロトコルについて設定できます。




## その他

### （1）VideoOut 常時出力

**設定値**：ON／OFF（初期値）

VIDEO OUT端子は、VIDEO OUT端子（ピント調整用：DI-CB320 / DI-CD320 / DI-CB325 / DI-CD325 / DI-CD322LE、回転角度調整用：DI-CF310 / DI-CB322LEW）とAUDIO OUT＋VIDEO OUT端子（映像／音声兼用：DI-CD320 / DI-CD325 / DI-CF310 / DI-CD322LE）の2種類があります。

本機能は「AUDIO OUT＋VIDEO OUT端子」を有するネットワークカメラ（DI-CD320 / DI-CD325 / DI-CF310 / DI-CD322LE）に有効な設定です。

※各端子の位置詳細はネットワークカメラの取扱説明書をご参照ください。

・「OFF」：「AUDIO OUT＋VIDEO OUT端子」から映像を常時出力しません。ただし、VIDEO OUT端子から出力がある場合は、AUDIO OUT＋VIDEO OUT端子にも連動して出力します。

・「ON」：「AUDIO OUT＋VIDEO OUT端子」から映像を常時出力します。ただしライブ配信の設定可能フレームレートがFHDの場合、最大15fpsに制限します。すでにライブ配信設定および記録配信設定をFHD/30fpsに設定している場合は、「ON」に設定変更できません。

### （2）VideoOut 出力形式

**設定値**：NTSC（初期値）／PAL

VIDEO OUTから出力する映像信号の形式を選択できます。

**お知らせ**

- **DI-CB320/DI-CD320のVer.000.012.066以降、DI-CB325/DI-CD325、DI-CF310のVer.000.000.095以降、DI-CD322LE、およびDI-CB322LEWが対応しています。**
- **カメラのファームウェアバージョンについては、販売店にご相談ください。**

### （3）ライブ配信プロトコル

**設定値**：RTP（初期値）／HTTP

ブラウザにライブ映像を配信するためのプロトコルを選択できます。

画質調整やプライバシーマスクで表示されるライブ映像では、プロトコルにRTP（RealTimeProtocol）が使用されることがあります。RTPの場合、ルータを経由していると表示できないことがあります。その場合にはHTTPを選択してください。

- 「RTP」　：ライブ映像をRTPで配信します。
- 「HTTP」：RTPで配信されるライブ映像をHTTPで配信します。
  HTTPのポート番号は、「ネットワーク」-「その他」設定画面の「HTTPポート番号」で設定された番号を使用します。

**お知らせ**

- **「配信」-「ライブ配信設定」（➔P.51）で「（1）エンコードモード」に「H.264」が選択されている場合、配信には通常RTPを使用します。**
- **プロトコルにHTTPを使用した場合、画面更新の間隔が長くなることがあります。**

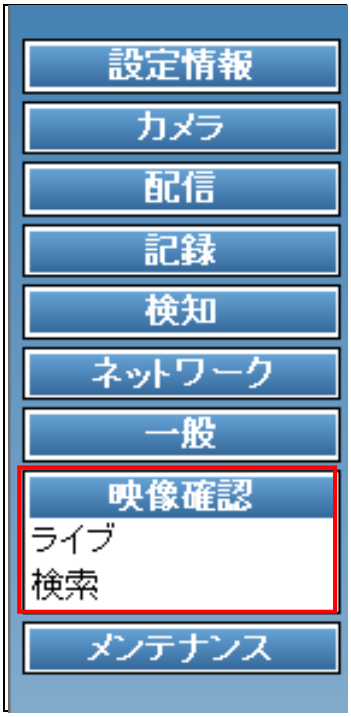
### （4）[設定]ボタン

（1）～（3）の設定内容をネットワークカメラに設定します。

# 映像の確認をする

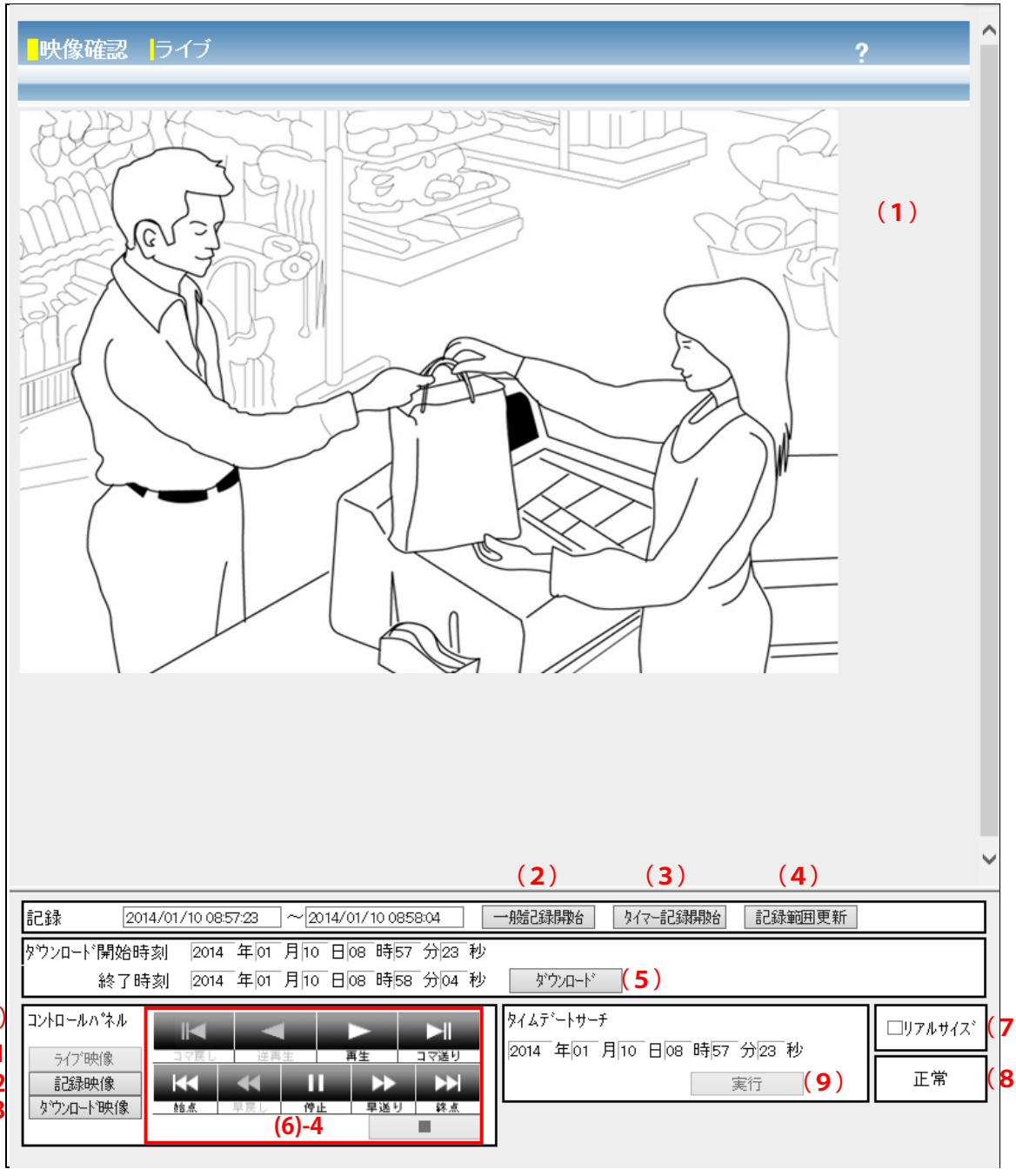
## 概要

「映像確認」では、ネットワークカメラのライブ映像の確認とSDメモリーカードやNASなどに記録した映像の検索やダウンロードができます。



# ライブ項目

「ライブ」メニューでは、ライブ／記録／ダウンロード映像の確認（音声は含みません）、一般記録／タイマー記録の操作や、記録映像のダウンロードができます。



**お知らせ**

- ダウンロード元は、「記録」-「共通設定」（➔P.64）の保存先で設定しているメディアです。
- ダウンロードプロテクト機能が有効の場合は、ダウンロードファイルはパスワードで暗号化します。ダウンロードプロテクトについては、販売店にご相談ください。
- 上書き記録中にダウンロード開始した場合、ダウンロード前に上書きされたデータはダウンロードできません。
- 配信設定と使用するPCの性能により、ライブ映像が滑らかに表示できない場合があります。「その他」-「PCの性能とライブ配信について」（➔P.147）をご参照ください。
- 再生／ダウンロードの最大セッション数は合計 5セッションです。
- 映像が連続していない記録映像やダウンロード映像を再生する場合、その間隔が30秒より短い場合は、次の映像時間になるまで静止画像となります。30秒以上の場合は、すぐに次の映像を再生します。

### （1）表示画面

ネットワークカメラの映像を表示します。
IEの画面サイズを変更すると、ライブ映像のサイズも変わります。
実際の画像サイズで表示したい場合は、「（7）リアルサイズ」をご使用ください。

### （2）[一般記録開始／停止]ボタン

[一般記録開始]をクリックすると、一般記録設定に従って記録を開始します。
[一般記録停止]をクリックすると、一般記録を停止します。

**お知らせ**

- SDメモリーカードの未挿入やエラー（SDスイッチが押されていない、NAS異常など）で、記録ができない状態でもボタンをクリックすることはできます。実際にSDメモリーカードやNASに記録されているかどうかは「（4）[記録範囲更新]ボタン」をクリックして最新時刻が更新されていることで確認してください。
- 一般記録の設定については、「一般記録項目」（➔P.66）をご参照ください。

### （3）[タイマー記録開始／停止]ボタン

[タイマー記録開始]をクリックすると、タイマー記録設定に従って記録を開始します。
[タイマー記録停止]をクリックすると、タイマー記録を停止またはタイマー記録スタンバイ状態を解除します。

**お知らせ**

- SDメモリーカードの未挿入やエラー（SDスイッチが押されていない、NAS異常など）で、記録ができない状態でもボタンをクリックすることはできます。実際にSDメモリーカードやNASに記録されているかどうかは「（4）[記録範囲更新]ボタン」をクリックして最新時刻が更新されていることで確認してください。
- タイマー記録の設定については、「タイマー記録項目」（➔P.72）をご参照ください。

### （4）[記録範囲更新]ボタン

[記録範囲更新]をクリックすると、最新の記録範囲表示に更新します。

### （5）[ダウンロード]ボタン

[ダウンロード]をクリックすると、PCの任意フォルダ上に指定範囲の記録映像ファイルをダウンロードします。

**お知らせ**

- ダウンロード時のフォルダ構成は以下になります。
  【フォルダ構成】　保存日時￥記録日時￥番号￥データファイル
  保存日時：ダウンロードを実行した日時（形式：YYMMDD_HHMMSS）
  記録日時：ダウンロードした記録映像の開始日時（形式：YYMMDD_HHMMSS）
  番　　号：nnn　（nnn：000～999）
  データファイル：nnn.dsj　（nnn：000～099）記録データ（映像/音声データ）
  例：2014年10月1日15時30分50秒に、開始時刻 2014年1月10日8時57分23秒のファイルをPCの
  Cドライブにダウンロードした場合、以下のようなフォルダとファイルを作成します。
  C:\141001_153050\140110_085723\000\000.dsj
  ファイル再生時は、記録日時フォルダ（上記例では、140110_085723）を選択してください。
- 保存したファイルの確認は、本ソフトウェア以外に Fine Vision XD Viewer または VisionNet File Viewer がご使用できます。取得方法は「一般」-「ダウンロード項目」（➔P.128）をご参照ください。

## （6）コントロールパネル

### （6）－1　[ライブ映像]ボタン

[ライブ映像]をクリックすると、ライブ映像を見ることができます。

### （6）－2　[記録映像]ボタン

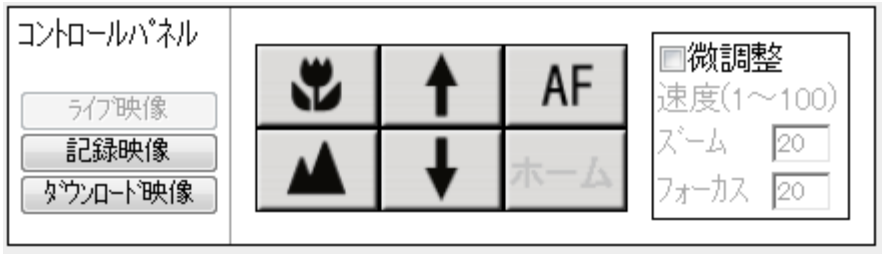
[記録映像]をクリックすると、記録対象メディアの記録データをコントロールパネルから再生できます。

### （6）－3　[ダウンロード映像]ボタン

[ダウンロード映像]をクリックすると、ダウンロード済みの記録データをファイル選択し、コントロールパネルから再生できます。
ダウンロードプロテクトが有効の場合は、パスワード入力用のダイアログを表示します。

### （6）－4　操作ボタン

①[ライブ映像]ボタン選択時（DI-CD322LE/DI-CB322LEWのみ）
下記の操作ボタン表示に切り換わり、ズーム位置／フォーカス位置を調整できます。




各ボタンの操作方法は、「カメラ」-「プリセット項目」（➔P.46）をご参照ください。

②[記録映像]ボタン　／[ダウンロード映像]ボタン選択時
記録映像やダウンロードファイルの再生や停止などを操作できます。
「（6）- 3 ダウンロード映像」を選択中に[再生]をクリックすると、フォルダの参照画面を表示するので、再生したい記録日時フォルダを選択してください。
[早戻し] [逆再生]ボタンは現時点では、対応していません。

**（7）リアルサイズ**

チェックすると、別ウインドウにて実際の画像サイズで表示することができます。
「（6）- 3 ダウンロード映像」を選択時はフォルダの参照画面を表示されるので、記録日時フォルダを選択してください。
記録映像またはダウンロード映像選択時は、操作ボタンが使用できます。

**（8）正常／異常表示**

現在のネットワークカメラの状態を正常か異常かで表示します。約1秒ごとに表示を更新します。

**お知らせ**

- **アラーム／異常要因が発生している場合は、異常表示となります。**

**（9）[実行]ボタン**

「（6）- 2 [記録映像]ボタン」または「（6）- 3 [ダウンロード映像]ボタン」選択時のみ検索できます。
指定した年／月／日／時／分／秒に最も近い映像を検索し、静止画表示を行います。
また、静止画表示中に操作ボタンにより再生することができます。
「（6）- 3 [ダウンロード映像]ボタン」を選択時は、フォルダ参照画面を表示されるので、記録日時フォルダを選択してください。

# 検索項目

「検索」メニューでは、記録種別の記録開始位置を記録範囲から絞り込んで検索／再生ができます。

**（1）記録範囲**

保存先メディアの現在の記録時間範囲を表示します。

## 検索条件設定

**（2）開始時刻**

検索範囲の開始時刻を設定できます。

**（3）終了時刻**

検索範囲の終了時刻を設定できます。

**（4）記録種別**

検索したい記録種別を選択できます。

**（5）[検索実行]ボタン**

設定した条件で記録開始日時を検索し、検索結果を検索結果一覧に表示します。ただし、記録開始位置が上書きされている場合は、記録映像が存在しても結果表示されません。また、アラーム記録などでプリ・ポスト記録がある場合は、ポスト記録の開始日時となります。

検索結果は、最大999件まで表示します。それ以上になる場合は、記録範囲を絞り込んでください。

## 検索結果

### （6）[表示]ボタン

[表示]をクリックすると、選択した時刻の映像を別ウインドウで表示します。

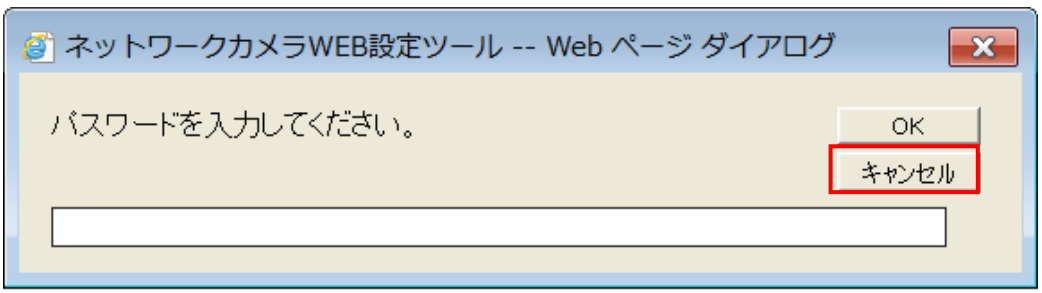
**お知らせ**

- 検索結果があったときのみ、[表示]ボタンを表示します。

# メンテナンス

本メニューは、保守員がメンテナンスを行うために使用するメニューのためご使用できません。

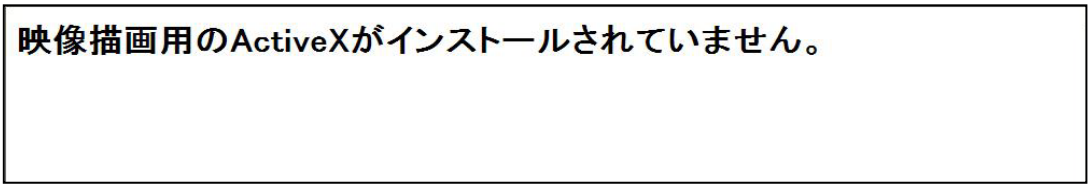
誤って「メンテナンス」メニューをクリックすると、次のパスワード入力画面を表示します。
**[キャンセル]をクリック**し、WEB設定ツール画面に戻ってください。



# エラーメッセージ

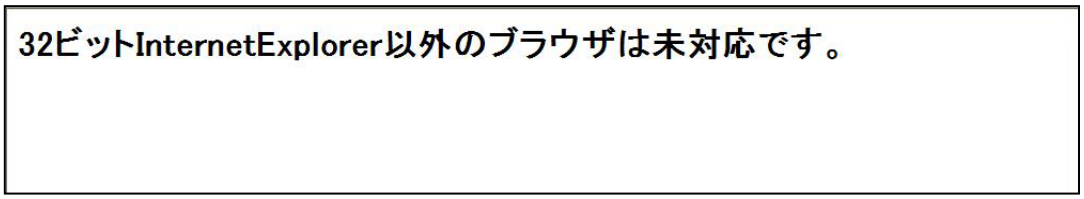
主なエラーメッセージには、次のものがあります。

## ActiveX コントロールをインストールしていない場合



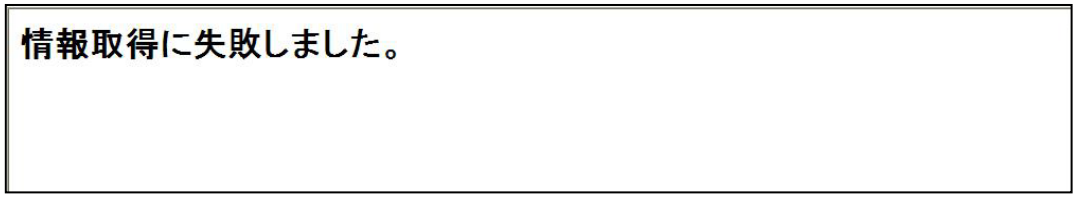

「一般」-「ダウンロード項目」（➔P.128）で、ActiveXコントロールをダウンロードし、インストールしてください。

## ブラウザが対応していない場合




Internet Explorer 32bit版のバージョン8/9/10/11でログインしてください。

## 情報取得に失敗した場合




再度、メニューや項目・ボタンを操作してください。

**お知らせ**

- ブラウザの[進む]ボタンや[戻る]ボタンで画面を切り換えた場合、このメッセージを表示することがあります。

## メンテナンス用パスワードを誤って入力／キャンセルした場合

> **パスワードが不正もしくはキャンセルが入力されました。再度メニューより設定項目を選択してください。**

「メンテナンス」以外のメニューを選択してください。

## 主なダイアログボックスのメッセージ

上記以外にも、各種操作中にエラーメッセージが表示されることがあります。
主なエラーメッセージを下表に示します。

| 画面 | | エラーメッセージ | 対応 |
|---|---|---|---|
| 設定情報 | 設定セーブ／ロード | 設定ファイルの読み込みが開始できません。<br>多重ロードしようとしています。 | 複数の PC などから同時に設定ファイルをロードしようとしています。ほかの PC からも設定をロードしていないか確認してください。 |
| | | 設定ファイルの読み込みに失敗しました。<br>設定ファイルの内容を確認してください。 | 一部の設定のみ保存したファイルをロードした場合、ほかの保存していない設定との間で不整合が発生してロードできない場合があります。<br>設定を見直すか、すべての設定を保存したファイルをロードするようにしてください。 |
| カメラ | 画質調整 | 自動ホワイトバランス中は設定できません。 | 自動ホワイトバランスの実行が終了してから、再度設定してください。 |
| | プリセット | プリセット登録されていません。 | プリセットを登録してから、再度「プリセット再生」（またはホームボタン）および「プリセット削除」を行ってください。 |
| | | AF 中は操作できません。 | AF 動作が完了してから、各ボタン操作を行ってください。 |
| 配信 | ライブ配信 | 現在のエンコードモード×画像サイズ×フレームレートは設定できない組み合わせです。画像サイズまたはフレームレートを変更してください。 | 画像サイズによりフレームレートに制約があります。制約については、「ライブ配信項目」（➔P.50）のご注意をご参照ください。 |
| | | 下記の設定は組み合わせて使用できません。<br>・「一般-その他項目」の VideoOut 常時出力が「ON」設定<br>・「配信-ライブ配信」の設定が下記の設定<br>画像サイズ：FHD フレームレート：30fps | 設定できない組み合わせになっています。VideoOut 常時出力機能を使用する場合は、ライブ配信の画像サイズを小さくするか、フレームレートを低くしてください。 |
| | | 現在のエンコードモード×画像サイズ×フレームレートの組み合わせでは【H.264】ビットレートの設定値を大きくする必要があります。 | 画像サイズとフレームレートに対してビットレートが小さいため設定できません。値を大きくして設定してください。 |
| | | 現在のフレームレート×I フレーム間隔の組み合わせは設定できません。<br>I フレーム間隔の設定値を小さくする必要があります。 | フレームレート×【H.264】I フレーム間隔の値が 30 フレーム以下になるよう、フレームレートと I フレーム間隔を調整してください。 |

| 画面 | | エラーメッセージ | 対応 |
|---|---|---|---|
| 配信 | ライブ配信 | 現在の設定ではライブ配信を行うことができません。<br>ライブ配信設定を見直してください。 | 配信セッション数が多いため、指定の設定では配信ができません。ライブ配信設定を見直してください。<br>H.264 の場合はビットレートを低くしてください。JPEG の場合は画像サイズ、画質レベルを小さくする、またはフレームレートを低くしてください。 |
| | | 下記の設定は組み合わせて使用できません。<br>・「配信-ライブ配信」のエンコードモードが「JPEG」の設定<br>・「配信-マルチキャスト配信」のマルチキャストが「ON」設定 | 設定できない組み合わせになっています。<br>マルチキャスト機能を使用する場合は、ライブ配信のエンコードモードを「H.264」に設定してください。 |
| | 記録配信 | 現在のエンコードモード×画像サイズ×フレームレートは設定できない組み合わせです。画像サイズまたはフレームレートを変更してください。 | 画像サイズによりフレームレートに制約があります。制約については、「記録配信項目」（➔P.53）のご注意をご参照ください。 |
| | | 現在のエンコードモード×画像サイズ×フレームレートの組み合わせでは【H.264】ビットレートの設定値を大きくする必要があります。 | 画像サイズとフレームレートに対して【H.264】ビットレートが小さいため設定できません。値を大きくして設定してください。 |
| | | 現在のフレームレート×I フレーム間隔の組み合わせは設定できません。<br>I フレーム間隔の設定値を小さくする必要があります。 | フレームレート×【H.264】I フレーム間隔の値が 30 フレームを超えています。30 フレーム以下になるよう、フレームレートと I フレーム間隔を調整してください。 |
| | | 現在の設定では記録配信を行うことができません。<br>記録配信設定を見直してください。 | 配信セッション数が多いため、指定の設定では配信ができません。記録配信設定を見直してください。H.264 の場合はビットレートを低くしてください。JPEG の場合は画像サイズ、画質レベルを小さくする、またはフレームレートを低くしてください。 |
| | 音声 | 下記の設定は組み合わせて使用できません。<br>・「配信 - 音声」のエンコードモードが「G.711」設定<br>・「メンテナンス - 特殊機能」の ONVIF が「OFF」設定 | 設定できない組み合わせになっています。<br>ONVIF 機能はメンテナンスメニューでの設定となりますので、販売店にご相談ください。 |
| | | 下記の設定は組み合わせて使用できません。<br>・「配信 - 音声」のエンコードモードが「G.711」設定<br>・「記録 - 共通設定」の保存先が「SD カード」設定または「NAS」設定 | 設定できない組み合わせになっています。<br>エンコードモードを「G.711」で使用する場合は、「記録」-「共通設定」（➔P.64）で保存先を「OFF」にしてから設定変更してください。 |
| | | 下記の設定は組み合わせて使用できません。<br>・「配信 - 音声」のエンコードモードが「G.711」設定<br>・「一般 - 拡声音声」の音声受信モードが「G726_MODE」設定 | 設定できない組み合わせになっています。<br>エンコードモードを「G.711」で使用する場合は、「一般」-「拡声音声」（➔P.126）で音声受信モードを「OFF」にしてから設定変更してください。 |
| | マルチキャスト配信 | 現在の設定ではマルチキャスト配信を行うことができません。<br>マルチキャスト配信設定を見直してください。 | 配信セッション数が多いため、指定の設定では配信ができません。<br>「配信」-「ライブ配信」（➔P.50）の【H.264】ビットレートを低くしてください。 |

| 画面 | | エラーメッセージ | 対応 |
|---|---|---|---|
| 配信 | マルチキャスト配信 | 下記の設定は組み合わせて使用できません。<br>・「配信-ライブ配信」のエンコードモードが「JPEG」の設定<br>・「配信-マルチキャスト配信」のマルチキャストが「ON」設定 | 設定できない組み合わせになっています。<br>マルチキャスト機能を使用する場合は、ライブ配信のエンコードモードを「H.264」に設定してください。 |
| 記録 | 共通設定 | 現在の設定ではストリーム配信を行うことができません。<br>記録共通設定を見直してください。 | 配信セッション数が多いため、現在の設定では SD メモリーカードへの記録ができません。一般記録やタイマー記録の設定を見直してください。 |
| | | 下記の設定は組み合わせて使用できません。<br>・「配信 - 音声」のエンコードモードが「G.711」設定<br>・「記録 - 共通設定」の保存先が「SD カード」設定または「NAS」設定 | 設定できない組み合わせになっています。<br>保存先を「SD カード」または「NAS」で使用する場合は、「配信」-「音声」（➔P.59）でエンコードモードを「G.726」にしてから設定変更してください。 |
| | 一般記録 | 現在のエンコードモード×画像サイズ×フレームレートの組み合わせでは【H.264】ビットレートの設定値を大きくする必要があります。 | 通常記録設定またはアラーム記録設定で、画像サイズとフレームレートに対して【H.264】ビットレートが小さいため設定できません。値を大きくして設定してください。 |
| | | 現在のフレームレート×I フレーム間隔の組み合わせは設定できません。<br>I フレーム間隔の設定値を小さくする必要があります。 | 通常記録設定またはアラーム記録設定で、フレームレート×【H.264】I フレーム間隔の値が 30 フレームを超えています。30fps 以下になるよう、フレームレートと I フレーム間隔を調整してください。 |
| | タイマー記録 | 現在のエンコードモード×画像サイズ×フレームレートの組み合わせでは【H.264】ビットレートの設定値を大きくする必要があります。 | 通常記録設定またはアラーム記録設定で、画像サイズとフレームレートに対して【H.264】ビットレートが小さいため設定できません。値を大きくして設定してください。 |
| | | 現在のフレームレート×I フレーム間隔の組み合わせは設定できません。<br>I フレーム間隔の設定値を小さくする必要があります。 | 通常記録設定またはアラーム記録設定で、画像サイズとフレームレートに対して【H.264】ビットレートが小さいため設定できません。値を大きくして設定してください。 |
| | | 時間帯が重複しているため設定できません。 | 時間帯が重複しています。同じ曜日では時間帯を重複することはできないので、時間帯を確認し重複しないよう変更してください。異なる曜日の場合は重複できます。 |
| | NAS | 記録中のため設定できません。 | 記録中は設定できないため、記録を止めてから設定変更してください。 |
| 検知 | 動き検知 | 領域が重複しているため設定できません。 | 検知領域が重複しています。検知設定が「OFF」以外では検知領域は重複できません。重複しないよう領域を設定してください。 |
| ネットワーク | 基本設定 | 下記の設定は組み合わせて使用できません。<br>・「ネットワーク-基本設定」のプロトコルが「IP v 6」設定<br>・「ネットワーク-その他」の MTU サイズが「1200byte」以下の設定 | IPv6 では最小の MTU が 1280 と決められています。このため IPv6 をご使用の場合は、「ネットワーク」-「その他」（➔P.115）で MTU サイズを 1300 以上にしてから設定変更してください。 |
| | | 下記の設定は組み合わせて使用できません。<br>・「ネットワーク-基本設定」のプロトコルが「IP v 6」設定<br>・「メンテナンス-特殊機能」の ONVIF が「ON」設定 | IPv6 をご使用の場合は、ONVIF 機能を使用できません。ONVIF 機能はメンテナンスメニューでの設定となりますので、販売店にご相談ください。 |

| 画面 | | エラーメッセージ | 対応 |
|---|---|---|---|
| ネットワーク | ユーザ認証 | ＊＊＊＊：設定内容に誤りがあります<br>（＊＊＊＊は誤り部を表示） | テキストボックスの設定が正しくありません。正しくない設定の場合テキストボックスがピンク色になっているので、設定範囲外になっていないか、制限文字を使用していないかなどを確認してください。<br>各テキストボックスの文字入力制限は「その他」（➔P.144）をご参照ください。 |
| | メール | | |
| | FTP | | |
| | SNMP | | |
| | 帯域制御 | 帯域制御設定ロックが「ON」設定のため、設定できません。 | 帯域制御設定ロックが「ON」になっています。設定を変更する場合は、帯域制御設定ロックを一旦「OFF」にして設定してください。 |
| | ネットワーク-その他 | 下記の設定は組み合わせて使用できません。<br>・「ネットワーク-基本設定」のプロトコルが「IP v 6」設定<br>・「ネットワーク-その他」の MTU サイズが「1200byte」以下の設定 | IPv6 では最小の MTU が 1280 と決められています。MTU サイズは 1300 以上を選択してご使用ください。 |
| 一般 | 時刻 | ＊＊＊＊：設定内容に誤りがあります<br>（＊＊＊＊は誤り部を表示） | テキストボックスの設定が正しくありません。正しくない設定の場合テキストボックスがピンク色になっているので、設定範囲外になっていないか、制限文字を使用していないかなどを確認してください。<br>各テキストボックスの文字入力制限は「その他」（➔P.144）をご参照ください。 |
| | | 時刻を変更できません。<br>SD カードが挿入されている場合は、SD カードを抜いてください。NAS が接続されている場合は、NAS との接続を切断してください。 | 時刻変更時には、時刻補正時の確認が行われます。補正により 1999 年以前の時刻が発生する場合は時刻を変更できません。<br>通常の使用では発生しませんが、一度 2000 年など古い時刻で記録し、その後新しい時刻に変更し、さらに古い時刻へ変更などすると発生することがあります。時刻補正で 1999 年以前になる部分がある間は時刻変更ができないので、フォーマットなどにより SD メモリーカード、NAS の記録を消去してご使用ください。 |
| | 拡声音声 | 下記の設定は組み合わせて使用できません。<br>・「配信 - 音声」のエンコードモードが「G.711」設定<br>・「一般 - 拡声音声」の音声受信モードが「G726_MODE」設定 | 設定できない組み合わせになっています。<br>音声受信モードを「G726_MODE」で使用する場合は、「配信」-「音声」（➔P.59）でエンコードモードを「G.726」にしてから設定変更してください。 |
| | 一般-その他 | 下記の設定は組み合わせて使用できません。<br>・「一般-その他」の VideoOut 常時出力が「ON」設定<br>・「配信-ライブ配信」の設定が下記の設定<br>画像サイズ：FHD　フレームレート：30fps | 設定できない組み合わせになっています。<br>VideoOut 常時出力機能を使用する場合は、ライブ配信の設定で、画像サイズを小さくするか、フレームレートを低くしてください。 |

# その他

## 設定保存について

ネットワークカメラは、起動時にフラッシュROMに保存されている設定で起動します。
ただし、下記の項目は日立デジタルレコーダーと接続した場合に頻繁に設定が変更される可能性があるため、単独での設定ではフラッシュROMへ保存されません。
このため、電源切断／投入により設定が変化する（設定前に戻る）場合がありますのでご注意ください。

- **ライブ配信設定**
- **記録配信設定**
- **音声設定**

上記設定項目をフラッシュROMに保存するためには、1～3のいずれかを行ってください。

1. **「メンテナンス」メニューにある起動時Webサーチ応答送信を「OFF」にしてから上記3項目の設定をする。**
2. **上記3項目を設定してから、「メンテナンス」の「再起動」コマンドを送信する。**
3. **上記3項目を設定してから、上記3項目以外の設定項目を変更して設定する。**

メンテナンスメニューの設定については、販売店にご相談ください。3は、たとえば「記録」-「一般記録」の任意の項目を変更してから設定すると、上記3項目も同時に保存します。ダウンロードの実行のように、設定ボタンを使用しない項目では保存されないことがありますのでご注意ください。

# 文字入力制限について

各画面内のテキストボックスにおける入力可能文字の種類について、下表に示します。

| 画面 | | 項目 | 文字数／制限内容 |
|---|---|---|---|
| 記録 | NAS | 共有フォルダ名 | ・半角文字 63 文字以内<br>・文字制限：半角英数と半角【_ -】 |
| | | ユーザ ID | ・半角文字 63 文字以内<br>・文字制限：半角英数と【<>&：】の 4 つを除いた記号（半角スペース不可） |
| | | パスワード | ・半角文字 63 文字以内<br>・文字制限：半角英数と【<>&：】の 4 つを除いた記号（半角スペース不可） |
| | | 記録フォルダ名 | ・半角文字 63 文字以内<br>・文字制限：半角英数と半角【_ - ()】 |
| ネットワーク | ユーザ認証 | 認証領域名称 | ・半角文字 30 文字以内<br>・文字制限：半角英数と【<>&】の 3 つを除いた記号（半角スペース可） |
| | | ユーザ ID | ・半角英数字 12 文字以内<br>・文字制限：半角スペース不可、記号不可 |
| | | パスワード | ・半角英数字 12 文字以内<br>・文字制限：半角スペース不可、記号不可 |
| | メール | 送信元メールアドレス | ・半角 127 文字以内<br>・文字制限：半角英数と【<>&(),】の 6 つを除いた記号（半角スペース不可）<br>先頭位置に「-」は入力できません。 |
| | | SMTP サーバ(IPv4) | ・半角 200 文字以内<br>・文字制限：半角英数と【<>&】の 3 つを除いた記号（半角スペース可） |
| | | SMTP サーバ(IPv6) | |
| | | POP3 サーバ(IPv4) | |
| | | POP3 サーバ(IPv6) | |
| | | ユーザ ID | ・半角 1～15 文字<br>・文字制限：半角英数と【<>&】の 3 つを除いた記号（半角スペース可） |
| | | パスワード | |
| | | 宛先メールアドレス | ・半角 127 文字以内<br>・文字制限：半角英数と【<>&(),】の 6 つを除いた記号（半角スペース不可）<br>先頭位置に「-」は入力できません。 |
| | | タイトル | ・半角換算 63 文字以内、ただし全角は半角 3 文字分とする。<br>・文字制限：全角文字と半角英数と【<>&】の 3 つを除いた記号（半角スペース可）<br>全角文字は UTF-8 形式で、1 文字は 3 バイト換算になります。 |
| | | 本文 | ・半角換算 42 文字以内、ただし全角は半角 3 文字分とする。<br>・文字制限：全角文字と半角英数と【<>&】の 3 つを除いた記号（半角スペース可）<br>全角文字は UTF-8 形式で、1 文字は 3 バイト換算になります。 |

| 画面 | | 項目 | 文字数／制限内容 |
|---|---|---|---|
| ネットワーク | FTP | ユーザ ID | ・半角 15 文字以内<br>・文字制限：半角英数と【<>&：@/】左記 6 つを除いた記号（半角スペース不可） |
| | | パスワード | ・半角 15 文字以内<br>・文字制限：半角英数と【<>&：@/】左記 6 つを除いた記号（半角スペース不可） |
| | | 指定ファイル名 | ・ファイル名半角 8 文字以内＋拡張子半角 3 文字<br>・文字制限：半角英数と【<>&"/￥{}】左記 8 つを除いた記号（半角スペース可） |
| | SNMP | SNMP エージェント名 | ・半角 30 文字以内<br>・文字制限：半角英数と【<>&】左記 3 つを除いた記号（半角スペース可） |
| | | GET | ・半角 30 文字以内<br>・文字制限：半角英数と【<>&"#'￥】左記 7 つを除いた記号（半角スペース不可） |
| | | SET | |
| 一般 | 時刻 | NTP サーバ(IPv4) | ・半角 255 文字以内<br>・文字制限：半角英数と【<>&】の 3 つを除いた記号（半角スペース不可） |
| | | NTP サーバ(IPv6) | |

# 付録

## PC の性能とライブ配信について

ライブ配信設定と使用するPCの性能により、ライブ映像が滑らかに表示できない場合があります。
ライブ映像を滑らかに表示できるPCの性能と、ライブ配信設定の組合せ（一例）を下表に示します。

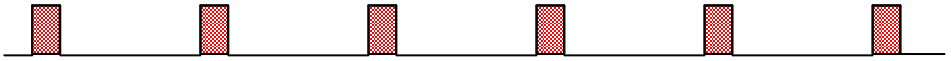
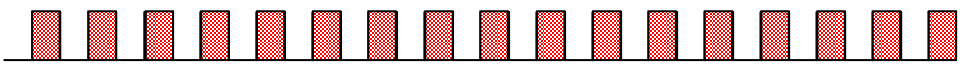
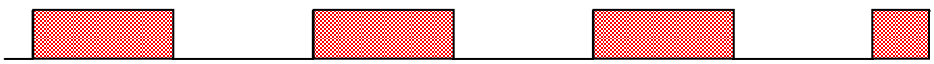
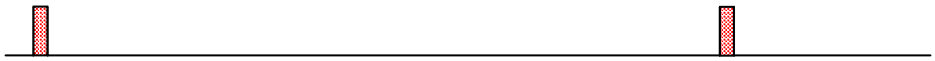
【参考】　使用PC：Intel Core 2 Duo/2.53GHz/メモリ2GB/Windows7

| フォーマット | 画像サイズ | フレームレート | ビットレート | 【H.264】Iピクチャ間隔 | 【JPEG】画質 |
|---|---|---|---|---|---|
| H.264 | FHD | 10 | 2461kbps | 1s | - |
| | VGA | 30 | 1024kbps | 1s | - |
| | VGA | 7.5 | 12000kbps | 1s | - |
| | D1 | 6 | 5000kbps | 1s | - |
| JPEG | FHD | 6 | - | - | レベル5 |
| | D1 | 10 | - | - | レベル5 |

※高解像度、高フレームレートで映像を表示する場合は Intel Core i7 で4コア以上のものを推奨。

# 状態表示 LED 点滅について

条件によりネットワークカメラ本体のLEDが点滅します。
No.2は、「一般」-「通知種別項目」（➔P.124）で対象異常の状態表示LEDを設定する必要があります（※）。

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th>ネットワークカメラの状態</th><th colspan="2">LED</th></tr>
<tr><th colspan="3">点滅パターン</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>起動中</td><td colspan="2">点灯</td></tr>
<tr><td colspan="3">点灯<br>消灯<br> </td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>異常発生時（「通知設定」対象）</td><td colspan="2">点滅を1.2秒周期（点灯0.2秒、消灯1秒）</td></tr>
<tr><td colspan="3">点灯<br>消灯<br>  </td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>ファームウェアの更新中</td><td colspan="2">点滅を0.4秒周期（点灯0.2秒、消灯0.2秒）</td></tr>
<tr><td colspan="3">点灯<br>消灯<br>  </td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>設置位置確認時</td><td colspan="2">点滅を2秒周期で20秒間（点灯1秒、消灯1秒）</td></tr>
<tr><td colspan="3">点灯<br>消灯<br>  </td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>動作モード移行時<br>（RESETボタン10秒長押し、<br>または5秒以内3回押し）</td><td colspan="2">5回点滅（点灯0.1秒、消灯0.1秒）を1回</td></tr>
<tr><td colspan="3">点灯<br>消灯<br> </td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>SD性能低下時</td><td colspan="2">5回点滅（点灯0.1秒、消灯0.1秒）を3秒周期</td></tr>
<tr><td colspan="3">点灯<br>消灯<br> </td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td rowspan="2">正常動作時／正常記録時<br>（上記条件以外の場合）</td><td>LED表示設定が<br>ON／ON(記録中)</td><td>点滅を5秒周期<br>（点灯0.1秒、消灯4.9秒）</td></tr>
<tr><td>LED表示設定がOFF<br>（通常時）</td><td>点滅なし</td></tr>
<tr><td colspan="3">点灯<br>消灯<br>  </td></tr>
</table>

※No.2で、下記異常種類をLED点滅するにはメンテナンスメニューでの設定も必要です。

- **EEPROM初期値異常・センサー異常・アイリス／シャッター異常**
- **カメラ動作異常　・モーター異常（DI-CD322LEのみ）**
- **EEPROM異常（DI-CB322LEWのみ）・白キズ異常（DI-CB322LEWのみ）**
- **アイリス異常（DI-CB322LEWのみ）・レンズ異常（DI-CB322LEWのみ）**

※No.6/No.7で、LED点滅するにはメンテナンスメニューでの設定も必要です。
設定につきましては、販売店にご相談ください。
※IR-LED性能低下（DI-CD322LEのみ）発生時は、No..2と同じLED点滅になります。

※DI-CD322LE/DI-CB322LEWは、正常時（№.3,4,5,7）のLED点滅色をメンテナンスメニューで
赤色に設定することができます（初期値：青色）。設定につきましては、販売店にご相談ください。
※DI-CB325/DI-CD325では、RESETボタンを1回押した後、再度10秒長押しすると、
DI-Cx320モード設定が「OFF」から「ON」（または「ON」から「OFF」）に切替わります。
「OFF」から「ON」に切替わる場合、No5のLED点滅を10回繰り返した後に再起動します。
「ON」から「OFF」に切替わる場合、No5のLED点滅をした後に再起動します。
設定につきましては、販売店にご相談ください。

# 保存先メディアへの記録時間について

1TBのNASと64GBのSDメモリーカードへフレームレート2fpsで保存した場合の記録時間を下表に示します。下表の組み合わせ以外については、本ソフトウェアで確認してください。

| 容量 | エンコードモード | 【H.264】ビットレート（kbps） | 画質サイズ（※1） | 【JPEG】画質レベル | フレームレート（※1） | 音声（32kbps） | デジタルレコーダーでの解像度，画質 | 記録時間(日)(※2) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1TB | H.264 | 1412 | [FHD(1920×1080)] | - | [2fps] | あり | （画質 4 を想定） | 65 |
| | | 1412 | [FHD(1920×1080)] | - | [2fps] | なし | （画質 4 を想定） | 66 |
| | | 837 | [SXVGA(1280×960)] | - | [2fps] | あり | S,4 | 108 |
| | | 837 | [SXVGA(1280×960)] | - | [2fps] | なし | S,4 | 112 |
| | | 627 | [SXVGA(1280×960)] | - | [2fps] | あり | S,3 | 143 |
| | | 627 | [SXVGA(1280×960)] | - | [2fps] | なし | S,3 | 150 |
| | | 419 | [SXVGA(1280×960)] | - | [2fps] | あり | S,2 | 209 |
| | | 419 | [SXVGA(1280×960)] | - | [2fps] | なし | S,2 | 225 |
| | | 230 | [D1(704×480)] [VGA(640×480)] | - | [2fps] | あり | A,4 | 360 |
| | | 230 | [D1(704×480)] [VGA(640×480)] | - | [2fps] | なし | A,4 | 410 |
| | | 172 | [D1(704×480)] [VGA(640×480)] | - | [2fps] | あり | A,3 | 463 |
| | | 172 | [D1(704×480)] [VGA(640×480)] | - | [2fps] | なし | A,3 | 549 |
| | | 115 | [H-D1(704×240)] | - | [2fps] | あり | B,3 | 642 |
| | | 115 | [H-D1(704×240)] | - | [2fps] | なし | B,3 | 821 |
| | JPEG | - | FHD(1920×1080) | 4 | 2fps | あり／なし | （画質 4 を想定） | 21 |
| | | - | SXVGA(1280×960) | 4 | 2fps | あり | S,4 | 35 |
| | | - | SXVGA(1280×960) | 4 | 2fps | なし | S,4 | 36 |
| | | - | SXVGA(1280×960) | 3 | 2fps | あり | S,3 | 44 |
| | | - | SXVGA(1280×960) | 3 | 2fps | なし | S,3 | 45 |
| | | - | SXVGA(1280×960) | 2 | 2fps | あり | S,2 | 58 |
| | | - | SXVGA(1280×960) | 2 | 2fps | なし | S,2 | 60 |
| | | - | D1(704×480) VGA(640×480) | 4 | 2fps | あり | A,4 | 87 |
| | | - | D1(704×480) VGA(640×480) | 4 | 2fps | なし | A,4 | 90 |
| | | - | D1(704×480) VGA(640×480) | 3 | 2fps | あり | A,3 | 115 |
| | | - | D1(704×480) VGA(640×480) | 3 | 2fps | なし | A,3 | 120 |
| | | - | H-D1(704×240) | 3 | 2fps | あり | B,3 | 169 |
| | | - | H-D1(704×240) | 3 | 2fps | なし | B,3 | 180 |

| 容量 | エンコードモード | 【H.264】ビットレート（kbps） | 画質サイズ（※1） | 【JPEG】画質レベル | フレームレート（※1） | 音声（32kbps） | デジタルレコーダーでの解像度，画質 | 記録時間(日)(※2) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 64GB | H.264 | 1412 | [FHD(1920×1080)] | - | [2fps] | あり／なし | （画質 4 を想定） | 3 |
| | | 837 | [SXVGA(1280×960)] | - | [2fps] | あり／なし | S,4 | 6 |
| | | 627 | [SXVGA(1280×960)] | - | [2fps] | あり／なし | S,3 | 8 |
| | | 419 | [SXVGA(1280×960)] | - | [2fps] | あり／なし | S,2 | 12 |
| | | 230 | [D1(704×480)]<br>[VGA(640×480)] | - | [2fps] | あり | A,4 | 20 |
| | | 230 | [D1(704×480)]<br>[VGA(640×480)] | - | [2fps] | なし | A,4 | 23 |
| | | 172 | [D1(704×480)]<br>[VGA(640×480)] | - | [2fps] | あり | A,3 | 26 |
| | | 172 | [D1(704×480)]<br>[VGA(640×480)] | - | [2fps] | なし | A,3 | 31 |
| | | 115 | [H-D1(704×240)] | - | [2fps] | あり | B,3 | 36 |
| | | 115 | [H-D1(704×240)] | - | [2fps] | なし | B,3 | 47 |
| | JPEG | - | FHD(1920×1080) | 4 | 2fps | あり／なし | （画質 4 を想定） | 1 |
| | | - | SXVGA(1280×960) | 4 | 2fps | あり／なし | S,4 | 2 |
| | | - | SXVGA(1280×960) | 3 | 2fps | あり／なし | S,3 | 2 |
| | | - | SXVGA(1280×960) | 2 | 2fps | あり／なし | S,2 | 3 |
| | | - | D1(704×480)<br>VGA(640×480) | 4 | 2fps | あり／なし | A,4 | 5 |
| | | - | D1(704×480)<br>VGA(640×480) | 3 | 2fps | あり／なし | A,3 | 6 |
| | | - | H-D1(704×240) | 3 | 2fps | あり | B,3 | 9 |
| | | - | H-D1(704×240) | 3 | 2fps | なし | B,3 | 10 |

※1　H.264の場合は、【H.264】ビットレートにより記録時間を算出します。画質サイズやフレームレートの[　]内は設定の一例で、設定を変更しても記録時間は変化しません。

※2・映像の内容やそのほかの条件により記録のビットレートは変動します。このため、実際の記録時間は上記の記録時間とは異なる場合があります。

・上記記録時間は、一般記録のみを実施した場合の目安です。タイマー記録やアラーム記録が設定されている場合は、本ソフトウェアの[記録時間確認]ボタン（➔P.66、P.72、P.74）をご参照ください。タイマー記録やアラーム記録の影響を加味した記録時間を算出します。

・上記の記録時間確認は、「記録」-「共通設定」-「記録共通設定」の上書き設定を「ON」にして計算したもので、上書きされるまでの時間を表示します。上書き設定が「OFF」の場合は、SDメモリーカード／NASの残りの記録時間を表示します。

※　時刻補正を実施すると、時刻変更ごとに最大2MBの補正情報を記録します。このため頻繁に補正した場合、表示時間より短くなる場合があります。補正情報は記録を一周すると削除します。